

昭和三十九年三月刊

史料館所藏史料目錄

第十集

史料館

史料館所藏史料目錄

第十集

凡 例

- 一 本目録は史料館所蔵史料目録第十集として武蔵国幡羅郡永井太田村掛川家文書・武蔵国幡羅郡下奈良村吉田家文書・祭魚洞文庫旧蔵史料の三篇を取めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、各史料の性格に応じ、内容分類または地域分類によって配列した。内容分類にあたっては、内容・数量等によって暫定的な項目をたて、大小ゴシック活字及び○印を用いてこれを表示した。この際、内容が多岐に亙り他の項目中にも掲げるを妥当と考えたものは*印を附して重出した。
- 一 史料の記載欄は、(一)表題 (二)作成者又は宛名 (三)作成年次 (四)形態 (五)数量 (六)整理番号の順序である。
- 一 表題は原名あるものはこれを探り、その無いものは仮に命名して掲げた。この場合() 括弧を附して前者と区別した。
- 一 原表題に国郡村名・干支年月日等の肩書ある場合は適宜これを省略し、また同一内容の史料で表題に多少の異同ある場合は代表的表題に統一した。
- 一 作成者又は宛名人は特に必要なものに限ってこれを表示した。
- 一 作成年代は年のみにとどめ、干支・月日は無年号のもの外は省略した。また同一内容の史料で三年以上に亙るものは、始年と終年とを明らかにし、中間は――によって継続を示したものもある。また推定年代には() 括弧を附した。
- 一 史料の形態は、簿冊類では横(横帳)、横長(横長帳)、美(美濃判)、半(半紙判)、半半(半紙半截判)などの略称によって原書の大きさの大概を示すに止め、また一紙書附(継目の有無を問わず)は通を以て数量を示し、紙形の大小・寸法は省略した。但し、絵図類は縦横の寸法を厘単位で表示した。
- 一 最下欄の数字は各文書毎の整理番号を示す。本史料の照会・閲覧・引用の場合に利用されたい。
- 一 巻尾に各文書の解題を添えた。

目次

凡例

武蔵国幡羅郡永井太田村掛川家文書目録……………一

武蔵国幡羅郡下奈良村吉田家文書目録……………四九

祭魚洞文庫旧蔵史料目録……………五七

掛川家文書解題……………八一

吉田家文書解題……………八五

祭魚洞文庫旧蔵史料解題……………八八

武蔵国

永幡
井太羅
田郡
村

掛川家文書目録

掛川家文書目錄目次

支配	一頁	村況	三	產	通行手形、飛脚、荷物積送、難船	三
法度、廻状、布達	一	村繪図	三	藍、養蚕	三
地頭	二	議定書、村役人、公用留、村方出入、職務書類、營業書類	三	金融	三〇
家、役向、給所、申渡、地頭賄、御用金、借用米金、預り金、貸附金、被下金、奉公人、書状	二	職務書類、營業書類	三	拝借金、貸借、講	三〇
御鷹	七	村入用	三	學事	三二
土地	七	入用控、割合帳、割賦・取立、立替、村借、傳馬宿入用、民費書上、村役場費、警察費、学校費、營業稅割、雜費	三	軍事	三二
檢地、高反別、名寄、荒地、除地、新田、山林、持高、替地、売買・質入	七	戸口	三	徵兵	三二
貢租	二	家数・人数、宗門改、五人組、戸籍、加除籍、縁組、欠落、死亡、分散、相統、身元引請	三	寺院	三二
物成書上、檢見、減免、割付、小割、取立、納入、請取手形、石代、延納、未進、先納金、差引、納払目録、皆濟、雜	二	用水・普請	三	寺社	三二
藏米	六	普請箇所、勤高、組合議定、願書、普請、普請入用、用水管理、用水出入、捲畑、築堤、雜	三	御師	三二
廻米、藏米預手形、藏米払目録、払米請取、米大豆売付	六	治安・訴訟	三	家	三三
課役	三	盜難、傷害、行倒人、人相書、鉄砲改、捨馬、村民出入、不行跡、吟味、処罰	三	家	持地、家作、建物其他買得、家普請、日記・記録、書状	三三
国役、夫役、助郷	三	災害・救恤	三	租稅	三三
地租改正	三	災害、消防、夫食、雜	三	營	三三
村	三	交通・運輸	三	小作、奉公人、養蚕	三三
				家計・金融	三三
				金銀出入帳、貸借、講	三三
				雜	三七

武蔵国 永井太田村 掛川家文書

(文書記号 2372)

支配

法 制
法 度

- (酒造御鷹場鹿猪狩等ニ付触) 万治三 一通 八七
- (江戸口々馬士下馬場所触書) (寛文元) 一通 一〇三
- 日光御参詣御留守中可相守事 松崎宗左衛門 寛文三 一通 八六
- (反物寸法ニ付定触) 寛文四 一通 八六
- (関東中国廻ニ付触) (尾欠) 寛文四 一通 九六
- (寺院宗門取締触) 寛文五 一通 九〇
- (僧侶并仏事取締書) 寛文五 一通 八九
- (造来酒造半分并新規停止触) 寛文六 一通 九二
- (酒造之儀去年員数并多葉粉作停止触) 寛文一〇 一通 九三
- (新酒造停止辻壳振壳無用触) 寛文一〇 一通 九三
- (領内御朱印所之寺社領新酒造停止触) 寛文一〇 一通 九三
- (新酒造停止之儀手形取ニ付御番頭ノ申来候覺) (寛文一〇) 一通 九四
- (酒造之儀去年員数并たはこ作無用触) 寛文一〇カ 一通 九三
- (寒作之酒去年之半分触) 寛文一一 一通 九四

- (新酒并冬造無用触) 寛文一一 一通 九三
- (にせ葉種商・商人占壳・職人作料手間高直不可仕触) 寛文一一 一通 九四
- (酒造并たはこ作ニ付触) 延宝三 一通 八四
- (諸国巡見ニ付触) 延宝九 二通 八四
- (鉄砲打候者ニ付触) (貞享二) 一通 八三
- (牛馬生類之御法度ニ付御請申上ル覺) 貞享四 一通 八三
- (生類憐みニ付触) 貞享四 二通 八四
- (生類憐み之儀相背者急度曲事仰付ニ付触) 貞享四 一通 八五
- 從午ノ歳郷中諸法度之覺 元禄三 三通 八三
- (米穀江戸廻并酒造五分一造触) 松崎宗左衛門 元禄一二 一通 八七
- (日明シ御出シ不被成ニ付触) 松崎宗左衛門 申九月(元禄頃) 一通 一〇六
- (酒造米高ニ付触) 宝永三 一通 九三
- (酒造米高ニ付触) 宝永五 一通 九三
- (京都錢座ニ而出来候大錢ニ付触) 宝永五 一通 九六
- (獵師ニ而無之者鉄砲之儀ニ付触) (宝永六) 一通 八七
- (諸国巡見ニ付触) 宝永六 一通 八六
- (御朱印頂戴之寺社之輩今度御朱印被下ニ付触) 宝永八 一通 九四
- (火付并火事ニ付定) 正徳元 一通 八三

(万石以下之面々領知郡村御改ニ付触)	正徳元	一通	八匁	(和宮様御下向之節当分助郷申付人馬可差出触)	文久元	一通	二匁
朝鮮信使通過ニ付触	正徳元	一通	二八匁	廻状			
(御料所国々え順見指遣候ニ付触)	正徳二	一通	八匁	御泊御宿小前覚	宝曆八	一折	二〇七
(公儀役人之由偽り候者ニ付触)	享保三	一通	七匁	(為地誌調御用廻状)	(文政五)	一冊	八三
(魚殺生御禁制ニ付請書)	享保三	一通	八匁	(廻状留)	能勢甚四郎	一冊	五〇
(新金銀ニ付触)	享保三	一通	八匁	布達			
(鷹番自今相止ニ付触)	享保六	一通	八匁	(当時海外之罷越候者改并金札ニ付達)	明治二カ	一通	八匁
(在々鉄炮打并御留場之内鳥捕候者ニ付触)	享保六	一通	六匁	(群馬県庁回達写)	明治四一五	一冊	三三
(質田地ニ付御禁令請書)	享保七	一通	六匁	(熊谷県布達)	明治六	一冊	三六
(熊野三山勸化之状并御勘定所奉加帳心得覚)	享保七	二通	六匁	(埼玉県布達)	明治八	一綴	六〇
(勘定帳面印形ニ付触)	元文五	一通	八匁	(稻穂根付蒐集之義租税等ニ関係無之ニ付御通達)	郡役所 明治一二	一通	一四六
(神尾若狭守外中仙道通行ニ付代官被仰渡之儀)	延享元	一冊	二匁	(布達順達扣)	明治一二一三	一冊	四二
(村中惣百姓請印書)	延享元	一冊	二匁	(大里外三郡郡役所廻達)	明治二一一五	一綴	二七三
(盜賊徘徊御詮義出役ニ付村中惣百姓請印書)	延享四	一冊	二匁	(違警罪布達請書)	明治一四	一綴	三三
(間引禁止ニ付触)	明和四	一通	八匁	地方稅徵收規則・營業稅雜種稅課目課額	明治一六	一綴	二五〇
(明和四年触書写)	(明和四)	一通	一〇匁	(違警罪県令)	明治二〇	一冊	二八五
(百姓一揆禁制札の写)	明和七	一通	八匁	地頭			
(きりしたん禁制写)	天明二	一通	八匁	家			
(博交ニ付御触)	(享和元)	一通	一五匁	(松崎小左衛門御奉公願)	貞享四	一通	二四七
(上奈良村妙音寺所持寺領御朱印紛失ニ付触)	享和三	一通	九〇				
(違作米穀ニ付御触連印御請証文)	天保七	一通	八匁				

(松崎九兵衛嫡子次男書上覚)

一通 一〇三

(松崎善兵衛遠類書) 享保五

一通 七〇

(松崎家親類書断簡) 享保五・七他

一綴 七四

(松崎善兵衛親類書) (首欠) 享保一五

一通 七五

(松崎善兵衛親類書) (首尾欠)

一通 七六

役 向

御頭之書出候書付共扣 享保二〇

半 一冊 三六

御頭之御文通・書上両様扣 享保二一

半 一冊 三七

給 所

田方検見之義ニ付致吟味候心得ニ成候義記

半 一冊 三三

田畑之儀ニ付心得ニ成候義記 享保二一

半 一冊 三五

忍領村高覚帳 天和二

横半半 一冊 三六

武蔵国幡羅郡知行所田畑町步人数帳 享保六

美 一冊 三三

武蔵国幡羅郡之内郷村高帳 明和三・天保一四

半 三冊 三三

村高書上帳 天保一四

半 一冊 三三

武蔵国幡羅郡永井太田村旧旗下相知行調 明治

半 一綴 三三

〇

書物指上覚 享保四・寛保三

一綴 三三

(御年始物上ケ覚) 子正月・酉正月

二通 三三

申 渡

(三給地頭申渡) (首欠) 延宝三

一通 八〇

(諸国巡見之衆御通之時分御用ニ付覚) 延宝九

一通 八三

(捨馬ノ儀高札立置候様仰渡ニ付下知書) 貞享

一通 八〇

(引米ニ付覚) 元禄七

一通 三三

(田畑永代売買ニ付申渡ス覚) 元禄一三

一通 八〇

(地頭申渡口上覚) 元禄一三

一通 一〇八

(五郎右衛門并妻子共田畑召上御追放申渡ス覚) 元禄一四

一通 一〇九

(五郎右衛門未進ニ付田畑御取上之儀申渡覚) 名主宛 元禄一四

一通 一三九

(地頭申渡覚) 辰二月(元禄頃)

一通 七六

(弘米大豆積送り他申渡覚) 宝永五

一通 一四〇

(年貢取付覚) 宝永六

一通 一三三

(目安裏判扱方ニ付達書写) 明和元

一通 一〇九

(地頭不印形之節米銭金銀不差出之旨御請一札) 明和三

一通 八四

(物成米之内御隠居へ合力米ニ付申渡一札) 明和三

一通 一三七

(御物成相納ニ付申渡覚) 天明二

一通 一五〇

(先納金申付并当年分小豆沢村平六え可渡申渡之覚) 天明八

二通 九六

(平六方借金济方ニ付内金渡申付一札) 天明八

一通 二三四

(年貢未進取立下知書) 文化二

一通 二五五

(田方水腐ニ付引申渡) 安政五 一通 三五二

(田願見分差遣ニ付下知書) 安政六 一通 三五二

(諸家家族家中領分知行所之引越ニ付雇人不出
答御請書) 亥四月 一通 八〇九

(弘米百俵代金高直ニ相払可指上覚) 山口三郎兵衛 一通 一〇〇五

(御臨時金・御飯米餅米・奉公人ニ付達覚) 辻林蔵 一通 一〇〇四

(年貢取付之御訴訟ニ付申渡覚) 一通 一四三

(用金才覚申付覚) 一通 一四九

地頭賄

○暮方仕法

御仕様帳 寅二月(天明二ヵ) 半 一册 一〇五五

巳年御暮方并先納金濟方 寛政一〇 一通 六六六

御賄御仕法帳 安政五 横長半 一册 三〇四

御賄御仕法并借用金借用証文控帳 安政五 横長半 一册 三〇三

暮方覚 辰二月 半 一册 四七五

辰御暮方覚 一通 一〇三

○地頭賄人

(菊の都殿地頭賄被下質物ニ上納米永引渡ニ付
連印証文) 安永七 二通 三〇六

(菊之都方濟金覚) 戌一二月 一通 一四七

(御地頭様御勝手引請ニ付一札) 天明二 一通 二八三

(金子借用ニ付知行物成相渡一札) 天明二 一通 二九六

(地頭所借金無利足年賦願并畑年貢渡方ニ付入置
申一札) 龜屋長五郎宛 文化三 一通 二六五

(金子差引覚) 龜屋長五郎 子正月 一通 二五二

(米代金受取覚) 龜屋長五郎 子二月 一通 二五三

(地頭賄米金元利覚) 龜屋 卯一二月 一通 一四〇

(元利之内之請取覚) 龜屋長五郎 已正月 一通 一五三

○賄勘定

(御用立金請取覚) 江戸那智屋源右衛門 宝曆元 一通 六三

(地頭賄出入帳) 宝曆六 一綴 九五

白米下朝夕払方帳 宝曆六 一册 五七

御屋鋪御婚札入用割帳 安永三 一册 五八

賄金請取証文 天明四 一通 七五

炭仕切之事 甚右衛門 天保一四 一通 一八七

異国船ニ付御用金并人足出金割合帳 嘉永七 二册 四六

御屋敷様御用留・組入用帳 嘉永七 一册 五九

御屋敷様御用入用帳 安政四 一册 五九三

御屋敷御普請其外物入ニ付被仰付割合取立帳
安政四 一册 四七

御地頭所月々御賄割合議定帳・同御賄金請取
帳(安政六一七) 二册 三〇三

御地頭所御用向・諸入用金送扣帳 万延二 一册 三九三

御家督御葬式入用割合帳 万延二 一册 五〇

(当年勘定合并来年御暮方ニ付口上書) 一通 一四一

○

借用米金

(ねご受取覚) 未正月(享保一二九)

(新餅米并同小豆請取覚) (享保頃)

(御状并金包請取覚) 宝曆六

御用金

御用金利米御返済覚 享保一二

(御用年返済目録) 宝曆元・三

(御縁組入用ニ付才覚御請覚) 宝曆四

御用金払目録 宝曆五

(金子借用証文) 伊勢屋清左衛門宛 宝曆六

(為米買借用金請取覚) 明和三

(御先代御知行方借金濟方ニ付村役人可罷出覚) (明和四)

(地頭借用金畑書入ニ付百姓惣代印一札) 明和四

御用金年賦畑書入証文下書 明和四

(寿光院様入用ニ付金子借用証文) 明和八

(為大豆替借用他金子請取覚) 安永六

(入用金借り返ニ付一札) 安永九

(暮方為賄金子借用証文) 天明四

(御代官所御貸附金拜借請取覚) 文化五

(地頭所へ御用立候金子請取覚) 岡田鎌寿 實一二月

(地頭御飯米不足ニ付米借用証文) 寛延四

(借用金子請取覚) 古橋金助 宝曆四

(飯塚様御役所貸金年賦返済之儀地頭ニ而納ニ付申渡一札) 天明五

預り金

*舟賃金払目録 貞享四・天明九

(年貢皆済成かねニ付金子預り証文) 元禄二六

殿様方より村入用被成下候覚書 享保九

飛樋入用金御預手形 享保一二

御預金差上覚 享保二一

舟賃預り目録 享保二一・宝曆一二

御制札入用帳 宝曆七

(土橋掛替普請材木代金預り証文) 宝曆一二

*已御年貢大豆舟賃共ニ払目録 安永二

*舟賃目録 文化四

(御屋敷様御預り金貸付証文帳面) 弘化二・四

貸附金

(地頭御貸金返納ニ付口上之覚) 元禄一四

(金子借用証文) 喜兵衛 宝永四

(戌亥利金請取覚) 掛川忠藏宛 宝曆五

被下金

(喜兵衛ニ毎年御米成被下ニ付口上覺) 元禄一四

一通 一三三

(金御米鳥目被成下ニ付指上ケ申覺) 宝永四カ

一通 一四七

(又市井六郎右衛門之鳥目被成下ニ付指上ケ申覺) 宝永五

一通 一四四

(殿様御心付米老俵頂戴覺) 延享二

一通 一四七

奉公人

(仲間奉公人請狀) 元禄二一宝曆九

八通 二二六

(地頭奉公女請狀) 宝曆一〇

一通 二二六

一季男請狀 明和元一弘化四

一七通 二二九

一季女請狀 明和三一天保九

一三通 二七〇

質物男奉公人請狀 安永四一天明六

一〇通 二七二

(地頭奉公人請狀) 安永五・寛政一一

二通 二七〇

書狀

仙石因幡守書狀 松崎九兵衛宛

一通 二二三

加藤团右衛門書狀 松崎九兵衛宛

一綴 二二三

大学頭又三郎書狀 松崎善右衛門宛

一通 一三〇

又三郎書狀 松崎善右衛門宛

一通 一三五

左近将監書狀 松崎善右衛門宛

一綴 二二六

紀伊守書狀 松崎滿太郎宛

一通 二〇七

石川太郎太夫書狀 松崎滿太郎宛

一通 二〇六

源太左衛門書狀 松崎滿太郎宛

一通 二〇九

古賀小太郎書狀 松崎滿太郎宛

一通 二〇〇

間宮庄五郎書狀 中神順次・松崎善右衛門宛

一通 二二七

松崎宗左衛門書狀 名主七郎兵衛・太郎左衛門宛

一通 二七六

松崎善五郎書狀 名主宛 戊五月(宝曆四カ)

一通 二七七

松崎善四郎書狀 名主忠藏宛

一綴 二二七

岩崎大夫書狀 古橋金助宛

一通 二二六

又市書狀 古橋金助宛

一通 二二九

忠藏書狀 古橋金助宛

一綴 二三〇

藤郷鉄藏宛書狀 卯五月

一通 二四六

田中邦八・根岸伊兵衛書狀 松崎幸三郎用人宛

一通 二四四

(名主地頭用人宛書狀扣留)

一綴 二二三

堀江左次衛門書狀 名主喜兵衛・兵部右衛門宛

一綴 二二三

堀江佐次右衛門・西田久右衛門書狀 名主喜兵衛宛

一綴 二二三

古橋金助書狀 名主忠藏宛

七綴 二〇九

古橋金助書狀 隠居兵部宛

一通 二〇六

大嶋伝助書狀 掛川兵部・同忠藏宛 一綴 二〇六

大嶋伝助書狀 掛川忠藏宛 一綴 二〇七

向後儀右衛門書狀 名主忠藏宛 一綴 二一三

平井郷右衛門書狀 名主掛川忠藏宛 一綴 二二五

大森忠兵衛書狀 名主忠藏宛 一綴 二三四

大嶋伝右衛門書狀 掛川又市宛 五綴 二〇一

大嶋伝右衛門書狀 掛川又市・同忠藏宛 一通 二〇四

大嶋伝右衛門書狀 掛川忠藏宛 三綴 二〇三

大嶋伝右衛門書狀 名主忠藏・組頭宛 一綴 二〇五

大嶋伝右衛門書狀 組頭宛 一綴 二〇三

武井勝右衛門書狀 名主掛川又市宛 一綴 二二二

武井忠左衛門書狀 掛川又市宛 一綴 二一〇

佐野金兵衛書狀 掛川又市宛 寬政八 一通 二一〇

辻林藏書狀 掛川又市宛 一綴 二二九

高見安右衛門書狀 名主掛川茂八宛 一通 二二三

藤郷覚左衛門書狀 掛川茂八宛 一綴 二二三

藤郷鉄藏書狀 掛川徳次郎宛 一綴 二二六

四屋精藏書狀 名主掛川徳次郎宛 一綴 二二四

平本繁次郎書狀 名主掛川徳次郎宛 一通 二二七

石坂庄七書狀 掛川徳次郎宛 一綴 二〇七

多田与五郎書狀 名主掛川徳次郎宛 一綴 二二五

平本謙介書狀 名主茂八郎宛 一通 二二六

平本謙介書狀 名主豊三郎他宛 一綴 二二八

平本惟徳書狀 掛川豊沢宛 一通 二六〇

御鷹

(御鷹場村入用覚) 会田伊右衛門役所宛 享保四・ 二通 八四

(御鷹御用水夫賄組合書上) 鈴木平重郎役所宛 一通 二〇七

(鷹為捉飼水夫人足使証文) 鷹匠村松惣七郎・宮井 二通 二〇七

方太夫 宝曆一〇 (御鷹御捉飼場犬之儀御尋ニ付差上書類) 泉本儀 四通 七〇

左衛門手代宛 宝曆一二 (御鷹為捉飼水夫人足遣覚) 能勢河内守支配御鷹匠 二通 八五

出口左源太他 明和二・天明七 御鷹方被仰渡請印帳 明和七 一冊 三六八

(御鷹村限り引請相賄ニ付一札) 安永四 一通 八六

(御鷹匠様殺生道具御目掛リニ付三給名主差上 一通 八七

一札) 野廻夜宛 文化一〇 御鷹御捉飼場御條目連印請書 戸田五助組野廻 一冊 六六

役金井元治郎宛 慶応元 宿触 内山七兵衛組坂部清七 未一二月 一通 八

御鷹入用覚 金太夫 一通 一〇六

土地

検地

畠方寄帳 名主茂平次(寛文頃) 一冊 八

御知行所田畑御水帳御用ニ付指上申覚 正徳二

高反別

*忍領村高覚帳 天和二

田畑取調書上帳 (慶応四)

高反別書上帳写 松崎上知分 岩鼻具出役宛

田畑取調書上帳 (明治二)

高反別取調三給合帳書上帳写 岩鼻具出役宛

(三枝・松崎上知分高反別書上帳) 明治初

(旧高書上) 明治一〇

田畑小拾書拔帳 慶応四

元長山祐一郎上知分田方位揃帳 明治五

荒地 荒地

田畑荒所書分帳 文政六

荒地反別書拔帳 慶応四

除地

御朱印除地取調書上帳 天保三

新田

(沼新田御請一札) 寛文一一

(新田開発願書) 寛文一一

(沼新田御檢地御改覚) 宝永三

一通 八〇

横半半 一冊 七〇

半 一冊 四

半 一冊 四

半 一冊 四

半 一冊 五

半 一冊 五

一通 一〇五

横長半 一冊 三

横長半 一冊 二四

横半半 一冊 九

横長半 二冊 三

半 一冊 二〇

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

(沼田取米被下状) 古橋金助 延享二

沼田見取リ石指上申覚 堀江佐次右衛門宛

(沼高割合覚案) 松岡治部右衛門・堀江左次右衛門

山林

(官林并荒蕪地反別地佃立木代取調申上) 明治

持高

御前帳之写 源左衛門組 延宝三

地帳之覚 名主七郎兵衛 妻沼村次郎兵衛宛

七郎兵衛田畠屋敷持高之覚

(本名田畑改書付指上覚) (元禄頃)

田畑手帳之覚 九郎兵衛宛 宝永五

田畑手帳之覚 甚右衛門・元右衛門宛 宝永七

田畑手帳之覚 重藏宛 宝永七・八

田畑手帳 小兵衛宛 享保七

田畑坪附ケ手帳 喜太郎宛 宝曆一〇

持高手帳 高城組名主又四郎 文政二

持高見面帳 掛川徳二良 天保一四

替地

(畑替地届書) 正徳五

(太郎左衛門替合畑之義御尋ニ付返答書) 寛保三

一通 一〇五

一通 六〇

一通 一〇五

一通 一五七

一通 一

一通 五〇

一通 九九

一通 三

一通 一〇四

一通 四

一通 六五

一通 四

一通 七

一通 八

一通 二

一通 六五

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

(三枝分太郎左衛門請取質地内証地替地ニ付松崎分小右衛門之地所變替仰付願) 寛保三

(五郎兵衛烟為取替証文) 又市宛 天明三

売 買・質 入

○売 買帳 面

田畑質物当座書貫帳 (享保五―文化九)

田畑拾ヶ年季質地渡入扣帳 名主掛川茂八
文化九―明治八

田畑質地書入扣帳 名主掛川徳次郎 嘉永元

(地所売渡奥印願) 明治一

公証願関係書類 永井太田村戸長役場 明治一二
一七

○掛川家宛証文

田島永代売渡証文 延宝五

(田畑相ゆすり申一札) 正徳四

田畑質地証文 元文五・安永二

田畑質地証文 延享二―安永九

(質畑請金請取覚) 宝曆七

(畑代金請取覚) 宝曆七

田畑質地証文 天明元―八

畑書入証文 天明四

田畑質地証文 寛政元―一二

質地証文 寛政四

一通 六卷

一通 六〇

一通 六〇

一通 六〇

二冊 六〇

一冊 六〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

一通 一〇〇

田畑質地証文 享和元―三

田畑質地証文 文化元―嘉永元

田畑質地証文 文化三―文政一二

田畑質地証文 天保四―弘化三

(居宅屋敷売渡シ置申一札) 弘化三

田畑質地証文 嘉永四―明治二

畑譲渡証文 明治二

畑質地証文 明治四

地所売渡証文并約定証 明治一五

流地証書 明治一五

地所売渡シ之証 明治二八―三二

○他家宛証文

田畑質地証文 安兵衛宛 元禄二六

田畑質地証文 孫兵衛宛 宝永元

しち地遣シ申ニ付御証文案文 松崎御内宛
正徳四

田畑質地証文 彦三郎宛 正徳四―享保四

田畑質地証文 安左衛門宛 正徳五・享保一六

田畑質地証文 十右衛門・伝兵衛宛 享保一〇

畑質地証文 喜右衛門宛 元文二

畑質地証文 延享二・享和元

一綴 一三三

一綴 一三四

一綴 一三五

一綴 一三六

一通 一三三

一綴 一三七

一通 一三三

一通 一三六

一通 一三五

一通 一三五

一綴 一〇〇

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一通 一三六

一綴 一三五

屋敷質地証文	与四右衛門宛 延享三	一通	二六九	田質地証文	孫右衛門宛 安永六	一通	二六七
畑質地証文	佐五兵衛宛 宝曆六	一通	二七〇	田畑質地証文	兵助・六郎右衛門宛 安永六	一通	二八六
畑質地証文	喜太郎宛 宝曆六・八	一綴	二七二	屋敷畑質地証文	八郎兵衛宛 安永八	一通	二八九
田畑質地証文	新戒村平左衛門宛 宝曆九―明和四	一綴	二七三	田畑質地証文	忠右衛門宛 安永八・享和二	一綴	二九〇
田質地証文	七左衛門宛 宝曆一〇	一通	二七三	田畑質地証文	五郎兵衛宛 天明二・五	一綴	二九一
田質地証文	角右衛門宛 宝曆一〇・明和元	一綴	二七三	畑質地証文	伊兵衛宛 天明四	一通	二九二
畑質地証文	彦七宛 宝曆一二	一通	二七四	畑質地証文	兵助宛 天明四	一通	二九三
田畑質地証文	六郎兵衛宛 宝曆一三・安永二	一綴	二七五	畑質地証文	太左衛門宛 天明四	一通	二九四
田質地証文	平右衛門宛 明和元	一通	二七六	畑質地証文	長四郎宛 寛政二	一通	二九五
畑質地証文	彦八宛 明和元	一通	二七七	畑屋敷質地証文	喜兵衛宛 寛政七	一通	二九六
田質地証文	伝藏宛 明和二	一通	二七八	畑質地証文	文藏宛 寛政八	一通	二九七
畑質地証文	平三郎宛 明和五・七	一綴	二七九	畑質地証文	源八宛 寛政一二	一通	二九八
畑質地証文	文七宛 明和六	一通	二八〇	畑質地証文	飯塚村直五郎宛 享和元	一通	二九九
畑質地証文	元右衛門宛 明和六	一通	二八一	畑質地証文	八郎右衛門宛 享和三	一通	三〇〇
田質地証文	安左衛門宛 明和七	一通	二八二	畑質地証文	善兵衛宛 文化二	一通	三〇一
屋敷質地証文	忠左衛門宛 明和七	一通	二八三	畑質地証文	上江原村安藏宛 文化一二	一通	三〇四
田畑質地証文	門兵衛宛 明和七・天明七	一綴	二八四	畑質地証文并添書	藤吉・嘉藏宛 天保五・一〇	一通	三〇三
田畑質地証文	義右衛門宛 安永二・五	一綴	二八五	畑質地証文	惣兵衛宛 慶応二	一通	三〇三
屋敷質地証文	文右衛門宛 安永五	一通	二八六	(田畑質物証文下書)		一綴	三〇三
田畑質地証文	観音堂宛 安永五―寛政八	一綴	二八六	(質地受戻シ未納分約定証)	田島八十吉 武井太	一通	三〇三
			三〇六	郎次宛 明治二二			三〇三

○村宛証文

(質地証文) 本庄深川元町庄兵衛 寛延二 一通 一五五

○小作証文

小作証文 新戒村平左衛門宛 明和三 一通 一三三

小作証文 兵助・六郎右衛門宛 安永六 一通 一三四

貢租

物成書上

(御年貢米永辻御尋ニ付申上覚) 石原半右衛門役 所宛 寛保二 二通 一七〇

已年々寅年迄拾ヶ年分御納高増減取調書上帳 慶応三 一冊 一〇九

高反別并去卯取箇辻其外書上帳 山田一太夫役所 半 四冊 二〇

五ヶ年租税平均書上帳 岩鼻果宛 明治三 一冊 二七

水掛田反別取調書拔帳 明治四 一冊 一七

御取箇取調書上帖扣 入間果宛 明治五 一冊 三〇

檢見

太田村田方檢見帳 元禄六 一冊 一七

(田方檢見并百姓御助引ニ付指上ヶ申手形) 元禄六 一通 一三五

(御檢見ニ付指上申手形) 元禄九 一通 一八六

(屏別不調法ニ付大形其積ニ而取付ニ付一札) 元禄九 一通 一三五

(檢見納米極ニ付一札) 宝永二 二通 一五二

田方内見附立帳 宝永三・享保一九 五冊 三三

(所檢見ニ付神文) 享保一九 一通 八〇

田場泥置大豆跡掘田嶋式御檢見步引帳 寛保三 一冊 八三

当田方附立帳 延享三 一冊 六

当田方御檢見内見帳 弘化三・明治六 一八冊 五五

当未田方御檢見名寄合付帳 安政六 一冊 六

田方毛附取調書出帳 慶応二 一冊 五九

田方毛附取調書出帳 明治元 一冊 二二

当午田方御檢見小割帳 明治三 一冊 五五

当未社寺領上知分田方御檢見内見帳 明治四 一冊 二六

(御檢見ニ付鎌留田一筆限リ畔外致シ急場凌方願) (明治四) 一通 八三

減免

(田方御取付之内米式拾俵引ニ付覚) 元禄六 一通 八〇

(田方御檢見引分取付覚) 元禄六 一通 一六四

(年貢減免願ニ付惣百姓連印口上書) 元禄二二 一通 一三五

久保・悪戸・風張前早稻田刈跡之米五俵御引被下ヶ割合覚帳 宝永元 一冊 八〇

水損場へ永七貫文御引被下候ヲ惣百姓衆へ割合帳 宝永元 一冊 三五

久保・悪戸水入大豆付立覚帳 宝永元 一冊 三三

沼田付立覚 宝永五 一通 八九

當田方附立帳 享保八	橫美半	一冊	百	田畑堀代嶋敷取引書抜帳 (明治初)	半	一冊	百
當卯田方日損風当リ場所改帳 享保二〇	橫長半	一冊	百	畑方堀代扣帳 明治五	半	一冊	百
當申之田方日損風当リ附立帳 元文五	橫長半	一冊	百	田畑堀代取調帳 明治六	橫長半	一冊	百
(大水ニ付年貢御用捨之段名主宛証文) 寛保二		一通	八二	(堀代川欠差引町步改記) 明治	橫長半	一冊	百
(水損書上覺) 石原半右衛門役所宛 寛保二		二通	二〇六	割 付		一冊	百
(戌御年貢用捨惣百姓御請証文) 寛保二		一通	八七	〇割付状		一通	百
(年貢用捨ニ付納御請連判証文) 名主宛 安永二		一通	二六〇	(年貢割付状) 首次 慶長一七		一通	百
田方御用捨米割合帳 天明八	橫長半	一冊	九	年貢割付状 寛永六		一通	百
(年貢米御用捨高目録ノ写) (寛政元一文武四)		一通	八三	年貢取付状 万治元		一通	百
當田方御用捨米寄帳 寛政七	橫長半	一冊	九	年具可納覺 寛文二		一通	百
(田方水損并當時荒分御用捨ニ付御請書) (文武七)		一通	二五七	田畑年貢取付状 延宝四一六		三通	百
田方内検見御用捨米勘定帳 文武九	橫長半	一冊	三	田畠年貢取付状 天和二・三		二通	百
西田ヨリ新田前水押ニ付引米調帳 安政四	橫長半	二冊	一九四	田畑年貢取付状 元禄元一五		一二通	百
(賄金其外過納分当年引下ケ証文) 万延二		一通	一〇〇	田畑年貢取付状 宝永二・七		二通	百
(先納分私領引附之通リ差引願) 山田一太夫役所 慶応四	半	一冊	九〇	田畑年貢割付状 正徳二一五		四通	百
(三給田方当辰破免御検見願) 山田一太夫役所宛 (明治元)		一綴	三〇	(田畑年貢取付状) 享保二一〇		一八通	百
水腐損毛高取調帳 明治一〇	半	二冊	三四	(田畑取付御請証文) 享保一九		一通	百
水腐損毛高取調帳(雛形) 明治二二	半	一冊	六三	(田畑年貢取付状) 元文元一五		五通	百
明治三拾老年九月七日大洪水ニ付地租及県税免除請願ニ関スル書類 明治三一	半	一冊	一五	(田畑取付御請証文) 寛保元・三		二通	百
〇堀 代				(田畑年貢取付状) 寛保元一三		三通	百

(田畑年貢取付状) 延享元一四 四通 一五〇 辛未租税割附 明治六 半 一册 一五八

(田畑年貢取付状) 寛延元二 二通 一五五 癸酉租税割賦并皆済帳 明治六・七 半 一綴 一五五

(田畑年貢取付状) 宝曆二一三 一六通 一五八 甲戌租税割賦并皆済帳 明治七 半 一綴 一五七

(田畑年貢取付状) 明和元一七 一一通 一五七 乙亥租税割賦并皆済帳 明治八・九 半 一綴 一五〇

(田畑年貢取付状) 安永三一九 五通 一五六 ○地租納令書 一綴 一五〇

(田畑年貢取付状) 天明元一七 七通 一五六 (未納金延納地租納令書) 明治一七 二通 一五〇

(田畑年貢取付状) 寛政三一 八通 一五七 (田租第三期納令書) 明治一七 一通 一五三

(田畑年貢取付状) 享和元一三 四通 一五一 ○割付差上覚 二通 一六七

(田畑年貢取付状) 文化元一三 一五通 一五三 (田畠年貢割付差上覚) 天和二 二通 一六〇

(田畑年貢取付状) 文政元一〇 四通 一五五 (田畠年貢割付差上覚) 元禄四一五 一通 一六〇

(田畑年貢取付状) 天保一二・一三 二通 一五五 (田畠年貢割付差上覚) (元禄頃) 一綴 一六〇

(田畑年貢取付状) 弘化元一四 四通 一五五 (田畠年貢割付差上覚) 宝永二 一通 一六〇

(田畑年貢取付状) 嘉永元一六 六通 一五八 (田畑年貢割付差上覚) 元文二 一通 一六一

(田畑年貢取付状) 安政元一六 七通 一五七 (田畑年貢割付差上覚) 延享元・四 二通 一六三

(田畑年貢取付状) 万延元 二通 一五六 辰田畑割付覚 寛延元 一通 一六三

(田畑年貢取付状) 文久元一三 三通 一五六 ○ 沼田御年貢米出ス割帳 宝永三一六 横長半 一册 一六

(田畑年貢取付状) 元治元 一通 一五〇 田方引名集帳 安永九 横長半 一册 一七

(田畑年貢取付状) 慶応元一三 三通 一五二 当荒地取立調帳 嘉永四 横長半 一册 一八

已御年貢可納割附之事 明治二 一册 一〇六 荒地取立米取調帳 嘉永六・安政四 横長半 二册 一八

辛未正租仮免状 (明治四) 一通 一五三 耕地限出合計算帳 明治八 横長半 一册 一三

仮免状 明治六一八 四通 一五三 畑方正租質地差引帳 明治一一 横長半 一册 一三

壬申租税割賦并皆済帳 明治五・六 一綴 一五八

畑宅地拾老年分地租差引帳	明治一二	横長半	一冊	二七
畑質地書拔帳	明治一二	横長半	一冊	四
小 割				
田方小割帳	延宝八―明治四	横長半	一四冊	三
畑方小割帳	延宝八―嘉永元	横長半	一四冊	三
沼田見取場小割帳	正徳元	横長半	一冊	二
質畑田小割帳	延享二・天明八・文化一一・一二・一四	横長半	五冊	三
田畑質地帳	嘉永六―明治二	横長半	一三冊	四
當午田方質地小割帳	明治三	横長半	一冊	五
當未田方質地小割取立帳	明治四	横長半	一冊	五〇
取 立				
御年貢金請取帳	宝曆一一・一四	横長半	二冊	七
御年貢米并大豆請取庭帳	宝曆一三―安永九	横長半	七冊	七
田方大豆取立町步寄帳	安永九	横長半	一冊	六
大豆割付取立帳	安永九―慶応三	横長半	一四冊	六
御年貢米請取帳	文化一〇・一二	横長半	二冊	六
御上米請取庭帳	嘉永七―元治元	横長半	五冊	六
當寅御年貢普請人足賃各其外請取帳	嘉永七	横長半	一冊	七
夏秋御年貢并普請渡賃請取帳	安政五	横長半	一冊	七
夏秋御年貢仁手渡シ賃金請取帳	安政六	横長半	一冊	九
卯辰巳御年貢其外受取帳	徳次郎宛 安政六	横長半	一冊	一〇
當申夏成御年貢諸入用割合請取帳	万延元	横長半	一冊	一〇

當夏秋御年貢并仁手渡賃請取帳	文久二	横長半	一冊	一七
去ル午年々戌年迄御年貢諸掛リ請取帳	西組組頭金藏 又市宛 文久三	横長半	一冊	五七
御年貢掛請取帳	(文久三―明治一二)	横長半	一冊	五
寅夏成御年貢請取帳	慶応二	横長半	一冊	二
(子御年貢夫錢諸懸請取皆済覚)	北組庄兵衛	横長半	一通	八
當辰御上米石代金書拔帳	明治元	横長半	一冊	一三
御積穀取立帳	明治四	横長半	一冊	二
(御上米取立記)	(明治)	横長半	一綴	九
朱印除地去癸酉租稅米金取立帳	明治七	横長半	一冊	二
畑方租稅内請取帳	明治八	横長半	一冊	三
雜稅其外受印記簿	明治一〇―一二	横長半	一冊	三〇
租稅郵費取立控帳	明治一〇・一一	横長半	二冊	三
畑稅第三期仮割賦帳	明治一一	横長半	一冊	三
畑宅地第二期第三期稅金取立帳	明治一二	横長半	一冊	三
地方稅取立帳	明治一二・一三	横長半	二冊	四
租稅其他費用徵收記簿	明治一三	横長半	一冊	二
畑方正租取立帳	明治一三・一四	横長半	二冊	二
山林原野正租取立帳	明治一一―一四	横長半	二冊	二
明治十四年度營業雜種稅取立帳	明治一四	横長半	二冊	二
租稅其他費用徵收記簿	明治一五	横長半	二冊	二
地租村費徵收簿	明治一六	横長半	一冊	一

納 入

金子指上ケ申覚	元禄二二	三通	一四〇〇
(年貢未進并御貸金指上ニ付口上書)	元禄二二	一通	一三六
(金子指上口上之覚)	元禄一七	一通	一四〇
(金子指上ケ申覚)	宝永三	二通	一四〇三
戌ノ御年貢金残り并油多ノ代五郎右衛門分小作 なみ金指上ケ申覚 亥二月		一通	一四三
御年貢油在代金指上覚	正徳二―宝曆二二	一綴	六四
畑方御年貢差上申覚	享保三	一通	一三六
寅ノ御年貢米金納高辻覚	卯三月(正徳元カ)	二通	一六六
御年貢指上扣帳	享保一―寛延四	一冊	六
田畑御年貢上納仕上ケ帳	元文五―文化二一	一六冊	六
卯年ノ五ヶ年御物成仕上帳	寛政二二	一冊	九
田畑御上納仕上ケ帳	卯年	一通	一六六
丑ノ戌迄之田畑納高書付	亥九月	一通	一〇六
乙亥貢米俵拵名前帳	明治九	一冊	三六
於府原貢米取入之節取計規則 (断簡)		一通	八三
請 取 手 形			
(畑方御年貢未進(金請取覚)	元禄元	二通	一三〇〇
(油在代金請取覚)	元禄六・七・八	三通	六三
(年貢金之内舟賃払残金子請取覚)	元禄七	一通	一三六
田畑米金納請取証文扣帳	(享保一八・一九)	一冊	七

太田村田畑納扣帳 (元文五・寛保元)

田畑米金納扣帳	(寛保二・三)	半	一冊	七
(畑方金之内請取覚)	享保一九・二〇	半	一冊	七
(畑方金之内請取覚)	元文二・五		一五通	一三〇
(畑方金之内請取覚)	寛保元・二		一五通	一三〇
(畑方金之内請取覚)	延享二・四		九通	一三〇
(畑方金之内請取覚)	宝曆八		一二通	一三〇
(畑方金之内請取覚)	宝曆八		一一通	一三〇
(金子請取覚)	宝曆八		一通	一五七
(金子請取覚)	宝曆九・一二		四通	一四〇
(畑方年貢金請取手形)	宝曆一三		一通	一六四
(油代金上納請取覚)	(宝曆一三)		一通	一〇七
(畑方金之内請取覚)	明和三―九		二二通	一三六
(畑方金之内請取覚)	亥九月(明和四カ)		一通	一三三
(御雜用金請取覚)	尾欠 亥一〇月(明和四カ)		一通	一四四
(畑方金之内請取覚)	安永元―四		五通	一三七
(上納金・雜用金請取覚)	安永三		一通	六四
(物成之内金子請取覚)	安永四		二通	一四六
(金子請取覚)	安永七		二通	一四〇
(物成之内并入用金請取覚)	(享和三)		一通	八四
(金子請取覚)	文政一		一通	一五六
(金子請取覚)	安政四・五		三通	一五〇
(卯年納辻余納米請取覚)	慶応四		一通	六四

(辛未貢米請取証) 明治五	一通	一五六
(地租仮納証) 明治九一・一二	一綴	六五
營業税金上納 明治九	一冊	五八
(十年分新規酒類小売營業稅受取証) 明治一一	一通	一五四
(地券証印稅受取証) 明治一一	一通	一五五
(地租地方稅他受取証并令書) 明治一五・一六	一綴	六七
(營業稅受取証) 掛川・堀江宛 明治一七	二通	一五九
石代		
御藏石代覺帳 安永八	一冊	五七
延納		
(五郎右衛門年貢請合一札) 元禄一三	一通	一三三
(与兵衛之遣候田地來秋迄手作ニ付佐五左衛門差出一札) 享保二〇	一通	六六
(違作年貢滯分取扱之儀島主小作連印差出一札) 寛延三	一通	一〇三
(麦作年貢滯ニ付地主と相對濟方之儀小作人口上書) 寛延三	一通	一〇三
(孫市右衛門年貢上納日延ニ付入置申一札) 文化一・二・一三	二通	一六八
(御年貢未進之内指延之義口上之覺) 卯一二月	一綴	六五
地租第三期納日御猶予願 明治一六	一通	六三
未進		
辰之田畑御年貢米金御未進払目録 元禄二・三	四通	六三
酉之田畑御年貢米金御未進払目録・大豆御藏之入置預リ申ヲ払目録 元禄八	一通	六三
(年貢未納分利足付指延ニ付金子手形) 宝永八	一通	一三四

田方未進帳 寛保元一明治一四	橫長半	四三冊	六
畑方未進帳 寛保二一明治八	橫長半	三八冊	六
(未進書拔帳)			
(掛川八百吉納分未納差引書)	橫長半	飯一冊	五七
田畑質地未進帳 明治四一・一〇	橫長半	飯一冊	五九
当寅未進帳 明治一一	橫長半	七冊	七〇
明治九・十兩年地租未納金取調出頭記 明治一四	橫長半	一冊	一三
明治九・十兩年地租未納金調費筆數割帳 明治一五	橫長半	一冊	一四
(田畑反別地価割分未進計算覺)	橫長半	飯一冊	六七
先納金			
(御年貢先納金請取村方連判証文) 川内屋五兵衛宛他 明和五・七		二通	六六
(寿光院様御賄方入用ニ付先納金借用申証文案紙) 河内屋五兵衛宛 明和六		一通	一四四
(御年貢先納金預リ村方連判証文) 安永二・三		二通	六九
先納証文写 吉岡・河内屋・伊勢屋宛 明和五一	半	一冊	八五
安永三			
(先納金才覺ニ付議定一札) 安永五・享和三		一綴	六〇
(先納金才覺ニ付惣百姓御請一札) 安永七		一通	六三
先納金調達ニ付惣百姓連印願書 安永七		一通	六三
(先納金借返ニ付引当米積送可申覺) 安永九		一通	一四七
(質畑入置先納金才覺ニ付一札) 天明八		一通	六四
先納金ニ付百姓連印一札 天明八		一通	六五

(新先納金利分ニ付一札) 寛政元 一通 三七

先納金御下ヶ願書上帳 山田一太夫役所宛 明治 半 一冊 二三

○請 取

(先納金請取証文) 明和四 一通 一〇九

(先納金請取覚) 安永元一三 二通 六五

(米替金借用一札) 安永二 二通 六六

(先納金借用請取覚) 安永二 一通 一五〇

(先納金請取一札) 天明八 一通 一四三

(御暮方為賄先納金借用証文) 寛政二 一通 一四三

(勝手向為賄先納金借用一札) 享和四 一通 六七

(御飯米為代金先納金借用一札) 文化六 一通 六〇

(普請入用先納金請取一札) 慶応三 一通 六七

(先納金請取一札) 慶応四 一通 六六

*已年御暮方并先納金濟方 寛政一〇

先納金仕上覚 天明四一九 寛政一二 一綴 六三

先納金仕上 未・申年 一綴 六六

差 引

(永勘定差引帳) 横長半 一冊 五三

卯年々已年迄御年貢村差引皆濟帳 安政六 一冊 一〇

(御年貢米永大豆残書抜覚) 文久三 一冊 一〇三

(午年上納金差引調) 午一〇月 横長半 一通 一六元

御年貢残書抜帳 明治二 横長半 一冊 二四

納 払 目 録

年貢米金納目録 寛文元一三 八通 一五九

年貢米金并大豆納目録 延宝元・五・六 四通 一五五

年貢米金并大豆納目録 天和三 一通 一五六

年貢米金并大豆納目録 貞享三一五 四通 一五七

田畑年貢米金并大豆納目録 元禄二・一三・一六 三通 一五八

年貢米金納目録 (宝永二) 一通 一五九

田畑年貢米金并大豆割付目録及納目録 正徳 二通 一五〇

田畑年貢米金并大豆割付目録并納目録 享保二 一六通 一五一

田畑年貢米并大豆割付目録及納目録 元文三一五 五通 一五二

田畑年貢米并大豆割付目録及納目録 寛保三 二通 一五三

田畑年貢米并大豆割付目録及払方納目録 延享 七通 一五四

田畑年貢米并大豆割付目録及納目録 寛延元 一通 一五五

(田畑年貢米并大豆割付目録及納目録) 宝曆 一〇通 一五六

田畑年貢米并大豆割付目録并納目録 明和三一八 六通 一五七

(田畑年貢米并大豆割付目録及納目録) 安永 三通 一五八

(田畑年貢米并大豆割付目録及納目録) 天明 三通 一五九

五・六・九 (田畑年貢米并大豆割付目録及納目録) 天明 三通 一五九

(田畑年貢米并大豆割付目録及納目録) 寛政 九通 一六〇

(田畑年貢米并大豆割付納目録及納目録) 享和
二一四 三通 一六〇

(田畑年貢米并大豆割付納目録) 文化二一三
一七通 一六〇

(田畑年貢米并大豆割付納目録) 文政二一三
一一通 一六〇

(田畑永年貢米并大豆割付納目録) 弘化四・五
二通 一六〇

(田畑永年貢米并大豆割付納目録) 嘉永二一五
四通 一六〇

(田畑年貢納目録) 断簡
一綴 一六〇

皆 濟

○手 形

皆濟手形 宝曆九一四 五通 一六七

皆濟手形 明和元一九 六通 一六八

皆濟手形 安永二一〇 六通 一六九

皆濟手形 天明三一八 七通 一七〇

皆濟手形 寛政二一九 六通 一六三

皆濟手形 享和二一四 三通 一六三

皆濟手形 文化三一五 七通 一六三

皆濟手形 文政二一二 九通 一六四

皆濟手形 天保二一一 七通 一六五

皆濟手形 弘化二一五 四通 一六六

皆濟手形 嘉永二一七 六通 一六七

皆濟手形 安政二一七 六通 一六八

皆濟手形 万延二 一通 一六九

皆濟手形 文久二一四 三通 一七〇

○目 録

皆濟手形 元治二 一通 一六三

皆濟手形 慶応二一四 三通 一六三

半 三冊 七

皆濟目録帳 安政五・慶応四 二通 一六三

年貢皆濟目録 明治三・四 二綴 一六五

*壬申租税割賦并皆濟帳 明治五・六 一綴 一六五

*癸酉租税割賦并皆濟帳 明治六・七 一綴 一六五

*甲戌租税割賦并皆濟帳 明治七 一綴 一六五

*乙亥租税割賦并皆濟帳 明治八・九 一綴 一六五

雜

(年貢米高之俵換算違ニ付改方願書) (元禄六) 一通 一六五

(亥年分年賦米請取覚) 明和四 一通 一六八

(御上米買請代金勘定日延聞濟ニ付入置申一札) 文化一三・一四 三通 一六八

(大水ニ付風張百姓に御年貢皆濟金として御貸ニ付入置申書付) 文政五 一通 一六九

(米買ニ付入置申一札) 文政一三 一通 一七〇

(御年貢諸懸り覚) 午二月 一通 一七〇

(介右衛門分戌亥兩年御年貢覚) 一通 一七〇

藏 米

廻 米

(御年貢葛西金町武藏や迄積送ニ付御請一札) 安永一〇 一通 一七〇

(去亥大豆四拾俵不作ニ付当秋亀屋長五郎え可渡下知書) (寛政四) 一通 一七〇

(御上米受取覚) 亥・子年

(御上米代金受取覚) 酉一二月

去亥年貢米津出し御日延願 明治九

○

舟賃金払目録 貞享四一天明九

*舟賃預り目録 享保二一一宝曆二二

巳御年貢大豆舟賃共ニ払目録 安永二

舟賃目録 文化四

蔵米預手形

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 元禄五・

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 宝永四一

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 正徳元

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 享保二一

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 元文元一

御年貢米御蔵え入置預り申手形 寛保二・三

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 延享二一四

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 寛延元

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申手形 宝曆元一

蔵米払目録

辰年貢大豆払覚 (延宝頃)

御年貢米大豆御蔵え入置預り申払目録 延宝五

二通 一五〇

一通 一五〇

仮二冊 一〇九

四綴 三

一綴 三

一通 三

一通 三

一通 三

二通 三

三通 三

一通 三

七通 三

七通 三

七通 三

二通 三

六通 三

二通 三

八通 三

一通 三

一通 三

一通 三

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申を払目録 天和四

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申ヲ払目録 元禄元一六

御年貢米并大豆御蔵ニ入置預り申ヲ払目録 宝永四一八

田方御年貢米并大豆御蔵ニ入置預り申ヲ払目録 正徳五

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申払目録 享保四一二〇

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申ヲ払目録 元文元一五

御年貢米并大豆御蔵え入置申払目録 寛保二・三

御年貢米并大豆御蔵え入置預申ヲ払目録 延享元一四

御年貢米大豆御蔵え入置預り申払目録 寛延元

御年貢米大豆御蔵え入置預申払目録 宝曆元一

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申ヲ払目録 享保二〇

(田方米払代請取覚) 元文二・五

(田方米払代請取覚) 寛保元一三

(田方米払代請取覚) 延享二・四

(米払代金請取覚) 明和三

(田方米払代請取覚) 明和四・七

(田方米払代請取覚) 安永元

米大豆壳付

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申を払目録 二通 二六三

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申ヲ払目録 一〇通 二六四

御年貢米并大豆御蔵ニ入置預り申ヲ払目録 三通 二六五

田方御年貢米并大豆御蔵ニ入置預り申ヲ払目録 一通 二六六

御年貢米并大豆御蔵え入置預り申払目録 四通 二六七

御年貢米并大豆御蔵え入置申払目録 五通 二六八

御年貢米并大豆御蔵え入置預申ヲ払目録 三通 二六九

米売前金手形	上須戸村彦七郎宛	享保六	一通	二二六
(米売付証文)	新戒村平左衛門	宝曆九	二通	二二五
(大豆売付証文)	新戒村平左衛門	明和三	一通	二二五
米売付証文	又市宛	天明四	一通	二二五
(米代前金借用手形)	亀屋長五郎宛	文化五・六	二通	二二六
御年貢米御払覚帳	文化一三	横長半	一冊	二〇〇
(大豆仕切)	掛川徳次郎宛	酉一二月	一通	二〇〇
(もち米し切)	さのや半七 <small>長五郎宛</small>		一通	二二二
課役				
国役				
(荒川通并玉川通国役普請入用納付申渡書)			一通	二七六
寅一〇月(延享三カ)				
(利根并他川通り御普請ニ付武蔵国高役金納覚)			二通	二六五
宝曆一〇				
(国役金請取覚)	宝曆一〇—安永八		七通	二六五
(国役上納金請取覚)	宝曆一三		一通	二六五
(国役金差上覚)	明和三		一通	二六五
(利根川・荒川両筋国役普請入用納付申渡書)			一通	二七七
子一二月(明和五カ)				
(午年川々御普請国役金割金達書并案紙)			二通	二六四
(鬼怒川・利根川・江戸川御普請并朝鮮人国役掛り割合高写)	戊年		一通	二六八
夫役				
(鷹為捉飼水夫人足使証文)	宝曆一〇		二通	二〇七

* (鷹為捉飼水夫人足遣覚) 明和二・天明七

(地頭急用之節出府人足之儀請書一札) 嘉永六 半

(人夫賃金受取帳) 明治一四 横長半

助郷

〇触書・勤方

(朝鮮人来聘ニ付地頭下知書) 天和二 一通 二七九

(朝鮮人来聘之節人馬出シニ付請書) 天和二 一通 二七九

(朝鮮人来聘ニ付人馬出候儀触) 正徳元 一通 二七九

御伝馬御証文写シ覚 延享元 一冊 二八二

(和宮御下向御用大急回章) 深谷宿問屋・年番頭 文久元 一通 二七七

(岩鼻県知事并小参事御先触受取記) 妻沼村組頭 一通 二五三

〇増助郷

(男沼村他五ヶ村勤埋御免除之上御変革御通行ニ付当分助郷被仰付度願) 文久三 一通 二七二

(御見分様継送ニ付助人馬被仰付度願) 会田伊右衛門様御役所宛 一通 二七四

〇免除願

(深谷宿助郷御免願) 延享元 二通 二七〇

(来正月ノ助郷御伝馬役御免願) 延享四 一通 二七一

(八木田村ノ熊谷宿加助郷差村御免除願) 一通 二七五

〇雇人馬

(増助郷代人足賃ニ付取扱一札) 弁才村友右衛門・上敷免村長重郎 文久三 一通 二七三

(日光御法会之節太田宿助郷人足雇賃銭取極并請取一札) 丑四月 三通 二〇三

○出人足

地租改正

高倉殿高松殿御通行之節名面書拔帳	慶應四	橫長半	一冊	三三
地券渡方規則拾五条已下四拾条迄	明治五	半	一冊	六
田畑屋敷山林其外明細書上帳	明治六	半	二冊	三〇
高外田畑屋敷山林其外明細書上帳	明治六	美	一冊	五九
(田畑質地分地券証請取印形帳)	(明治七一九)	橫長半	一冊	四〇
從來公有地原由取調書上帳	明治八	半	一冊	三
字限反別取調帳	明治九	橫長半	一冊	四
田畑名称區別帳	明治九	橫長半	二冊	四
再調・書拔	明治一〇	橫長半	一冊	三
第八大区四・五小区模範八ッ口村組合地位等級表控簿	明治一〇	橫長半	一冊	三
(改正田畑宅地持反別帳)	(明治一一)	橫長半	一冊	三
改正田畑宅地郭分并惣計帳	明治一一	橫長半	一冊	六
田地位等級番号帳	明治一一	橫長半	一冊	九
田畑反收穫取調帳	明治一一	橫長半	一冊	二
(地租改正田方收穫米上申書猶予願)	明治一一	半	一冊	九三
宅地字限反別地価百三式半金總計・田畑字限反別地価百三式ケ半金合計帳	明治一二	橫長半	一冊	元
(收穫地価等級別百分三二ケ半金高記)		橫長半	一冊	六
新屋敷成取消シ願	明治一五	半	一冊	七
群馬県地租改正計算略法	明治		一通	六
(地引帳)	明治	橫長半	三冊	五

地位等級名細帳 明治

(屋敷分地代金并小作金帳)		橫長半	五冊	六
(地租改正作製帳簿并道具覽)		橫長半	一冊	六〇
字限野取考分卷門ノ百一	(明治)	美	一冊	五
(字別斜入野帳)	(明治)	橫長半	一三冊	六

村

村 況

(太田村三給所村高書上覽)	(宝曆一二)	寫	一通	三三
村高・家数・人別・御朱印・御除地書上帳	慶應二	半	一冊	三三
村明細帳	明治二	半	一冊	三五
郷長組合高村數記	明治三	橫長半	一冊	三七
村号御尋ニ付書上	明治六	半	一冊	三三
(永井太田村村誌)	(明治八)	半	二冊	五七
明細書控	明治一三	半	一綴	三三
市ノ坪村・太田村・飯塚村從三村境界上	明治一九	橫長半	一冊	三三
太田村繪図	斷簡		一鋪	七〇
(太田村惣繪図請取覽)	元禄一三		一通	七五

議 定 書

(小屋番并村中盗人取締ニ付村中取極惣連印一札) 享保一四	一通	七三
(新規屋敷立・替田畑停止等ニ付三組取極惣連印一札) 享保一四	一通	七三
(徘徊人取締御触ニ付組合相談議定一札) 文政四	一通	七三
(村町会議員選舉ニ付村内議定書) (明治一〇頃) 半	一冊	三五
儉約議定書 八大区五小区各正副戸長惣代連印 明治一〇	一冊	三六
儉約議定書 永井太田村総民連印 明治一二	一冊	三五
(筆生及惣代人任命ニ付村内議定書) 明治一二	一冊	三五
村 役 人		
(五人組頭任命覚) 元禄一三	一通	七七
(御地頭様御腹立ニ付名主指上ケ申一札) 延宝九	一通	八四
(名主又市休役願) 天明九	一通	七六
(五人組頭跡役願書) 文化六	一通	七九
(名主役ノ儀被仰付ニ付請書) 文政一一	一通	七三
(名主代役辭退願) 文政一二	一通	七三
(組頭平三郎慎御免申渡) 安政六	一通	八三
(名主見習申渡状) (文久頃)	一通	七五
(安左衛門印鑑改届) 丑二月	一通	一〇〇
(村中惣代投票紙) 明治一二	一綴	七五
埼玉県辞令 戸長任命 添状共 明治一二・一五	四通	七三
埼玉県辞令 戸長差免 添状共 明治一五	二通	七三
(投票用紙)	六枚	七三

公 用 留

*御用留村入用帳 安政三・明治二	横長半	七冊	六四
(御用留) 卯二月	半	一冊	四三
御用留 明治四	半	三冊	三〇
○			
(役向諸勘定留覚) (文政九・安政五)	横半半	一冊	四六
おほえ 万延元	横半半	一冊	四六
(役向諸控日記)	横四半	七冊	四七
村 方 出 入			
(名主茂助年貢不勘定ニ付惣百姓訴願状) 寛永一五	横長半	一通	六六
(五郎右衛門田畑御取上ニ付同地讓受百姓七人口書并名主指上一札) 元禄一四	横半半	二通	七四
(年貢未進小百姓大勢御屋敷敷迄訴訟之儀御用捨ニ付証文) 享保七	横半半	一通	一三五
(田畑取付ケ御訴訟人御宥免ニ付口上書) 享保七	横半半	一通	一三九
(太田村男沼村境道掛土場定抗打内濟取替証文) 明和七	横半半	一通	七六
(御鷹御賄ニ付江袋村西野村夕出訴ニ付返答書)	横半半	一通	一五三
職 務 書 類			
諸色出頭書拔帳 明治一一	横長半	一冊	三六
改正日当諸出役其外諸色拔出帳 明治一一	横長半	一冊	三九
(押切村正田利三郎紛失帳簿發見ニ付差入書) 明治一二	横長半	二通	三三
(筆生採用上申書 聞届濟) 明治一二	半	一冊	三三
(永井太田村非常事件之際拾得印形照会状) 明治一三	半	一通	三三

十三年上半季分筆生總代人役場詰合記 明治一三 二通 九七

(学校聯合投票并江原堤之儀ニ付會議出頭議員 覺) 明治一四 一通 一五〇元

明治九・十兩年地租未納金取調詰合日当帳 明 橫長半 一冊 一零

衛生委員撰奉上申控 明治一五 半 一冊 六二

(土族取調書) 明治一六 半 一冊 一〇〇

(字高城之間道不衛生ニ付上申書) 明治一七 一通 一四四

職務上關係書類 (明治二〇―二五) 半 一冊 三〇

延納年賦一時上納調詰合日誌 明治二二 橫長半 一冊 一四

村長在職中雜書類綴 (明治三一―三四) 半 一綴 五〇

(割付并村明細帳案紙) 半 一冊 四二

(村會議員出頭記) 辰八月 一通 一五〇

營業書類 淨瑠璃渡世御鑑札御引替願 明治七 半 一綴 一〇七

芝居興行願 明治八・一二・一四 半 一綴 四〇

營業人名表 明治九 半 三冊 四四

(營業關係書類) 明治九―一七 半 一綴 五三

(荷積中車御檢印願) 明治一〇 半 一冊 四〇

諸職工人員取調書 明治一三 半 一冊 四三

商金高調 明治一五・一六 半 一綴 四三

(煙草并同印紙買入使用帳) 半 一綴 四〇

質屋願 明治一六 半 一冊 四四

酒類受賣廢業願 明治九 半 一冊 四〇

(酒類売買鑑札返還証) 明治一〇 一通 一四九

明治一六・一七年一月一日酒類現在高 明治一七 一通 四九

村入用 入用控

(御鷹場村入用覚) 享保四 二通 八四

(御鷹御用水夫賄組合書上) 享保八 一通 一〇六

*御制札入用帳 宝曆七 一冊 三三

*御鷹村限り引請相賄ニ付一札) 安永四 一通 八六

御鷹御宿御賄諸用帳 寛政元・文化二 橫長半 二冊 三〇

葛和田村惣八引合ニ付諸掛控 安政二 橫長半 一冊 二六

御用留村入用帳 安政三―明治二 橫長半 七冊 二六

論所御出役諸入用控 安政四 橫長半 一冊 二九

御地頭所檢見出役入用控帳 安政六 橫長半 一冊 四六

御下向ニ付日記帳 文久元 橫長半 一冊 三三

江原堤・和宮様御伝馬・仁手村普請諸色入用書 拔帳 (文久三) 橫長半 一冊 三三

直次郎一件諸入用日記帳 文久三 橫長半 一冊 三三

外々申迄江戸入用調 (外八月―申九月) 橫長半 一冊 三三

(出役并并当代覚帳) 亥一―五月 橫長半 一冊 三三

菅繕御掛桜井少属様・坂史生様御旅宿入用控帳

明治二

横長半

一册

三七

当未田方納入用帳

明治四

横長半

一册

二六

御上米納諸入用帳

明治五

横長半

一册

二五

御上米川岸出シ東京迄着船届入用帳

明治五

横長半

一册

四七

御上米川岸駄賃取調帳

明治五

横長半

一册

三三

改正ニ付御出派御旅宿入用控

明治九

横長半

一册

三九

割 合 帳

御伝馬惣代雑用割合帳

明和九

美

一册

五〇

諸掛リ割合帳

安永九

横長半

一册

四四

三給割 寛政元

横長半

一册

二五

万諸掛リ貫寄帳

寛政一二

横長半

一册

二四

村入用割合帳

享和元

横長半

一册

二五

諸掛リ割合帳

嘉永六一慶応二

横長半

九册

六三

村入用割合帳

嘉永七一明治元

横長半

一五册

六二

盆前諸入用割合帳

慶応四一明治一一

横長半

六册

六五

割 賦・取 立

*万諸掛リ貫寄帳

寛政一二

横長半

一册

二五

村入用其外組入用諸割合帳

明和九・天明三

横長半

二册

六三

成年割落書抜帳

文久二

横長半

一册

三〇七

丑諸掛リ差引請取帳

慶応元

横長半

一册

三三

盆前諸掛割合請取帳

慶応三

横長半

一册

三三

給米石代書抜帳

明治元

横長半

一册

三四

当巳村入用割附帳

明治二

横長半

一册

五五

去未御上米諸掛割合帳

明治五

横長半

一册

二三

去未御廻米納入用割合取立帳

明治五

横長半

一册

二三

社寺上知分印稅諸費割合帳

明治八

横長半

一册

二六

成諸色拔出シ帳

明治八

横長半

一册

四三

(村費・改正費・用水費割合帳)

明治八一四

横長半

八册

二六六

去亥貢米納入用取立帳

明治九

横長半

一册

五四

十一学校校費下半年九年十年不足分并戸籍給料

反別戸数人員割賦帳

明治一〇

横長半

一册

三七

警察費・保護給料・戸籍費取立帳

明治一〇

横長半

一册

三四

学校警察費・戸籍保護給生徒戸数人口割

明治一〇

横長半

一册

三三

*租稅郵費取立控帳

明治一〇・一一

横長半

二册

一四

給米代金取立帳

明治一一

横長半

一册

一六

学校費其他受取記

(明治一一)

横長半

一册

三六

村費賦課帳

明治一一一六

横長半

五册

四四

公立県立学費警察戸籍費取立帳

明治一一

横長半

一册

三三

出石村役賃錢取立帳

明治一二

横長半

一册

四二

明治一三年地方稅地価・戸数割取立帳

明治一三

横長半

一册

一三〇

戸数人頭割取立帳

明治一三

横長半

一册

三三

*租稅其他費用徵收記簿

明治一三

横長半

一册

一三

筆生総代人給料賦課

明治一三

横長半

一綴

六七

明治一三年下半年戸数人頭割合帳

明治一四

横長半

一册

五一

田畑宅山林改租書拔帳 明治一四

* 租稅其他費用徵收記簿 明治一五

* 地租村費徵集簿 明治一六

戸數・人口生徒割合簿 明治一六・一七

地方稅戸數割乘率案 明治一七

每年夜番費割合帳 明治二一

(村費人別割帳)

地方稅公儲金共半ヶ年分

(納米并納入用受取帳) (明治)

(村費違算修正書拔帳) (明治)

(地価・戸數割并公儲金徵收差引簿) 斷簡

立 替

(村入用其外立替金勘定覚) (享和三)

去ル卯年々巳年迄勘定取調控帳 安政五

当未村諸色割落立替控帳 明治四

村入用立替帳 明治四

諸出金受取帳 明治八

立替金書上 明治二九

(戸籍再調ニ付萩原信有立替)

村 借

(御年貢未進ニ付江戸ニ而金子預り連判手形)

借用金年賦証文 安永七

伝馬宿入用

(矢鳥塚組合助郷訴訟入用ニ付惣村中連印帳)

御伝馬諸人用割合帳 文久元

御伝馬人足賃割合帳 文久元

御伝馬人足賃金渡帳 文久元

御伝馬後割合帳 文久元

御伝馬一条出金控帳 文久二

御伝馬一件道中日記帳 文久二

御伝馬入用割合帳 文久元

御伝馬入用割合帳 文久二

和宮様御伝馬人足割落江原堤取弘御出役入用人足賃仁手諸色人足賃尾州様御伝馬人足其外割合

文久三

御伝馬歎願出府雜用割合帳 文久三

御官軍御通輿諸入用 慶応四

高倉・高松御通輿御伝馬入用帳 慶応四

高倉殿・高松殿御通輿御伝馬諸色人足取調帳 慶応四

官軍岩倉殿・高倉殿・高松殿御通行御伝馬諸入用帳 慶応四

(夏成伝馬入用御用金受取并残書拔帳) 酉年

民 費 書 上

明治六年民費書上帳下調 明治七

民費明細書上帳控 明治八

民費書上帳 明治九

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

半 一冊 一〇五

民費下調帳	明治一〇・一一	横長半	三冊	三〇〇
民費表	明治二〇・一二	半	一綴	六〇
村 役 場 費				
村費出金記簿	明治七・一〇・一五	横長半	三冊	六七
(諸給料受取并渡願)	明治八・一四		一綴	一五
改正器械壳弘帳	明治一〇	横長半	一冊	四〇
(書留信書受取記)	明治一〇他		一綴	一五〇
回達通送費調	明治一三	半	一冊	三三
永井太田村会議員日当及書記給調	明治一四	半	一冊	一〇〇
公用郵便差立控	明治一六	横長半	一冊	四四
(法令全書代不足并送費追納願照会)	明治三三		一通	一四七
(俸給雜給費他受取証)			二通	一五三
警 察 費				
(警察費掛高伺書)		半	一冊	一〇七
(警察費之内割合并補助金上納令書)			一通	八五
妻沼警察署在勤田中直次殿賄数記簿	明治二二	横長半	一冊	五八
(警察費割合半数分受取記)			一通	一四五
学 校 費				
生徒授業料取立帳	明治八	横長半	一冊	三六
(学校入費一月々五月迄懸り高割合分受取記)	明治八		一通	一四三
(太田学校教員給料請取証)	明治八		一通	一四三
(太田学校費并生徒覚)	明治一〇・一一	横長半	一綴	一六四

(下半年学校費受領記)	明治一一		一通	九五
(太田学校聯合協議費収入予算議決届并仕訳書)	明治一二	半	一冊	四三
(上半季学費受取記)	明治一三		一通	一四五
(太田学校聯合会費之内決定ニ付回答記)	明治一三		一通	一四四
(学資協議費第一期徴収残額取立願)	明治一三		一通	九七
(七月より十二月まで学費徵集金受取記)	明治一四		二通	一〇〇
(学校联合会日当御渡願)	明治一四		二通	一四六
(小学校入費立替出金受取記)	戊七月		一通	一四七
(用水路并橋懸替小学校費戸数別半年分帳)	(明治)	横長半	一冊	三六
营 業 税 割				
各營業稅決算皆済仕訳	明治九	半	一冊	一〇九
明治十年前半分諸商業稅仕訳書	明治一〇	半	一冊	一〇五
營業稅取調書	明治一二	半	一冊	四七
營業人諸費賦課帳	明治一三	横長半	一冊	四三
(職工賃諸色代内訳)	明治一三		一通	一〇四
雑				
*殿様方より村入用被成下候覚書	享保九	半	一冊	一〇三
名前覚帳	文政六	横長半	一冊	二九五
(非常凶年予備金員預り証)	明治一三		一通	九七
村入用他關係雜書類			一綴	一六一

戸口

家数人数

太田村人別帳 享保九—文化二三 半 一〇冊 三三
 家数人別増減改書上帳写 明治二・四 半 二冊 三三

宗門改

宗門御改指上手形 寛文一一・天和二・貞享元・元禄四 四通 三三

五人組

忍領太田村五人組帳 寛文一三 半 一冊 三三
 指上ケ申五人組手形 貞享元 一通 三三
 太田村五人組帳 延宝七・元文六・宝曆九 半 三冊 三三
 (五人組手形) 明治二 美 一冊 三三
 (五人組議定書) (明治初) 半 一冊 三三

戸籍

(八拾八歳以上之者取調) 明治五 半 一冊 三三
 先般二十歳書上ノ上免役ニ相成別帳ニ致し候分 (明治五) 半 一冊 三三
 十六歳六ヶ月ヨリ十七歳十一月迄人員取調帳 明治六 横長半 一冊 三三
 (文政十二年以降六年毎出生調) (明治一二以後) 横長半 一綴 三三
 附籍之者戸籍簿記載方之義ニ付伺 明治一五 横長半 一綴 三三
 族籍及戸数下調書 明治一七 横長半 一冊 三三
 戸籍關係書類雛形 一綴 三三

加除籍

(吉右衛門目沼村移住願書) 明和七 一通 三三
 (人別送一札) 明和九・天保五 二通 三三
 (人別送一札) 嘉永五—慶応元 三通 三三
 人別送一札 妻沼村宛 明治元 二通 三三
 送籍証 明治三一—五 一三綴 三三
 送籍受取書 明治三一—六 一三綴 三三
 寄留証 明治五一—四 一綴 三三
 加籍御願書 明治六 一綴 三三
 村内加除籍願書綴 明治六一—四 一綴 三三
 (寄留書差出方願書) 明治七 一通 三三
 寄留受取証 明治七一—二 一綴 三三
 贈籍証 明治八 一通 三三
 寄留証 明治九・一〇 一綴 三三
 寄留届書 明治九・一四 二通 三三
 寄留受取証 明治九・一三 二通 三三
 (復籍願) 明治一〇 半 一冊 三三
 (六十日間出府不在届書) 明治一一 一通 三三
 寄留復籍証 明治一一—一四 一綴 三三
 (善右衛門組違ニ付二給名主為取替一札) 多門・又市 明和九 二通 三三
 (組違人別書換一札) 松崎知行分名主 長山知行分名主宛 寛政一〇 二通 三三

(離別人帰村之節落付一札紛失ニ付差出一札)
明治五
出稼証 明治九

一通 七五
一通 一〇五
一通 二〇五

(善ヶ島村大島とみ戸籍ニ付問合答状) 明治一四
(送籍誤記ニ付返戻依頼状) 神奈川県葉山嶋村戸長
明治一五

一通 二五九

○帳 外

(庄左衛門・彦兵衛跡式ニ付人別除願) 寛保四
(八郎兵衛久離帳外之儀地頭支配頭聞届寛)
明和二

一通 六六
一通 六五

(欠落八郎兵衛并女房久離帳外願書) 地頭宛 明和二

三通 六五

(平治行衛不明ニ付人別帳除願一札) 村役人宛
寛政六

一通 六九

(太蔵出奔ニ付人別帳除願書) 地頭所宛 嘉永七・
安政二

二通 七三

(出生届) 明治一七

一綴 一五三

縁 組

(安兵衛入智縁組ニ付親類五人組引請一札)
明和九

一通 七六

(孫兵衛養子市郎左衛門帰村家相統願ニ付引請一札)
天明八

一通 七六

(平次郎儀堀米村政右衛門養子為取替証文并人
別除一札) 寛政二

二通 七七

(門兵衛悻又右衛門養子証文) 享和元

一通 七七

(大吉儀藤五郎方智養子ニ付持参金添書一札)
文化一〇

一通 七九

(欠込離縁願ニ付親々寺宛書付下願) 天明元

二通 七九

(武左衛門出離縁状)

一通 七九

(はる離縁引取一札) 明治五

一通 七九

欠 落

(八郎兵衛欠落ニ付村々尋手形) 宝曆一四

半 二冊 二五

(八郎兵衛并女房欠落ニ付村々尋手形) 明和元

半 四冊 七三

(八郎兵衛并女房欠落ニ付差出書類) 明和元

七通 七三

(八郎兵衛母家出届書) 明和元

一通 七三

(太田村不在半次郎ニ付取調申上書) 文化三

一通 七三

失踪御届 明治一七

半 一綴 七三

死 亡

(寺別死亡者覚) (明治五・六)

仮一冊 七三

死亡診断届書 明治九・一一

三通 七三

(田口佐和死去并埋葬地届) 明治一一

一通 七三

(埋葬認可証) 明治二五・二六

一綴 七三

分 散

(善左衛門跡目田畑永代売渡ニ付一札) 天和二

二通 七三

藤兵衛屋敷相渡し金子取引覚 天和三

一通 七三

(伊右衛門田畑持高不残借金主方へ差出しニ付
願) 明和六

一通 七三

八左衛門割賦帳 安永六

横長半 一冊 六六

忠左衛門割賦帳 天明元

一冊 六六

安左衛門割賦帳 天明二

横長半 一冊 六六

相 統

(所弘百姓五郎右衛門御取上田畑孫長五郎へ御預
ニ付指上一札) 享永七
(本田谷戸村藤藏儀安左衛門名跡証文) 元文四
(平右衛門世倅掣入跡田畑家督相続ニ付願) 明
和五

(市郎兵衛儀門左衛門名跡証文) 明和八

(本家金太夫隱居平三郎田地金子讓ニ付内済濟
口証文) 安永四

(喜右衛門相統人一家中人別除ニ付跡敷定一札)

(準禁治産宣告并法定推定家督相統人廢除一件
書類) 明治三五―四〇

身元 引請

(忠兵衛身元請負証文) 元禄一三

(欠落八郎兵衛母引請一札) 明和元

(八郎兵衛母引請一札) 明和二

(越後田沢村政吉父子身元引請書) 明治五

(新福寺村君島角次郎身元保証状) 明治一四

用水・普請

普請 箇所

水所御見分御尋之証書上帳 寛保二

(組合自普請所御勘定所御支配ニ付御請印形一
札) 文政七

堤組合惣代相立候写 十九ヶ村組合給々惣代
文政七

武蔵国幡羅郡字仁手堰備前堀通内郷普請仕来書 半 一冊 三三
上帳 南八ヶ村惣代 明治二 半 一冊 三六
用水路堰樋掛ヶ渡井土橋書上帳扣 明治三 半 一冊 三五
橋間敷取調野帳 明治一三 横半半 一冊 三五

勤 高

(仁手口切之儀ニ付御見分懸割覚) (宝曆頃)

百石組合帳 安永六―明治元 横長半 六冊 一三

諸掛合色々之扣 文政一一 横半半 一冊 二六

(用水以樋寸増議定ニ付矢嶋堰普請人足助合取
極一札) 文久三 一冊 二六

(間々田村地内大破堤築立普請人足貨取極一札
并被仰渡請書) 文久三 半 一冊 七四

*杉右衛門堀勤高議定 文久四 半 一冊 三六

(仁手堰代用水路普請組合村勤高覚) 午年 一冊 七九

(矢嶋堰組合村々小前々仁手堰組合村々小前宛
備前堀元口普請助合記) 一冊 七三

(利根川瀬違堀割新規普請組合村人足勤迷惑之
儀願書) 一冊 七〇

北七ヶ村高反別書上帳 明治二 半 一冊 一五

字仁手堰備前堀組合北七ヶ村備前堀之勤高井ニ
外高取調書上帳 明治三 半 一冊 三六

(備前渠用水組合勤高之儀ニ付願書) 明治五 半 一冊 七四

(備前渠修繕入費割賦ニ付議定書) 明治六 半 一冊 二四

(備前渠組合之内上須戸村田反別取調關係書類) 明治一二 半 一冊 四〇

組合 議定

(堰押切之節土取ニ付質金惣村方立替之上畑預
り一札) 預り主多郎左衛門 享保四 一冊 二七

(仁手堰備前堀用水路普請榛沢郡十五ヶ村申合 切關係請書議定書寫) 寛政二・文政九	一冊	三三
(竹筒伏込用水引入ニ付町田村瀧瀬村取極一札) 天保四	一通	六五
杉右衛門堀勤高議定・町田瀧瀬両村竹筒用水模 様替一札 天保四・文久四	一冊	三六
備前堀組合規定帳 安政六	一冊	二〇
(備前堀組合ノ堀米村加入ニ付願書) (万延頃)	一冊	五五
字仁手堰備前堀用水引入口模様替願南八ヶ村議 定 明治四	一冊	三〇
備前堀模様替沼尾村地内新築一件議定 明治四	一冊	三五
議定書 備前渠下堰組合 明治一二	一冊	三六
利根川通備前渠用水組合集會規則 明治一五	一冊	三七
願 書		
(上江原村利根川水除堤押切ニ付御普請願) 石川五郎七用人宛 享保八	一通	六三
(仁手堰堀割并浚御普請願) 宝曆一一	一通	六六
(仁手堰新堀割之儀御目論見替願) 明和四	一通	六七
* (仁手御普請所御見分人足遣方不行届ニ付組合連 印御免願) 明和四	一通	六九
(仁手堰大破押埋ニ付御見分御普請願) 安永五	一通	六八
(仁手堰用水御普請組合先年ノ仕来之通御願ニ 付得心連印一札) 太田村百姓 寛政二	一通	六九
(利根川堤押切ニ付川々御普請之御組込願) 南七ヶ村惣代 弘化三	一通	六五
備前堀用水路願箇所書上帳 弘化三	一冊	二二
(御普請所仕立ニ付被仰渡請書) 亥三月	一通	三三
(利根川通り臺村地内善ヶ嶋堤自普請之儀ニ付 願書)	一通	三九

(備前堀引入口場所替歎願書) 明治二一三	半	四冊	六九
上利根川通備前用水路字仁手堰備前堀組合拾五ヶ 村之内武州幡羅郡太田村外七ヶ村惣代共御歎願 書差上候扣 明治三	半	一冊	三五
備前堀元以模様替願書 模様替惣代 明治三	半	一冊	三七
(岩鼻鼻宮繕掛備前堀模様替御用大急書付) 備前堀元口場所替追願惣代人之頼一札案) 明治四	半	一通	一五五
備前堀并筋御改正ニ付御普請中惣代頼一札 明治四	半	一冊	七〇
(日向村・善ヶ嶋村両村ノ差上候備前堀元口場 所替願書扣) 明治四	半	一冊	三五
(備前堀場所替ニ付小前差出一札) 明治五	半	一冊	三三
(備前堀模様替ニ付小前一同差入一札) 明治五カ	半	一冊	三〇
(善ヶ島堤続キ築附ケ願) 明治九	半	一冊	六六
(備前渠掛渡字下橋掛替書類) 明治一三	半	一冊	六九
備前渠通字下ノ橋掛替願記簿 明治一三	横半半	一冊	三五
普 請			
来西春普請下目論見帳 万延元	横半半	一冊	二〇五
(雀ノ宮堰掛リ割合日延願) 飯塚村名主 亥七月	半	一通	一〇六
(明俵積馬差越願) 下奈良村吉田市右衛門	半	一通	一五九
備前堀引入口模様替目論見帳 明治二	横半半	一冊	三三
(間々田村堤築立普請請負一札) 明治二	半	一通	七五
(備前堀引入口場所替ニ付組合預金之占堀ノ 切人足賃ニ仕度伺書) 南八ヶ村惣代 明治四	半	一通	六九
字下ノ橋土橋普請出来形帳 明治一三	半	合一冊	三五

普請入用

(辰ノ御年貢指上残り金ノ入樋入目金差引殘金指上口上之覺) 元禄一四

(飛樋入樋入用金御下願) 元禄頃

沖田悪水落シ飛樋入用注文之覺 松崎内宛 正徳五

(雀之宮用水堰破損ニ付地頭方ノ普請入用金被下候様願) (正徳五)

*飛樋入用金御預手形 享保一四

(仲田飛樋入用金用水元口入樋大橋宜様被成下度願) (享保一四)

飛樋入樋惣入用割合帳 享保一四

仁手御普請所用元給米受取帳 元文五

飛樋入樋木代挽引覺 寛保二

飛樋入樋木代大工挽引万入用帳 寛保二

賃錢割合帳 寛保二

向沖田飛樋欠替入用割合帳 寛延三

飛樋入用覚帳 松崎用入宛 宝曆七・一四

* (土橋掛替普請材木代金預リ証文) 宝曆一二

(元手用元給米割) 明和五一寛政元

田畑堀代土手代割合帳 安永元・二・五一七

村堰入用并仁手諸色代江戸路用割 安永九

仁手諸色代村堰其外諸入用割合帳 天明八

仁手用水浚丁場割并諸掛リ割合帳 文政七

用水諸入用扣帳 文政九

(用水ニ付御呼出諸雜用金請取覺) 仁手村善兵衛

文政一〇

(備前堀諸入用出金割戻ニ付小前帳差出方廻状)

文政一一

諸用扣帳 文政一一

亥七月ノ子四月備前堀堀割皆出来迄之諸掛リ出

金取調帳 文政一一

備前堀諸掛リ割戻シ定掛リ諸掛リ差引控帳

文政一一

備前堀諸掛リ割戻皆無帳 文政一一

備前堀開覆諸入用出金割戻シ小前帳控

文政一一

以樋入用御地頭所之願出候下書 文政一一

備前堀通目論見御掛様御賄諸入用割合帳

弘化三

御普請中場所仕立渡金取調帳 弘化四

備前堀通御普請御掛リ様御賄諸入用割合取立帳

弘化四

備前堀通御普請金割合帳 弘化四

(高島村普請手問代滞金濟方対談書預リ一札)

嘉永元

当寅仁手諸色人足賃并御普請役御賄村入用割合帳

嘉永七

当寅春普請諸色御掛様御賄并村出金人足賃割合帳

嘉永七

* 当寅御年貢普請人足賃谷其外請取帳 嘉永七

備前堀入用割合諸差引覺 嘉永七

村方仁手普請諸色割合帳 安政二・文久元

仁手普請人足渡賃錢割合帳 安政二・五

一通 六三

一通 七六

一通 三三

一通 二六

一通 一五

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

一通 一八

卯普請諸色割合請取帳	安政三	橫長半	一冊	一五	大越様外御詰合御賄書拔	文久二	橫長半	一冊	三五六
仁手人足賃割合帳	安政四	橫長半	一冊	三五	(仁手夏成年中立替金利分割出覚)	(文久二)	橫長半	一冊	三五
堤人足控帳	安政二	橫長半	一冊	二五	堤御見分入用割合帳	文久二	橫長半	二冊	三〇六
仁手人足賃其外入用割合帳	安政三	橫長半	四冊	一五	堤御見分諸入用内割合帳	文久二	橫長半	一冊	三〇九
以樋伏替人足取調覚控	安政四	橫長半	一冊	一五	* 当夏秋御年貢并仁手渡賃請取帳	文久二	橫長半	一冊	一〇七
仁手村方普請諸色其外出金割合	安政四	橫長半	一冊	一六	一件詰合中日数取調帳	文久三	橫長半	一冊	三〇
元尺延伏替人足賃錢割合帳	安政四	橫長半	一冊	一七	仁手渡金夏秋成其外出金請取帳	文久三	橫長半	一冊	三〇
江原堤一件入用差添給金渡シ控帳	安政四	橫長半	一冊	一八	江原堤一件戌年出府雜用之内其外割合差引帳	文久三	橫長半	一冊	三一
備前堀通仁手矢嶋兩堰助成金御利足御下ヶ願書	安政五	半	一冊	一六	江原堤一件戌年出府雜用之内割合帳	文久三	橫長半	一冊	三一
御手形案文写	安政五	半	一冊	一六	御伝馬仁手普請村方入用江原堤取払其外春割江	文久三	橫長半	一冊	三一
去已暮以樋尺延入用并午春仁手諸色買揚人足賃	安政五	橫長半	一冊	一六	原堤一件戌年出府雜用内割・御伝馬歎願出府雜	文久三	橫長半	一冊	三一
村普請諸色御水配入用諸勸化其外割合帳	安政五	橫長半	一冊	一六	江原堤一件戌出府雜用之内割合帳	文久三	橫長半	一冊	三一
* 夏秋御年貢并普請渡賃請取帳	安政五	橫長半	一冊	一六	江原堤大見分入用拙者出金書拔	文久三	橫長半	一冊	三一
上之橋諸色勘定帳	安政六	橫長半	一冊	一〇	去戌年出府雜用割付帳	元治元	橫長半	一冊	三一
* 夏秋成御年貢仁手渡シ賃金請取帳	安政六	橫長半	一冊	一〇	当子仁手普請御伝馬村方諸色取調帳	元治元	橫長半	一冊	三一
(郷役并悪水落人足覚)	(万延二―明治四)	橫長半	一冊	一〇	仁手村方入用三給并組共割合帳	慶応二	橫長半	一冊	三一
論所大見分訴答諸入用割合帳	文久元	橫長半	一冊	一〇	当卯仁手村方諸入用割合帳	慶応三	橫長半	一冊	三一
中嶋様御賄書拔	文久元	橫長半	一冊	一〇	橋入用書出し	丑一〇月	橫長半	一通	一五六
人足着帳	文久元	橫長半	一冊	一〇	(仁手堰自普請出人足覚)	申二月	橫長半	一通	七三
白米炭楨人足諸色控	(文久元)	橫長半	一冊	一〇	(仁手備前堀就自普請人足差出覚)	戌三月	橫長半	一通	一〇九
高柳様御旅宿中諸入用帳	平三郎分	橫長半	一冊	一〇	用水堰諸入用仕立覚		橫長半	一通	一〇九
行田表詰合入用控	(文久二)	橫長半	一冊	一〇	問々田堤人足割合帳	明治二	橫長半	一冊	三三
行田詰合中小入用控	文久二	橫長半	一冊	一〇					

当已盆前仁手村方諸色人足賃割合帳 明治二 横長半 一冊 三〇

(備前堀模樣替一件入用茂八郎立替分書出帳) 横長半 一冊 三六

(明治二一三) 仁手村方普請人足其外諸夫錢割合帳 明治四 横長半 一冊 三九

出金繩俵請取帳 明治四 横長半 一冊 四六

人足勤高諸色書拔帳 明治四 横長半 一冊 三五

(仁手普請立替入用帳) (明治四一六) 横長半 一冊 三五

仁手普請出金并人足差引帳 明治五 横長半 一冊 三三

字善ヶ島堤間々田地内御普請渡方反別取調出金 横長半 一冊 三三

受取連名簿 明治六 横長半 一冊 二二

字善ヶ島堤間々田地内御普請渡方反別取調出金 横長半 一冊 二二

受取連名簿 明治六 横長半 一冊 二二

(用水堤防橋梁費覺) 明治六一八 横長半 一冊 六〇

人足勤高繩俵諸色書拔帳 明治七 横長半 一冊 二四

当戊春仁手普請正勤反別書拔簿 明治七 横長半 一冊 二四

(止宿料請取記) (明治七カ) 二通 一四

(用水路暮割金之内請取記) 明治八 一通 一四

(備前堀土手破堤諸色其他之費受取記) 明治八 一通 一四

(仁手所目論見ヨリ矢嶋堰々切迄諸費并出分記) 明治八 一通 一四

仁手人足諸色書拔帳 明治八・一一・一三 横長半 三冊 二九

(備前堀下目論見并矢嶋堰々切諸費受取記) 明治九 一通 一四

繩俵諸々出役銘々書拔帳 明治九 横長半 一冊 四九

(備前堀普請入費割当内議定書ニ付答書) 明治九 半 一冊 四九

仁手普請金勤差引帳 明治一〇 横長半 一冊 三六

(仁手浚金勤々過不足差引帳) 明治一一 横長半 一冊 二〇

(備前堀入用南北割合帳) (明治一一) 横長半 一冊 三〇

改正日当書拔帳 明治一一 横長半 一冊 二六

(堤防総代出役日当費請取証) 明治一一 横長半 一通 一四

元伏換人足記簿 明治一三 横長半 一冊 二五

*備前渠通字下ノ橋掛替願記簿 明治一三 横長半 一冊 二五

(備前渠通掛渡字下橋々梁掛替費請取証文) 明治一三 横長半 一冊 二五

(下堰盆前入費割合費取記) 明治一三 横長半 一冊 二五

(堤防費總代費他請取記) 明治一三 横長半 一冊 二五

江原村工場人足書拔記簿 明治一四 横長半 一冊 二五

仁手役渡町歩并出金控帳 明治一四 横長半 一冊 二五

明治十三年下半年分割合拔出帳 明治一四 横長半 一冊 二五

(明治十三年下半年分配割金請取記) 明治一四 二通 一四

(備前堀用水路元洲浚人足賃金受取記) 明治一四 一通 一四

(仁手元口浚人足賃金請取記) 明治一四 一通 一四

(仁手浚人足正勤差引不足之分賃金請取記) 明治一四 一通 一四

明治一四 (十三年下半年分備前渠費用出分覺) 明治一四 一通 一四

用水組合割 明治一四 一通 一四

(繩受取上納記) 明治一四 一通 一四

仁手人足賃受取証 明治一五 横長半 一冊 二六

明治十六年上半年諸色人足書拔明細帳 明治一六 横長半 一冊 二六

永井太田村外拾五ヶ村聯合備前渠用水路協議費 取出精算報告書并豫算 明治一六一一七	半	一冊	三六	(小沼堀間々田用水封印之節入費御割入願)	一冊	一五
明治十七年三拾八ヶ村聯合備前渠用水路協議費 豫算 明治一七	半	一冊	三〇	(惣代給并堤防致日当請取記) 亥一〇月	一通	一六
雜支払簿 明治二九	横半半	一冊	四三	(用元諸色代覚)	一通	一六二
治水運動費寄附金及捲畑小作金及捲畑小作金取 支簿 明治三〇	横長半	一冊	三三	(行田出役并出金書出し覚)	一通	一五
治水運動費寄附金徴収帳 明治三〇	横長半	一冊	三三	(兩ヶ切人足代受取覚) 子三月	一通	一五
(出京堀江君ト兩人ニテ諸費立替記并請取証) 明治三〇	横長半	一綴	一五〇	(掛川徳次郎口入用覚)	一綴	一五
(築堤建議ニ関スル運動費并請取証)	横長半	一綴	一五〇	用水管理	一通	一五
(内務・大藏兩省え出頭之節仕払書類) 明治三一	横長半	一綴	一五〇	(堀口新手普請ニ付御領私領え用元引式白石宛 引分ヶ兩用元仰付願) 私領名主一七名 元禄一一	一通	一五
(用水路并橋懸替小学校費戸数別半年分帳) 明治	横長半	一冊	三六	(人足吟味のため私領方ヶ用元相立候ニ付一札) 元禄一一	一通	一五
(下堰普請入費村割記) 明治	横長半	一冊	三三	(私領用元相立ニ付一札) 元禄一一カ	一通	一五
(深谷駅泊并飯料請取記) (明治)	横長半	一通	一五三	(御領私領兩用元取替一札) 元禄一一	二通	一五
(仁手其外入用割合帳)	横長半	一冊	三五	(御給所用本御予簡ニ而ハ難仰付旨ニ付請書) 元禄一一	一通	一五
(堤普請埋坪人足賃七ヶ村割合)	横長半	一冊	三五	(用元衆不吟味ニ付無滞水相通候様仰付願) 上須戸・江波村訴訟人 宝永六	一通	一五
(堤防土坪反別渡賃覚)	横長半	一冊	三五	(用水新堀出来ニ付口上之覚) 宝永三	一通	一五
(村々用水入用差引受取覚)	横長半	一冊	三五	(備前渠下堰村々用悪水ニ付見込三ヶ条并上 堰分水規則御受印帳) 上下堰組合并餘水村共 明治五	一通	一五
大御見分人足賃渡帳 戌二二月	横長半	一冊	三六	用水出入	一冊	一五
仁手人足扣	横半半	一冊	三三	(絵図御裏書証文預り一札并同一札差入覚) 元禄一〇	二通	一五
(仁手元口浚ニ付差纏一件諸入用出金受取覚) 辰六月	横半半	一通	一五	定枕願濟口帳 明和八	一冊	一六
(女沼村外式ヶ村入費相滞ニ付訴訟一件出金分 請取記) 飯塚村川田文作 亥三月	横半半	一通	一五	(出来嶋村組合自普請願書連印之儀明和四年御 裁許証文写差上一札) 安永二	一通	一六
用水入費暮割付	横半半	一通	一五	(新規土手築立悪水吐差障出入願書) 寛政五	一冊	一五
(善ヶ嶋堤助成金利足請取記) 長嶋作八郎	横半半	一通	一五		一冊	一五

(逆水留新規以樋普請ニ付故障之有無御尋請書) 文化一〇 一通 七三

(新規以樋井用水引取方妨出入済口証文) (文政五カ) 一通 七五

(備前堀用水取入口模様替出入済口証文) 仁手・矢嶋堰組合惣代 (文政五カ) 一通 七六

(宮ヶ谷戸村名主仁手口一件ニ付故障筋仕間敷候一札) 文政九 一通 七九

(仁手堰用水組合七ヶ村水旱植付差支ニ付申上) 文政九 一通 八二

用水取扱日記帳 文政一〇 横半半 一通 八六

備前堀一件内議定書写并備前堀掘割被仰付候請書写 文政一〇 半 一通 八九

備前堀掘割願諸用留 文政一〇 半 一通 九〇

備前堀一件願下ヶ後二ッ小屋村差縫願書之写 文政一〇 半 一通 九三

備前堀元口掘割諸用留 文政一〇 半 一通 九五

備前堀一条諸用留 文政一〇 半 一通 九七

堰枠内議定其外諸色扣 文政一〇 半 一通 一〇〇

深谷宿ニ而四拾三ヶ村議定写 文政一〇 半 一通 一〇三

備前堀一口掘割願諸用扣帳 文政一〇 半 一通 一〇六

(備前堀元口以樋尺延願諸書付) 嘉永七 一通 一〇七

(幸五郎病氣ニ付江原堤一件御呼出之儀代人頼一札) 安政二 一通 一〇七

尺延一件・田中村模様替書付・手斗村水車書付 其他色々写 (嘉永七) 安政三 半 一通 一〇九

江原村論所堤大御見分役割帳 三給役人 文久元 横長半 一通 一一〇

(石塚村太田村外三ヶ村之掛ル堤築立不法出入日延并御糺明差免歎願書写) 文久二 半 一通 一一一

(堤築立不法出入ニ付入牢村預之者共有免歎願書) 妻沼村寄場組合 (文久二) 半 一通 七〇

(堀米村四寸口入子拵抜取候一件願書并熟談請書) 文久二 半 一通 七二

相手方証拠物書上写 文久二 半 一通 七四

(堀米村以樋伏替ノ儀ニ付請書) 文久三 半 一通 七六

元以樋普請差縫一件日記帳 慶応四 横半半 一通 七九

(南八ヶ村組合年番惣代堤防普請場御差留ニ付有免願) 明治四 半 一通 八二

(用水路御普請ニ付心得違御詫一札) 明治四 半 一通 八四

(備前堀場所替之儀新築地元村々苦情申立ニ付再願願一札案) 明治五 半 一通 八七

(備前堀組合動方議定書謀判御吟味願并答書) 明治九 半 一通 九〇

捲 畑 捲畑起工同盟ニ付規約書) 明治二九 半 一通 九三

捲畑起工書類 明治二九 半 一通 九五

捲畑敷地土取小作料割分調 明治二九カ 半 一通 九七

(共同種子採畑治水妨ニ付取払請書) 明治二九 半 一通 一〇〇

(捲畑敷地及土取小作代領収証) 明治三〇 半 一通 一〇三

(所謂種取畑築取払ニ付代代人宛問合書他) 明治三〇 半 一通 一〇六

(捲畑新設ニ付立替金調) 明治三〇 半 一通 一〇九

*治水運動費寄附金及捲畑小作金収支簿 明治三〇 横長半 一通 一一一

築 堤 (利根川水防所設置ニ付決議書) 明治二九 半 一通 一一二

利根川通埼玉県大里郡明戸村地内無堤地築堤之件請願 (明治二九) 半 一冊 三七

築堤期成同盟会規約案 (明治二九) 半 一冊 三五

記臆録 明治二九 横長半 一冊 五三

利根川修築速成請願書 明治三〇 半 一綴 六四

雜

(永井太田村地内備前堀絵図面) 大正六 57×119 一枚 七七

故堀江庸寛君建碑寄附芳名録 大正六 半 一冊 五九

(用水關係雜) 一綴 一覽

治安・訴訟

盜 難

(御藏穀被取候ニ付惣百姓連判手形) 寛文一〇 一通 七九

(茂八不正之品取置候ニ付御改申上) 安政二 一通 一〇五

(茂八盜品質取過料納ニ付御届) 安政二 一通 八四

(妻沼村宝経寺盜難半鐘請取書) 未七月 一通 九一

傷 害

(弥藤吾村傳兵衛やみ打ニ付口上書) 延享二 一通 八三

(孫七疵負御召出之節入用ニ付一札) 安永三 一通 八二

(孫七疵負ニ付差上一札) 安永三 一通 九〇

(孫七之口論切掛候者ニ付諸口上書) 安永三 五通 八〇

(孫七御役所ニ而繩掛ニ付一札) 安永四 二通 八三

孫七番人帳 横長半 一冊 四三

(惣太郎酒乱ニテ政治郎ニ手疵負はせ候ニ付詫一札) 天明五 一通 七五

(源蔵・三治郎之盜賊押入ニ付口書并疵改) 辰八月 三通 一〇九

行 倒 人

(行倒人御見分并御預り書) 明治五 半 合一冊 五六

上野国富岡新井善九郎死亡帖 明治七 横長半 一冊 五七

人 相 書

(浜嶋庄兵衛人相書) 延享三 一通 八五

(御尋者人相書写差遣し覚) 西五月 一通 八六

人相書 辰五月 一通 八七

(下総国香取郡百姓石松人相書) 午三月 一通 八四

(御尋者百姓頓平人相書) 一通 八〇

人相書 明治七 半 一冊 六五

鉄 炮 改

(鉄砲御改ニ付指上手形) 貞享五 一通 八五

(知行所内鉄砲所持之者無ニ付差上) 明和五 一通 八九

(鉄砲御改手形) 明和五 一通 八八

捨 馬

(病死馬風張前之捨来候覚) 宝曆二 一通 一〇一

風張病死馬捨所多た共論ニ付覚書其所形地 宝曆二 一通 一〇〇

村 民 出 入

(新屋敷出入道ニ付伝左衛門居屋敷之内道筋之儀扱状) 天和三 一通 六三

(七郎兵衛々三枝知行所連判百姓之懸候貸金滞
ニ付訴訟申上) 御奉行所宛 天和四 二通 二五

(甚右衛門名田之内年貢小割帳面高おち分七郎
兵衛々上納勘定ニ付手形) 貞享三 一通 二五

(田方未進人江戸御訴訟之節不届ニ付詫一札)
名主宛 元禄一三 一通 二五

(江原村百姓々太田村百姓中々入置候質畑かか
り銭并受出三元金ニ付名主取替証文) 上・下江原村名
主 享保一五 一通 二五

(多郎左衛門出入之儀三給入組差縫委細口上覚)
名主々松崎内宛 (元文頃) 一通 二五

(三郎兵衛下人五平雜物捨置欠落出入訴状)
六左衛門外々奉行所宛 延享四 一通 二五

(平人者預り置候ニ付一札) 小市右衛門・又兵衛
宝曆一三 二通 二五

(源三郎々下塩田村武八々酒代出入济口一札)
宝曆一三 二通 二五

(川田屋孫七境町六左衛門店家賃滞出入一件書
類) 明和七 一三通 二五

(七之助不埒之儀御有免ニ付親類五人組請一札)
安永四 二通 二五

(喜兵衛并兄々金太夫外五人之者相手取酒狂口
論出入内济ニ付一札) 金太夫宛 安永四 一通 二五

(金太夫・平三郎分地出入ニ付口上書) 村役人宛
安永四 二通 二五

(惣太郎理不尽内济ニ付身上引請一札) 村役人宛
天明五 一通 二五

(惣太郎暇乞男沼村掃村之儀御尋口書并詫一札)
村役人・中人宛 (天明五) 二通 二五

(武右衛門々金太夫悴兵吾等ニ掛ル蔑ミ之上法
外申募候出入返答書并济口証文) 寛政一 四通 二五

(市ノ坪村乙八法外申立之儀詫一札) 寛政二 一通 二五

(金太夫々下奈良村市右衛門之掛合質地借金出
入之節下届ニ付一札) 村役人宛 享和二 二通 二五

(助左衛門一件出訴入用請合一札) 文政五 三通 二五

(万五郎々六郎兵衛相手取質地出入济口証文)
三枝伊織役人中宛 文政八 一通 二五

(御地頭様御差紙頂戴御請書) 又兵衛 天保二 一通 二五

(安右衛門々源藏之相懸り鮮商道具出入訴願并為
取替内济証文) 臨時御取締出役人中宛 嘉永五 二通 二五

(石塚村孫右衛門々平三郎他相手取不法出入ニ
付出府着届) 平三郎他 安政二 四通 二五

(平三郎御呼出病氣日延開濟ニ付御請書) 松崎
御役人中宛 安政二 一通 二五

(御地頭様御差紙拝見御請書) 孫兵衛 一通 二五

(藤五郎質地不相過出入ニ付返答書案) 一通 二五

(源藏喧嘩詫一札) 安右衛門宛 (明治初) 一通 二五

(新井村材木紛失一件申渡并届書) 梶權參事宛
明治六 一綴 二五

(大醉暴言ニ付拘留説諭是迄ニテ御下ヶ歎願)
妻沼分署宛 明治一 一通 二五

(東京府下日本橋中野清ヨリ宮沢浅五郎ニ係ル
洋糸代金滞一件書類) 明治一四一・一六 一冊一綴 二五

不行跡

(喜太郎儀我儘成ル者ニ付追放願) 名主・五人
組頭宛 宝曆元 一通 二五

(源六儀不孝者ニ付追放願) 名主・五人組頭宛
宝曆元 一通 二五

(甚太郎我儘ニテ親不孝之儀詫一札) 掛川徳次郎
宛 明治二五 一通 二五

吟味・処罰

(畑内へ無断家新作之儀御咎ニ付指上手形)

松崎用人宛 元禄五

二通 七頁

* (五郎右衛門未進ニ付田畑御取上之儀申渡覚)

松崎用人 元禄一四

一通 一三頁

(五郎右衛門并妻子共田畑召上御追放申渡覚)

松崎用人 元禄一四

一通 二〇九

(三奉行所御裏判拜見一札) 村役人夕下増田村武八宛 宝曆一三

一通 七頁

(御裏判并仰渡書写拜見一札案紙) 明和二

一通 九七

(八内・孫兵衛召捕ニ付一札) 盜賊御改宛 明和三

四通 八七

(仁手御普請所御見分人足遣方不行届ニ付組合連印御免願) 明和四

一通 九五

(太四郎中追放欠所被仰付ニ付連印一札)

松崎用人宛 文政九

一通 八六

(小兵衛出火助出し筵畳ニ付家さがし御尋ニ付口書) 名主・組頭申宛 午九月

一通 八三

(米吉外七人田方検見之節金子貰受候一件被仰渡受書)

半

一冊 四三

(保釈并面接願) 明治一五

一通 二四

災害・救恤

災害

(三給水災書上) 寛保二

一通 八頁

村明細書上帳 御普請掛り役人中宛 安政六

半

一冊 三二

焼失御届ケ 明治七

美

一冊 三七

諸災害届書類 明治七一六

半

一綴 三五

水災戸数人員調 明治二二

消防

第四番消防組諸費仕払帳 明治二一

横半半

一冊 四七

消防組編成諸費割合帳 明治二一

横長半

一冊 四六

消防器械新調寄附連名簿 明治二一

横長半

一冊 四元

第四番消防組諸費仕払通知書及受取証 明治二一

半

一冊 四〇

永井太田消防四番組役割帳 明治二五

横半半

二冊 四三

諸届上申之綴其他雜書類 明治二七

半

一冊 四三

書類目錄 消防組

半

一冊 四四

夫食

(水損御救夫食代金之内亥年分返納請取覚) 寛保三

半

一通 八三

(水損夫食拝借返納之内請取覚) 延享元

半

一通 六五

(戊年代官貸附夫食返納請取覚) 延享二・三

半

三通 八四

(戊年夫食返納卯年分請取覚) 卯二二月

半

一通 八五

(松崎知行分戊年代官夫食金貸渡ニ付覚) 戊一一月

半

二通 八六

連作ニ付夫食拝借願 明治二・三

半

飯三冊 三頁

夫食拝借人別書上ケ帳 (明治三)

半

一冊 三〇

雜

(種粃拝借仰付ニ付地頭用所申渡) 未一〇月

半

一通 八六

(老年困窮ニ付鳥目覚) 酉正月

半

一通 一四〇

(勸業社為基本出穀分村預り証) 明治四

半

一通 一〇頁

出水御救助金割賦帳 明治一

横長半

一冊 五九

(貧困惠金請取覚) 明治一六

二通 一五五

交通・運輸

通行手形

(伊勢参宮ニ付関所手形) 享保六

一通 五九

善光寺参ニ付通行手形 宝曆九

一通 五九

飛脚

(御用金并年賦金米代受取覚)

一通 一五七

(御用状并金子飛脚屋さゝや与兵衛受取覚)
(宝曆一—安永八)

二綴 一〇三

(金包并書状笹屋与兵衛請取覚) (明和四・五カ)

三通 一〇四

(御用状并金子大和屋定七受取覚) 嘉永四・五

三通 三六

荷物積送 (地頭用人宛)

(御荷物積送状) 宝永七

一通 六五

(御荷物積送状) 享保一七—一九

一七通 一三八

(御荷物積送状) 元文三・五

四通 一三〇

(御荷物積送状) 寛保元—三

一八通 一三〇

(御荷物積送状) 延享元—四

二〇通 一三二

(御荷物積送状) 寛延元

五通 一三三

(御荷物積送状) 宝曆七

一通 一三三

御土蔵材木舟積覚 宝曆九

一通 五九

(荷物遅滞ニ付一札) 明和六

一通 六九

○ (地頭用人名主宛)

(舟荷物請取覚) 享保一九・二〇

二二通 一三六

(舟荷物請取覚) 元文二

九通 一三七

(舟荷物請取覚) 寛保元—三

一八通 一三八

(舟荷物請取覚) 延享二・四

一七通 一三九

(舟荷物請取覚) 寛延元

七通 一三〇

(舟荷物請取覚) 宝曆四・六

二通 一三一

(荷物請取覚) 明和二—七

一九通 六六

(荷物請取覚) 天明四

一通 一三四

(荷物請取覚) 文化九

一通 一三五

申年船賃書出し覚 申一二月

一通 六五

舟賃書出し覚

一通 一五三

(米大豆他舟賃指引覚) 申一二月

一通 一五四

(菴包荷物請取舟賃濟覚)

一通 一五二

難船

葛和田川岸安五郎舟難舟入用扣 明治三

横長半

一冊 五五

産業

藍

藍屋書出し扣 明治九

半

一冊 五六

共益社規則 明治一三

半

一冊 五五

藍商会社設立願書 明治二三

一冊 三三三

養 蚕

(間々田共同繭乾燥所謹告并見込) 明治三五

一綴 六元

春秋繭乾燥料領取控綴 明治三六―二七

一綴 四元

金融

押借金

(代官所御押借金差上申覚) 寛保三―延享四

五通 四四元

(松崎・三枝給分戌年御押借金之内丑年分差上覚) 延享二

一通 八元

御貸附金押借証文 文化五

一通 五元

御用御貸附金押借証文 文化六

一冊 三三元

御貸附金押借証文 文化六

半 一冊 三三元

貸借

借金証文 名主七郎兵衛 おうば宛 貞享二

一通 三三元

借金証文 七郎兵衛外二名 道谷戸村鈴木権右衛門宛 元禄二

一通 三三〇

借金証文 上須戸村彦七郎宛 正徳五―享保六

一綴 三三三

借金証文 上須戸村彦七宛 享保四―五

一綴 三三三

借金証文 又兵衛・三郎兵衛 新戒村平左衛門宛 宝曆二

一通 三三三

借金証文 又兵衛・三郎兵衛 藤八宛 宝曆二

一通 三三四

借金証文 村方三役人 江戸目日新長谷寺宛 宝曆四

一通 三三五

借金証文 村方三役人 江戸牛込佐野屋勘兵衛宛 宝曆八

一通 三三六

借金証文下書 宝曆一一

一通 三三七

借金証文 江戸深川扇橋針屋清右衛門宛 宝曆一一―四

一綴 三三九

借金証文 百姓代・名主・地頭用人 無量寺納所宛 宝曆一二

一通 三三六

借金証文 小泉村金助宛 宝曆一三―明和四

一綴 三三〇

借金証文 幾八宛 宝曆一四

一通 三三三

借金証文 源兵衛 間々田村善右衛門宛 明和二

一通 三三三

借金証文 男沼村利兵衛宛 明和二―三

一綴 三三三

借金証文 村方三役人 羽生田佐次馬・伊勢屋三四郎宛 天明二

一通 三三五

借金証文 村方三役人 羽生田佐市・伊勢屋三四郎宛 天明二

一綴 三三九

借金証文 村方三役人 いせ屋治郎兵衛宛 天明七―寛政元

一綴 三三六

借金証文 亀屋長五郎宛 文化四―一二

一綴 三三七

借金証文 村方三役人 西城檢校宛 文化五

一通 三三六

借金証文 下奈良村吉田市右衛門宛 文政一一・天保元

一綴 三三〇

借金証文 五兵衛 兵左衛門宛 安政四

一通 三三四

借金証文 名主徳次郎 鍵屋忠兵衛宛 安政六

一通 三三四

預り金証文 金藏外二名 妻沼村歡喜院宛 万延元

一通 三三七

預り金証文 徳次郎 能護寺宛 元治二

一通 三三六

地所書入借金証書 須藤東吉 間々田村栗原定五郎宛 明治二四

仮一冊 三三四

(農具代拝借証文) 戸長掛川豊沢宛 明治一三 一通 一〇六

講
(早魁ニ付村方一同頼母子年延議定一札) 一通 六四
三給名主中宛 文政四

(修履講當り闌ニ付畑書入拝借証文) 割元茂八宛 一通 三四
天保三

(笠原弥五郎相統講金地所書入受取証書) 明治 一綴 三四三
七一

学 事

第拾五番中学区内四拾番四拾七番太田小学校敷地願 明治七 一冊 三四

* (官林立木代価積書) 明治八 半 一冊 二四三

明治九年統計表控 明治一〇 半 一冊 三九

(学齡人口取調帳上申) 明治一〇 半 一冊 六二

学校敷地持主御引直シ願 明治一三 半 一冊 六九

永井太田村現在生徒 明治一三・一四 横長半 一冊 二〇六

(太田学校資本金ノ義ニ付上申) 明治一四 半 一冊 八五

(太田学校聯合會議員投票用紙綴) 明治一四 一綴 三四

(旗羅郡第九学区学務委員差加之儀崎玉原辞令并請書) 明治一四 三通 九六

(小学校教員免状ニ付静岡県手石村戸長役場照会) 明治一六 一通 一四七

中学聯合會議員当撰人上申 明治一七 半 一冊 三六

(中学聯合会学区議員投票用紙綴) 明治一七 一綴 三〇

軍 事

徵兵告諭 太政官 明治五 半 一綴 四三

徵兵適齡届書 明治一〇 一通 九元

(徵兵下御検査之節旅費受取証) 明治一六 一通 一五二

(徵兵關係書類) 明治一六・一七 半 一綴 一〇七

徵兵参事員勤務中之雜書類 掛川泷 明治二六 半 一綴 四四

寺 社

寺 院
忍領太田村正藏寺寺内書立 慶安二 一通 八七

(御朱印御書替御触ニ付能護寺・阿弥陀寺江戸罷出覚) 松崎善兵衛宛 (延享二) 一通 九三

小道具扣帳 能護寺 安永三 横長小半 一冊 四〇

(万右衛門相果ニ付御導師願案紙) 安永三 二通 九七

(阿弥陀寺御朱印高井田畑反別覚) 一通 八元

朱印除地反別寺社堂復飭取調 明治二 半 一冊 四四

四種輪王御幸還幸記 護持主石橋智算 (明治一四 横長半 一冊 四九

觀音堂金錢出入覚帳 安永三 横長小半 一冊 四〇

(聖天宮銅板割付金請取覚) 女沼村名主 太田村 一通 一四九

又市宛 寅一二月

大我井神社寄附記 明治一三 横長半 一冊 四〇

(津島神社講金神納記) 明治一六 一通 九六

御 師

(三日市太夫次郎様御尊米ニ付出来合料理献立) 横半半 一冊 五三

(村中御遷宮并夏分御初穂神納覚) 一通 二〇六

(三日市太夫次郎内御初穂神納口上之覚) 文化元カ 一通 九三

御且中御寄進帳 三日市太夫次郎 横長半 一冊 五三

御師三日市太夫次郎書状 木版 一綴 一〇〇

太々拾人講中姓名帳 一宮神主岩井伊予守役人 半 一冊 五三

家

家

(掛川氏之系図) 首欠 明曆二 一通 六五

〇

忠次郎之書分ケ 茂八 午三月 一通 四九

(掛川徳次郎分家之儀ニ付願書) 明治一六 仮一冊 一〇三

持 地

地所買受証書綴 (明治一〇一―二〇) 半 一綴 五二

地所売渡証書 掛川泐宛 明治二一―大正一二 半 一綴 六

掛川豊沢・同泐地所讓渡契約証 分家掛川甚太郎宛 明治二五 半 一冊二通 四

家 作

家稅徵收帳 明治三六 横半半 一冊 四九

建物其他買得

(田畑書ぬき願) 良信 懸川喜兵衛宛 酉三月 一通 一五三

家屋鋪讓渡証文 茂八宛 天保八 一通 一三〇

建物売買証書綴 (明治一八一―三七) 半 一綴 五〇

萩原徳次郎建物并油絞道具売渡証 掛川泐宛 明治三八 半 仮一冊 五五

家 普 請

(太田村源藏普請代金受取書) 嘉永七 横長半 一通 一〇九

諸職人控帳 安政五 横長半 一冊 五〇六

長家普請材木諸職人扣簿 明治一五 横長半 一冊 五〇六

裏土藏繕入用記簿 明治二七 横長半 一冊 四九

諸調雜記・詰合帳 明治二九 横半半 合一冊 四八

(座敷立換并増築諸覚) 明治二九―四二 横長半 二冊一綴 五七

日 記・記 録

懷中記 文久二 横半半 一冊 五〇

日誌 掛川良策 大正四 半 一冊 五〇

〇

盆暮進物控 明治二九 横半半 一冊 五〇

書 狀

掛川喜兵衛宛書狀 一通 一四七

○ 忠藏宛

釘屋清右衛門書狀

一通 二三元

関根八平書狀

一通 二三元

伊勢屋七兵衛書狀

一通 二四〇

綿屋権七書狀

一通 二四〇

高野平六代甚平書狀

一通 二四〇

○ 又市宛

青木太右衛門書狀

一通 二五

高崎伊木新右衛門書狀

一通 二五

掛川又四郎書狀

一通 二五

忠次郎書狀

一通 二五

龜屋長五郎書狀

一通 二六〇

大嶋武兵衛書狀

一通 二六

○ 徳次郎宛

吉田市右衛門書狀 閏三月(万延元)

一通 九五

豊三郎書狀

一通 二四〇

上平金藏書狀

一通 二四

石塚村幸藏隠居てつ書狀 丑二月

一通 二四

○ 豊三郎宛

新田清七書狀 閏八月(文久二)

一通 二四

○ 茂八郎宛

備前堀惣代飯沼分文作書狀 午八月

一通 二四

○ 豊沢宛

弥藤吾村井田栄作書狀 明治一一

一通 一四六

小林滝二郎書狀

一通 二五〇

沢沢真澄書狀

一通 二五二

沼尻村戸長大木太次郎書狀 明治一六

一通 二五三

上石原村倉上昌三書狀

一通 二五三

江黒村江黒長安書狀

一通 一四四

○

要七・忠次郎書狀 徳次郎・幸三郎宛 卯七月

一通 二四二

福永弥一郎書狀 掛川徳次郎・豊沢宛

一通 二四三

高梨哲四郎書狀 掛川泷宛

一通 二四四

幸造書狀

一通 二六七

新井伊三郎書狀 掛川太田村長宛

一通 二四四

○

掛川又市書狀 与頭中宛

一通 二四三

又市書狀 利助宛

一通 二四

租 稅

(堀米村分年貢諸懸請取覚) 嘉永五―慶応元

一綴 一〇六

(柴崎村分年貢諸夫錢皆済受取覚) 安政二―慶
応三、明治四

五通 一五六
六九

下江原村分御年貢納請取帳 明治四―一七

一冊 二五
横半

(西ノ米稅石代之内受取記) 戊三月

一通 一五四

(柴崎村分租稅他受取証) 明治七—一二

六通 一五七

(雜種稅受取証) 明治一七

一通 一五八

新田郡岩松村分地租村費受取書綴 明治二〇—三二

五綴 七五

中瀬村分地租諸稅上納受取証 明治二五—三九

一綴 四九

經營

小作

佐左衛門小作証文 又市宛 天明六

一通 一三五

弥次兵衛小作証文 茂八宛

一通 一三六

田畑小作取立帳 寛政六—明治三三

二四冊 四一

〇

(武左衛門亥年小作麥大豆米代金殘分五年賦定一札) 又市宛 文化元

一通 一四五

(伝次郎小作御年貢不納分上納日延ニ付入置一札) 茂八宛 文政二

一通 一三九

〇 名跡小作

(定方武左衛門名跡分田畑小作取立帳)

一冊 四六

(米麥大豆請取代金扣) 明治七—一四

一冊 五三

(定方武左衛門・清次郎・江原直吉・常見橋次郎調扣) 明治七—一五

一冊 五四

(定方武左衛門名跡分田畑小作取調帳)

一冊 四七

奉公人

(身元請合一札案紙) 元禄一四

一通 一〇〇

奉公人日雇控帳 安政二—明治二一

七冊 五二

養蚕

養蚕覚帳 掛川豊治

一冊 五六

育蚕温度給桑時間一箱ニ対スル給桑覚除沙分溜及ビ給桑分割一覽表 掛川良策 明治四三

半 一冊 五六

春蚕予定及日誌 大正八

半 一冊 五七

家計・金融

金銀出入帳

金銀出入覚座帳 安永六

一冊 四七

当座帳 安政二・四・万延元

三冊 五三

金銀出入小遣帳 安政四

一冊 四六

貸金巨細帳 慶応三

一冊 四九

預金記簿 明治八

一冊 四七

(諸覚帳) 明治九

一冊 四三

諸調雜記簿 明治九—二七

五冊 四七

金銀出入記簿 明治九—二八

一三冊 四七

預り金扣 掛川けん分 明治一三

一冊 四六

貸金利息 自明治十五年一月取調簿 明治二〇 同十九年十二月至

一冊 四八〇

(米金出入并勤日扣) (明治二〇—二四)

一冊 五六

貸金当座日記 (明治二四)

一冊 四七

明治廿四年 自十一月貸金書拔簿 明治二五 至十二月

一冊 四七〇

金銭収支日記帳 明治二八—二九

半 一冊 四八四

明治三十年十一月廿六日ヨリ貸金書拔帳

横長半 一冊 四五

手許心覚 (明治三〇―三二)

横半半 一冊 四九

金銭支出控帳 明治四一

横半半 一冊 四七

○ (高嶋村梅沢茂七米貸差引覚) 掛川茂八宛 午一月

一冊 一四三

(美濃屋泊貸受取記) 未四・六月

二冊 一四〇

(折口村水村喜平次茶ノ身代金受取記) 明治七

一冊 一四三

(沼尻村平野屋秀次郎上米御渡願記) 明治一一

三冊 一五九

当座酒通帳 福島屋甚太郎 明治二五

横半半 一冊 五〇

(久々字村大塚勘四郎掛質代受取記) 戌六月

一冊 一四九

貸借

(徳二郎元金ニ而請返之節返可申答覚) 清七外二名宛 元治元

一冊 一五二

(野村通間利金并威暮受取覚) 明治三

一冊 一五〇

(掛川豊沢利金受取記) 武蔵島村川岸源治郎宛 明治一一

一冊 一五七

田畑宅地敷質地記簿 (附質地未納立換金調) 明治一七

横長半 一冊 四

○ (掛川豊沢ノ井田諄ノ係ル貸金催促一件書類) 明治二三―二四

一冊 一綴 四一

借金証文 又市宛 天明元―文化三

一綴 一三四

借金証文 茂八宛 文化一四―弘化三

一綴 一三九

* (大水ニ付風張百姓御年貢皆済金御貸ニ付入置申書付) 名主宛 文政五

一通 一三〇

借金証文 徳次郎宛 嘉永五―慶応二

一綴 一四一

借金証文 茂八郎宛 明治三

一通 一四六

借金証書 豊沢宛 明治七―一〇

一綴 一四四

(石川太兵衛借金皆済記) 豊沢宛 明治二二

一通 一四九

○ 掛川豊沢金員預り証 掛川ゆき宛 明治三〇

一通 一四四

間々田村助左衛門桑質入証文 忠蔵宛 宝曆六

一通 一三七

田畑屋敷居宅書入一札 茂八宛 天保元―一四

一綴 一三九

屋敷書入借金証文 徳次郎宛 文久元

一通 一三三

地所書入借金証書 豊沢宛 明治二七―三二

一綴 一三七

家屋書入借金証并契約証 豊沢宛 明治二八―三二

一綴 一三六

掛川むめ地所抵当借金証 豊沢宛 明治三一

一通 一三九

講

(掛川実三郎相統講掛金讓渡証文) 掛川八百吉ノ同豊沢宛 明治八

一通 一三四

(上須戸村柿沼源三郎頼母子割返分渡記) 豊沢宛 明治九

一通 一四七

(相統講懸金受取記) 上須戸村会主山田繁十郎掛川豊沢宛 明治一〇・一一

三通 一四四

頼母子掛金帳 掛川豊沢 明治一四

横長半 一冊 四九

雜

網注文覚 名主又市 延享元

一通 一〇四

(元仁手村浅吉宿料請取覚) 茂八宛 未九月

一通 九四

利足算法 掛川豊明

横半半 一冊 五〇

諸請取書類

一綴 二四三

大閤ケ条(弓ニ鞠抱丁馬仕付方算應連歌盤物書)

半

一冊 三三

雑

(武右衛門屋敷分ケ地讓渡覚) 利左衛門宛 延享五

一通 二七三

上下薪覚帳 寛延三

半

一冊 三二

(太田村佐兵衛藏物請取証文) 喜太郎宛 宝曆五

一通 二〇六

(小豆沢村平六古証文請取) 太田村名主宛 天明九

一通 二〇九

御子様御用帳 はつ野しな 亥二月

横長半

一冊 三〇

面付覚

一通 一四六

賣畑覚

一通 一四六

建物建具共質入之証 田沼清一郎宛 明治一〇

一通 二四〇

租稅村費納 明治一一一六

横半半

一冊 三三

(新吉原河内楼領収記)

一綴 九三

岡村文四郎書状 荻原信有宛 丑七月

一通 二五五

倉崎清一郎書状 荻原信有宛

一通 二〇六

八羽石太夫書状 木版

一通 二〇四

雜書状

一綴 一四〇

○ (諸国困窮之儀ニ付存付書付写及御買上米一件書留写) 天明七

半

一冊 三九

西御丸之事 文政六

半

一冊 三二

守護札

一綴 二〇三

武藏国

下幡
奈羅
良村郡

吉田家文書目錄

吉田家文書目錄目次

江戸	五頁
町触、米価元直調、町屋敷沽券用留、 地代・店賃、湯株・髮結床株、金銀勘 定、仕切書、家普請、普請金貸附	
下奈良村	三
其他	五

武蔵国 下奈良村 吉田家文書

(文書記号 26R)

江戸

町 触

竹姫君様利根姫君様御入輿之節町触并御道筋見廻り書付	享保一四・二〇	半	一冊	壹
竹姫様利根姫様御入輿之節書留写	享保一四・二〇	半	一冊	壹
(種姫君様御結納之節出役其外取計書留写)	天明三	半	一冊	壹
仏寺町触	寛政一〇・天保二	半	一冊	壹
三ヶ年米価高直貧民御救御趣意右類例一件諸書留	天保四一六	半	一冊	壹
(米価高直ニ付被仰渡之儀御請連印一札)	天保六半	半	一冊	二七
(米価高直ニ付町触写并類例書留)	天保八	半	一冊	八
御改革御趣意御触写并棄捐相對濟御触	天保一二一四	半	一冊	益
市中御改革御触写	天保一二一四	半	一冊	六
猿若町芝居操渡世者共ニ被仰渡請証文写	天保一三	半	一冊	壹
日々草	天保一三一五	半	一冊	壹
(錢相場下直ニ付町触)	申一二月	半	一冊	三七
(札差欠所ニ付浅草建家土蔵并地面六ヶ所御扱町触)	酉正月	半	一通	一元

(御役屋敷御家中之由申町方にて如何敷儀有之節御取計被下ニ付町々名主御請連判証文) 三冊 六七
 堺町葺屋町木挽町新吉原町分共 天明七 宛

米 価 元 直 調

天保酉年米価売捌元直取調帳 吉田市右衛門 半 一冊 壹
 天保八年米価売捌取調帳 吉田市右衛門 天保八 半 一冊 壹

町屋敷沽券用留

(安針町上田喜平次屋鋪諸書留) 家城久右衛門 半 一冊 兎
 享和三

安針町・鍋町町屋鋪沽券用留 文政六 半 一冊 兎

通油町町屋鋪沽券用留 (文政七) 半 一冊 兎

通油町川口利兵衛町屋鋪書物 文政七 美 一冊 壹

(通油町川口利兵衛町屋鋪永代売渡証文控) 文政七 美 一冊 壹

(溜屋おこう持分沽券証文写) 文政九 半 一冊 壹

通油町永代買請候町屋敷書物 文政一〇 半 一冊 壹

地 代・店 賃

地代店賃上り高并町入用書上 安針町名主後見 半 一冊 兎
 助右衛門 天明五一寛政元

地代書上之写 安針町分 寛政二 半 一冊 壹

東都安針町地割牒 吉田市右衛門 享和三 横長半 一冊 壹

町入用掛り高書附 安針町分 寛政三 半 一冊 壹

所々御地面上り高控 御本家宛 文政三十八 横美半 五冊 三

十三ヶ月分町屋鋪納高控 沽券代吉田久兵衛 文半 一冊 四

(通油町表田舎間拾間地割図并地代銀差引書上) 家主伝右衛門外 文政九 一通 三

御地面上り高月之附立 御本家宛 天保五 横長美 一冊 六

馬喰町地面西年上り高并普請金目録 沽券代吉田久兵衛 天保九 半 一冊 六

○ 勘定目録

地代店賃勘定目録 吉田久兵衛 文政一三一 天保一二 横美半 九冊 一

地代店賃勘定目録帳 吉田久兵衛 天保四一二 横美半 八冊 二

○ 地代請取通

地代請取仮通 加藤宛 文政七 横美半 一冊 八

地代店賃請取通 文政一一 横美半 一冊 九

地代金請取通 相模屋平助宛 天保四 横美半 一冊 二〇

○ 地代店賃滞

地代店賃不納立替帳 亀島町吉田久兵衛支配新助 天保九 半 一冊 三

地代滞控帳 御本家宛 天保九 半 一冊 三

金兵衛欠落并清次郎地代滞願諸入用 嘉永五 半 一冊 三

(通油町佐七地代滞ニ付訴訟入用控) 家主徳次郎 嘉永六 横美半 一冊 四

(巳午未年地代不納分控) 一綴 六

○ 地代店賃引下

町奉行所々厚御趣意被仰出候ニ付地代店賃直下但地代四分店賃一割定式納坪数取調書 吉田久兵衛 天保一三 横美半 二冊 二

地代店賃定式帳 吉田市右衛門宛 天保一三 横美半 一冊 三

下調御趣意ニ付地代店賃勘定仕上帳 天保一三 横美半 一冊 三

町屋敷地代店賃取集之内町入用引金地主手取書 上 沽券代吉田屋久兵衛 天保一三 半 一冊 三

町屋鋪沽券証写并地代店賃上り高之内ニ而町入用公役銀七分積金家守給家守店引之金地主手取金書上写 吉田市右衛門 天保一三 半 一冊 六

(市中町々地代店賃引下方書上被仰出ニ付達書留) 天保一三 半 一冊 三

地代引下ケ控 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 室町二丁目分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 小網町三丁目分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 弥兵衛町分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 安針町分 天保一三 半 一冊 三

安針町分地代店賃引下ケ家主ヨリ書上控 天保一三 半 一冊 三

御支配之者町御奉行支配之町屋鋪改届向之書類 吉田市右衛門 天保一三 半 一冊 三

湯株・髮結床株 文政四辛巳年分地代店賃蔵敷湯株髮結株船板上銭取集勘定帳 文政五 横美半 一冊 七

御地面・家賃・湯株・床株・蔵鋪上り高書拔控 文政九 横美半 一冊 四

地代・店賃・湯株・床株毎月上り高控 文政一〇 横美半 一冊 五

湯株滞一件天保八年江都出訴在宅相達書物類 天保八一九 半 一冊 六

(久兵衛八郎右衛門他相手取湯株ニケ所出入济口証文写) 天保九 半 一冊 六

金銀勘定

勘定目録 吉田会所 天保七 半 一冊 元
金銀差引目録帳 御本家宛 天保七 横長美 一冊 三

仕切書

仕切書 吉田久兵衛 御本家宛 戊三―五月 半 二冊一通 二
仕切書 岩城屋平吉 吉田市右衛門宛 天保九 半 一冊 三

家普請

本家普請中飯米代金書抜外日々草諸用帳 文政一―一三 半 一冊 三
（江戸町屋敷類焼場普請諸人用帳） 文政一二・天保五 半 一冊 三

（山王様御地面御長家新規建仕様書） 小泉屋茂兵衛 天保一〇 半 一冊 三
通油町抱屋鋪四ヶ所類焼場焼土取方附并諸普請清帳 弘化二 半 二冊 三

大地震江戸地面土蔵長屋其外とも震崩損シ所繕普請御在所々諸職人被遣諸式送り日々取調附立帳 安政二 半 一冊 三

普請金貸附書抜（文政一三） 半 一冊 六
本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜（天保二） 半 一冊 七

普請金貸附書抜（文政一三） 半 一冊 六
本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜（天保二） 半 一冊 七

普請金貸附書抜（文政一三） 半 一冊 六
本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜（天保二） 半 一冊 七

普請金貸附書抜（文政一三） 半 一冊 六
本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜（天保二） 半 一冊 七

普請金貸附書抜（文政一三） 半 一冊 六
本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜（天保二） 半 一冊 七

下奈良村

○ 助郷・用水助成

荒川通武州忍領玉井堰大麻生堰諸色代助成差出 半 一冊 二
金御貸附之儀伺書 御勘定所宛 文政九 半 一冊 二

名主市右衛門外卷人差出金貸附取計方伺書 御勘定所宛 文政一二 半 一冊 三

仁手堰矢鳥堰拾六ヶ村自普請所助成御貸附願之儀ニ付伺書 御勘定所宛 文政一二 半 一冊 三
（熊谷宿助成金積立願一件書留他）（文化五―天保二） 美 一冊 三

（太井村新宿村大芦村榎戸村熊谷宿代助郷御伝馬御受印帳写） 道中奉行宛 天保七 半 一冊 三

（奈良堰外三堰用水ニ付騷立候始末書送候案書） 河野啓助宛 天保八 半 一通 三

（馬喰町御用屋敷御貸附金御仕法替仰出書留） 天保一四 半 一冊 三

（馬喰町御用屋敷御貸附金仕法替ニ付触并日光道中宿々受書他） 天保一四 半 一冊 三

馬喰町御用屋敷御取扱御貸附金半高棄捐被仰出ニ付右御組込有之助成金歎願之書類 奈良堰用元弥七郎 天保一四 半 一冊 三

中仙道熊谷宿御伝馬助郷組合村々助成金歎願向内稿 御奉行所宛 天保一四 半 一冊 三

利根川通御田堤自普請所組合村々諸色代助成金之儀ニ付歎願書内稿 御奉行所宛 天保一四 半 一冊 三

（吉田市右衛門々上納仕御貸附金利足熊谷宿助郷助成として御下ヶ願并頂戴覚） 天保一五 半 一冊 三

（御貸附御仕法替ニ付助郷并備前堀他用水組合助成金御利足被下歎願書） 弘化元―二 半 一冊 三

（熊谷宿助郷他ニ付米原喜代吉書状） 吉田市右衛門外三人宛 一通 二

○ 根岸肥前守様御掛り上奈良村一件御吟味控 文化三 半 一冊 三

（根岸肥前守様御呼出上奈良村一件留） 文化三 半 一冊 三

（根岸肥前守様御呼出上奈良村一件留） 文化三 半 一冊 三

(冥加酒上納御褒ニ付柳生主膳正ノ御呼出之節
指紙并差上書類扣) 文化六 一冊 六

武蔵国幡羅郡地誌調書上 文政五 一冊 六

(妻沼村聖天宮開帳之節催之次第下知状組歸御
札ニ付御憐愍願上書) 吉田左五郎宛 天保七 一冊 三

寛永廿式年下なら地帳 正保二 一冊 七

相統講金取立帳 金主佐右衛門 文化一三 一冊 六

(質物預金并利足上り金高控) (文政七一九) 一冊 六

証文控 文政八 一冊 五

(越石出作等ニ付認置覚) 天保四 一冊 二

其他

御伝馬助郷一件・山県大二一件写 明和三・四 一冊 七

信州浅間山其外変事一件訴書実正之書付写 天明三 一冊 三

信州御嶽山講本明院一心外五人え被仰渡写 文政四 一冊 六

(武州小曾根村安太郎ノ奈良新田村藤助外え相
懸り質地取戻出入御吟味之上請書被仰付写) 文政一一 一冊 七

家相師田辺静馬え被仰渡写 天保三 一冊 七

武蔵国野原村曹洞宗文珠寺患憐被仰渡写 天保三 一冊 七

(武州小曾根村名主竜蔵ノ百姓幸吉え相懸り本
家相統方ニ付願吟味詰之上御伺御下札を以双
方被仰渡写) 天保三 一冊 七

(上州川俣村外一六ヶ村之者共徒党いたし同国
須賀村吉五郎外二人宅を打毀候一件仰渡并御
請証文) 天保三 一冊 三

(武州町場村徳次郎無宿源次郎差置候一件仰渡
并御請証文) 天保四 一冊 三

(武州上川上村林蔵女房まき林蔵と口論之上疵
付逃去同人相果候一件書留) 天保四 一冊 五

(上州八木沼村百姓儀兵衛外二八人平塚村弥惣
治外五人之者高岡村藤七所持之畑小作致し党
を結ひ小作滞等ニ付御取締方響ニ相成連印一
札) 関東御取締出役宛 天保四 一冊 六

(上野国勢多郡水沼村星野七郎右衛門宗門御改
帳) 天保四 一冊 五

(日光道中幸手宿之者打壊及狼藉御吟味之上仰
渡書留) 天保四一六 一冊 七

(酒井雅染頭家来山本九郎右藏門敵討一件)
西丸御小納戸鶴藤吉之返 天保六 一冊 八

鈴ヶ森ニ而仙石左京捨札之写 天保六 一冊 三

仙石一件落首書付并封廻状之写 天保六 一冊 三

(仙石一件落着ニ付申渡一件三冊入御覽候書状)
吉田市右衛門外宛 一通 六

(米穀積送り不相成ニ付仰渡) 天保六 一冊 六

(米穀積送り不相成ニ付御証文写)
御本家宛 天保六 一冊 六

(一ッ橋民部御徒士川崎宿ニおいて鍋島城主松
平肥前守関札被取乱暴ニ及候一件) 天保七 一冊 三

(一ッ橋徒士川崎宿にて肥前守関札被取ニ付獄門
申付其他写) (天保七) 一冊 三

(武州西野村与四郎儀無株にて酒造ニ付仰渡御
請一札) 天保八 一冊 三

(大坂表大塩騒動ニ付嶋屋左右衛門并京屋弥兵
衛方之參候書状写) 天保八 一冊 三

(大塩平八郎檄文写) 天保八 半 一冊 三三

(西御丸并御本丸炎上其他記事留) 天保九・一五 半 一冊 三三

去年五月廿日以來町々米屋其外打壞及狼藉候者
共御仕置奉伺候書付下書 申二月 半 一冊 三三

町々米屋其外打壞及狼藉候者共申渡 申三月 半 一冊 三三

邪宗門一件科人捨札案 半 一冊 三三

(市谷田町老丁目三左衛門娘まさ一件見分書并
口書) 未六月 半 一冊 三三

市谷田町老丁目三左衛門娘まさ一件御答奉伺候
書付 申三月 半 一冊 三三

市谷田町老丁目三左衛門娘まさ外老人御仕置附
之儀申上候書付 申三月 半 一冊 三三

(若者共ニ付仰渡) 子五月 半 一冊 三三

諸寺院取締之儀ニ付諸触頭之申渡書写 丑二
月 半 一冊 三三

○ 寬明日記 六十七 (明曆大火記) 明曆三 半 一冊 三三

(伊豆国遍田浦船難舟始末見聞記) 天保三 半 一冊 三三

救飢松皮製法 礪川老人 天保四 半 一冊 三三

附(日本実業史博物館旧蔵)

金銀出入帳 吉田市右衛門 文化二 横美半 一冊 三三

三井高維菟集史料

酒方歳々勘定帳 吉田市右衛門 安政六・文政二 一冊 26R 三五

其他

祭魚洞文庫旧蔵史料目録

祭魚洞文庫旧蔵史料目録目次

三重県	滋賀県	愛知県	静岡県	山梨県	長野県	石川県	新潟県	神奈川県	東京都	千葉県	埼玉県	群馬県	茨城県	福島県	山形県	秋田県	岩手県	北海道
.....
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

京都府	兵庫縣	大阪府	岡山縣	広島縣	所屬地不明分	雜
.....
七	七	七	七	七	七	七

祭魚洞文庫旧蔵史料目録

(文書記号 2374)

北海道

別用又記 夷那遠主人 嘉永七

横半半

一冊

一

岩手県

陸奥国二戸郡浅沢村耕地改正地価取調書上帳写
明治八

横長半

一冊

二

秋田県

(山内仕法留) 北秋田郡阿仁カ

横長半

一冊

三〇

家方歳鑑 南秋田郡太田善六 (安永四—文化七)

横長美

一冊

三〇

山形県

(羽州天童町仏向寺浅草日輪寺宗派争出入願書
写留) 天保六

半

一冊

四

附込 天童町石井太兵衛 大正九・一〇・一五

横長美

三冊

五〇

中条備前守と白鳥十郎公 山形県谷地町教育会

昭和九

刊一冊

五〇

米沢藩紙蠟御蔵史料

- 1 (江戸為御登蠟御用留) 寛政九—文政九 半 二冊
- 2 蠟御蔵日帳 文久二—慶応三 半 一冊
- 3 天明五年分御買蠟御算用帳 天明六 半 一冊
- 4 山里蠟中勘帳 天明六—安政四 半 四冊
- 5 蠟燭三百挺御入料江戸迄諸懸り共中勘書
上留 寛政一〇 半 一冊
- 6 小林利惣兵衛掛蠟燭請払御算用帳
文政二・安政四・明治四 半 三冊
- 7 追落里蠟請払御算用帳 文政三 半 一冊
- 8 御年貢漆并諸年賦共請払算用帳 文政三
—安政四 半 三冊
- 9 未進蠟代請払御算用帳 文政三—安政四 半 三冊
- 10 御買蠟請払并橋役錢為御登蠟荷作御入料
諸品請払御算用帳 文政三—安政四 半 四冊
- 11 小林利惣兵衛御払蠟代濟下四拾年賦御取
立算用帳 文政三・二 半 二冊
- 12 蠟燭請払中勘帳 文政三・安政四 半 二冊
- 13 追落蠟燭鬢附請払御算用帳 文政一一 半 一冊
- 14 附蠟代請払御算用帳 文政一一 半 一冊
- 15 追落蠟燭搦油鬢附入札御払代請払御算用
帳 嘉永五 半 一冊
- 16 蠟燭鬢附御役銀御算用目録帳 安政五 半 一冊
- 17 山里はせ蠟橋役錢諸年賦御算用帳
明治二 半 一冊

六

18	(明治三年蠟御蔵詰算用帳) 明治三 山里はせ蠟橋役錢諸年賦御算用帳 山里櫛中勘帳 御年貢漆御取立請払御算用帳 追落蠟燭髪附漉油入札御払御算用帳 里未進蠟代請払御算用帳 芳賀与兵衛掛蠟燭請払御算用帳 蠟燭中勘帳	半	七冊
19	(明治四年蠟御蔵詰算用帳) 明治四 山里櫛晒蠟請払御算用帳 蠟中勘帳	半	三冊
20	追落蠟燭漉油髪附入札御払御算用帳 会津屋庄八蠟燭懸役錢上納請取手形 宝曆二—明和三	三通	
21	小出分山里出蠟懸渡帳 天明五	半	一冊
22	山里出蠟請取帳 天明五	半	一冊
23	小国中津川漆取立帳 天明八	半	一冊
24	蠟燭壳子御請状 享和三	美	一冊
25	文化元年々末五ヶ年漆元役御取立帳 文化元	半	一冊
26	鬢附壳子御請状 文化二	美	一冊
27	蠟御払代取立帳 元治二	横半半	一冊
28	(蠟燭前壳出店取締請状) 慶応三	美	一冊
29	明治元年分有木帳 明治二	半	一冊
30	御買入蠟貫目改渡帳 明治三	半	二冊
31	蠟払代上納請取手形 明治四	半	二通
32	(元御台所御改革以後御渡御塗物為無 作料塗立分委細書上帳) 明治四 御巡見ニ付御用紙相渡申御算用帳 天保九	半	一冊
33	安政式年分中勘御算用帳 安政二	半	一冊
34	紙御蔵日帳 元治二—明治二	半	二冊
35	窪田村諸口御手当宛代廻帳 文政一〇	半	一冊
36	村々諸口御手当宛代廻帳 文政一二	半	二冊
37	村々代方中勘宛帳 天保六	半	一冊
38	村々定夫食余力糶諸差引帳 文久三	横美半	一冊
39	万延元年分田畑解田御年貢米錢取立帳 万延元	横美半	一冊
40	御忠信叙預置証文 明治元	半	一通
41	御巡見御通行ニ付而小国町三御宿御普請 并御取扱書上帳 天明八	半	一冊
42	綱木駅御巡見御賄方取量ニ付跡仕舞之出 勤之節万書留帳 天保九	横美半	一冊
43	御巡見御下ニ付村方横目之覚	半	一通
44	水沢河岸御算用下帳 天保九	半	一冊
45	(館山用水堰御普請書類) 安政六	半	三冊
46	西之御丸御普請御手伝差上金受取手形 明和六	半	一通
47	蘇香円払代上納請取手形 文化一四	半	一通

49	家督以来勤方留帳	文政一三一安政五	半	三册
50	(大野嘉藏駿河守御先手就任披露依頼状)			二通
51	郷村御取立物旧記	安永六	半	一册
52	(万寛帳)		横小半	一册
53	御役料米御手当米取調帳	文政一三	横美半	一册
54	檢使之事 (寛政八)		横美半	一册
55	檢使之事組外公務雜記分写取	嘉永二	横美半	一册
56	(慶安御触書写)		横長半	一册
57	雜			一綴
出羽国村山郡小関村文書				
1	宗門御改帳	寛保元	半	一册
2	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	寛保四	半	一册
3	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	延享二	半	一册
4	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	延享三	半	一册
5	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	延享四	半	一册
6	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	延享五	半	一册
7	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	寛延三	半	一册
8	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	寛延四	半	一册
9	羽州村山郡小関村宗門人別御改帳	宝曆二	半	一册
10	宗門人別御改帳	宝曆六	半	一册

七

11	宗門人別御改帳	宝曆九	半	一册
12	宗門人別御改帳	宝曆一〇	半	一册
13	宗門御改人別帳	明和五	半	一册
14	宗門御改人別帳	明和七	半	一册
15	宗門御改人別帳	明和八	半	一册
16	宗門御改人別帳	安永六	半	一册
17	宗門御改人別帳	天明四	半	一册
18	宗門御改人別帳	寛政九	半	一册
19	当戌宗門人別惣寄帳	享和二	半	一册
20	当丑宗門人別惣寄帳	文化二	半	一册
21	当寅宗門人別惣寄帳	文化三	半	一册
22	当辰宗門人別惣寄帳	文化五	半	一册
23	当申宗門人別惣寄帳	文化九	半	一册
24	当子宗門人別惣寄帳	文化一三	半	一册
25	当卯宗門人別惣寄帳	文政二	半	一册
26	当巳宗門人別惣寄帳	文政四	半	一册
27	当未宗門人別惣寄帳	文政六	半	一册
28	当亥宗門人別惣寄帳	文政一〇	半	一册
29	当丑宗門人別惣寄帳	文政一二	半	一册
30	当午宗門人別惣寄帳	天保五	半	一册
31	当酉宗門人別惣寄帳	天保八	半	一册
32	当戌宗門人別惣寄帳	天保九	半	一册

50	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化二二	半	一册
49	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化一〇	半	一册
48	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化九	半	一册
47	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化八	半	一册
46	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化六	半	一册
45	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化五	半	一册
44	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化三	半	一册
43	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文化元	半	一册
42	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 享和三	半	一册
41	当午宗門人別惣寄帳 安政五	半	一册
40	当辰宗門人別惣寄帳 安政三	半	一册
39	当卯宗門人別惣寄帳 安政二	半	一册
38	当寅宗門人別惣寄帳 嘉永七	半	一册
37	当子宗門人別惣寄帳 嘉永五	半	一册
36	当亥宗門人別惣寄帳 嘉永四	半	一册
35	当卯宗門人別惣寄帳 天保一四	半	一册
34	当寅宗門人別惣寄帳 天保一三	半	一册
33	当亥宗門人別惣寄帳 天保一〇	半	一册

68	羽州村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 天保六	半	一册
67	羽列村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 文政一三	半	一册
66	羽州村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 文化一一	半	一册
65	羽州村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 文化一〇	半	一册
64	羽州村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 享和三	半	一册
63	浄土真宗一宗御改帳 明治四	半	一册
62	浄土真宗一宗御改帳 元治二	半	一册
61	浄土真宗一宗御改帳 安政七	半	一册
60	浄土真宗一宗御改帳 天保一四	半	一册
59	浄土真宗一宗御改帳 天保一三	半	一册
58	浄土真宗一宗御改帳 天保一二	半	一册
57	浄土真宗一宗御改帳 天保一〇	半	一册
56	浄土真宗一宗御改帳 天保六	半	一册
55	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文政七	半	一册
54	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文政五	半	一册
53	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文政四	半	一册
52	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文政三	半	一册
51	羽州村山郡小関村浄土真宗一宗御改帳 文政二	半	一册

69	羽州村山郡小関村浄土宗一宗御改帳 天保九	半	一冊
70	小関村浄土宗一宗御改帳 弘化五	半	一冊
71	浄土宗一宗御改帳 嘉永六	半	一冊
72	浄土宗一宗御改帳 文久三	半	一冊
73	浄土宗一宗御改帳 明治四	半	一冊
74	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化二	半	一冊
75	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化三	半	一冊
76	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化五	半	一冊
77	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化七	半	一冊
78	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化九	半	一冊
79	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文化一四	半	一冊
80	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政二	半	一冊
81	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政三	半	一冊
82	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政四	半	一冊
83	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政七	半	一冊
84	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政八	半	一冊
85	羽州村山郡小関村禅宗一宗御改帳 文政九	半	一冊

86	小関村禅宗一宗御改帳 天保八	半	一冊
87	小関村禅宗一宗御改帳 天保一四	半	一冊
88	小関村禅宗一宗御改帳 天保一五	半	一冊
89	小関村禅宗一宗御改帳 弘化二	半	一冊
90	小関村禅宗一宗御改帳 弘化三	半	一冊
91	小関村禅宗一宗御改帳 弘化五	半	一冊
92	小関村禅宗一宗御改帳 嘉永二	半	一冊
93	小関村禅宗一宗御改帳 嘉永三	半	一冊
94	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文化二	半	一冊
95	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文化一	半	一冊
96	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文政二	半	一冊
97	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文政四	半	一冊
98	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文政八	半	一冊
99	羽州村山郡小関村時宗一宗御改帳 文政九	半	一冊
100	小関村時宗一宗御改帳 天保一一	半	一冊
101	小関村時宗一宗御改帳 天保一四	半	一冊
102	小関村時宗一宗御改帳 天保一五	半	一冊
103	時宗一宗御改帳 文久四	半	一冊
104	時宗一宗御改帳 明治四	半	一冊
105	(小関村時宗禅宗各一宗御改帳) 安政七	半	一冊

106	午年人別御改生死去来帳	文化七	横長半	一冊
107	当卯年宗門人別御改生死去来帳	文政二	横長半	一冊
108	当寅宗門人別御改生死去来帳	文政一三	横長半	一冊
109	村抔手形	文化二		二通
110	村抔請取手形	文化二		一通
111	羽州村山郡小関村五人組帳	寛延二		一冊
112	羽州村山郡小関村五人組帳	宝曆四		一冊
113	羽州村山郡小関村五人組帳	安永五一寛政七		一冊
114	羽州村山郡小関村五人組御仕置帳	文化八		一冊
115	羽州村山郡小関村五人組仕置帳	文政五		一冊
116	御仕置五人組帳	天保三		一冊
117	高木組小関村指出帳	寛保二		一冊
118	享保一八丑分宝曆二申迄二拾ケ年田畑取米書上帳	宝曆三		一冊
119	出羽国村山郡小関村田畑小作入上ケ米同断質入直段書上帳	宝曆一		一冊
120	延享元子年分安永九子年迄三拾ケ年田畑御取箇仕訳書上	天明二		一冊
121	小関村高反別帳	文化二		一冊
122	田畑高反別取米石森書上帳	文政七		一冊
123	(荒地起返并新開ニ付申渡書付)			一冊
124	免割帳	寛保三		一冊

125	奉差上御割付拝見御請書	寛政九		一冊
126	小前差出帳	寛政元		一冊
127	公儀御触書并越後国役御廻状写	文政五		一冊
128	御手当割符帳	天保四		一冊
129	(非常備穀会金借用証文)	弘化二		一通
130	御届書一札	明治二		一冊
131	(地引帳仕立ニ付諸書付写)	明治六		一冊
132	(家運永栄講御祈禱)	弘化四	美	一冊

福島県

1	諸御用御触面写	慶応四	美	二冊
2	野尻分局生産方廻章写	明治三		一冊
3	若松県・福島県布告書類			合三冊
4	請願書留控	文久四		一冊
5	古城館旧跡御尋ニ付口上書	慶応元	横長半	一冊
6	民用塩買入方之儀願書控	慶応三		一冊
7	(官軍打入ニテ民情不穩ニ付敷願書)			一通
8	馬喰方御尋ニ付請書	未六月		一通

9	(風邪ニ付御召出日延願)	一通
10	山箇所附帳 明治六	一冊
11	野取絵図帳 明治一八	一冊
12	山林引戻行政訴訟始末 明治三七	一冊
13	戌年御年貢万上納申帳 天和五	一冊
14	当已御取箇米永中勘定目録 寛政九	一冊
15	古町組浜野村外六ヶ村去戌御取箇米永清勘定目録 文化三	一冊
16	(会津藩御預所石代引下ヶ願一件書留) 万延元	一冊
17	七ヶ年定免切替請書控 文久三	一冊
18	京都御夫代郷仲間井夫丸割合帳 元治元 慶応二	四冊
19	山海陸炮寸志金三谷割合元帳 慶応二 横長半	一冊
20	御官軍様御乗込宿泊賄取調帳 明治二	合一冊
21	宗門御改調印手控 文政一三	一冊
22	名主勤躰書上之控 安政三	一綴
23	名主勤躰書上控 万延二	一冊
24	(朴木村兼帯三役退役願下書) 慶応元	一通
25	人改所通行手形 丑六月	一通
26	(人馬繼立難渋ニ付飛脚賃錢之儀願書) 辰八月	一通
27	上州菱沼川岸船積問屋会津御蔵入物運送議定書 嘉永三	一冊
28	商人仲間義定書及石井一件濟口書 文化四・文政一三	一冊
29	伊・北馬壳帳 天保八	一冊
30	(麻積金割渡極帳) 安政四	一冊
31	御上下地御注文帳 万延元	一冊
32	(諸直段引下方ニ付諸問屋之申諭書) 万延元	一冊
33	壳葉請弘明細帳 明治一七―二〇	一冊
34	米沢馬買金借用状案 安永八	一通
35	借用金年賦証文 弥七外宛 天保六一元治二	四通
36	娘引当借用金証文 弥七宛 嘉永七	一通
37	生糸前金返納延期立入証文 明治四	二通
38	拝借年賦証文 河原田末吉 明治四	一冊
39	地元借用小作証文 弥七宛 天保九	一通
40	当村弥七質地金高書上控帳 安政四	一冊
41	手元分限質地人別家数書上帳 万延二	一冊
42	宮沢村持高并質地控帳 文久四―明治三	一冊
43	(郷頭高流地・質地讓返地小作高調帳) 文久三	一冊
44	廻シ質地地元添証文 明治四	一通
45	椀無尺帳 文化一五	一冊
46	(古町村弥重へ貸金滞出入内済為取替証文) 天保二	一通
47	(古町村富五郎借用金之内ニ悪金有之と申掛之儀内済為取替証文) 天保六	一通
48	(弥七掣惣七夫婦離別ニ付為取替一札) 安政三	一通

49	(宮沢村菊太郎・なを不埒之儀内濟ニ付差入一札) 安政六	一通	
50	(多々石村与惣右衛門酒狂乱暴詬状ニ役印願ニ付差出一札) 文久元	一通	
51	多々石村与惣右衛門以後慎之儀差出一札 文久元	一通	
52	一ノ宮代参申付状 安政四	一通	折紙
53	照国寺々法評決書 明治三一	一冊	半
54	広島長崎両県下学校書販売ニ関スル約定書 明治一一	一冊	半
55	彫刻料之通 明治一一	一通	横美半
56	賜チフス流行之節施与米ニ付賞状 明治二二	一通	
57	下野行小遣帳 明治二六	一冊	横半半
58	河原田甫戸籍謄本 明治三三	一通	
59	郵便切手貯金台紙 明治三八	一通	
60	河原田盛美宛書状	一綴	
61	河原田盛美書状	一綴	
62	河原田稼吉書状	一綴	
63	河原田末吉宛書状	一綴	
64	独見秘記ニ猿雜記 慶応四	三冊	半
65	菊作手引草 河原田盛美 安政五	一冊	半
66	茶志略 河原田盛美 明治三	一冊	半
67	三草録 河原田盛美 明治三	一冊	半
68	考課状月報規則 河原田盛美明治七	一冊	半
69	南会津蕃語論草稿 明治二四	一綴	

70	御用掛古今珍支・御直御支配見聞書留 天保八	一冊	横長半
71	珍説見聞記断章	一冊	半
72	諸問屋仲間再興ニ付町奉行被仰渡書写 嘉永四	一冊	半
73	会津侯風説書 文久三	一冊	半
74	(蛤御門之交聞書留) (元治元)	一冊	半
75	小錢歩増通用記并楮幣新貨金銀留書 (慶応元一明治八)	一冊	美
76	身代限処分方書抜 明治二一六	一冊	小半
77	雜記 明治三	一冊	横小半
78	(万覚帳)	一冊	美
79	(諸事書留帳)	四綴	
80	(雜事書留帳)	一冊	半
81	近衛家秘録	一冊	美
82	借用金証文 近衛家役所宛 (明治)	一通	
83	当辰定免切替御請控 朴木村 安政三	一冊	半
84	朴木村宗門改人別家数書上帳 安政七一 慶応三	八冊	半
85	朴木村夫錢割合書上帳 慶応二	一通	
86	多々石村宗門改家数人別書上帳 安政三 慶応二	一〇冊	半
87	多々石村質地控帳 文久三	一冊	半
88	夫食糶拝借願書 多々石村 辰六月	一通	
89	(唯見村川之端松平越後守御見立銀山領分境論目安写) (寛永一九)	一冊	半

110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90
太々御神樂講御祓大麻進上書狀 正月二日二通	建議	長野県土族藤本朋信履歴書 明治八	伊南川只見川筋利源開展ニ関スル道路開 修調査書	日本銀行条例	第一国立銀行金銀取扱規則 明治六	司法省日誌 第三号 明治六	(若松県管内大小区劃地名書)	申年租税皆済帳 落合村 明治六	大塩村米相場書上覚 慶応三	大桃村変死書留 文久元	大新田村御手鑑帳 安政六	水根沢村御手鑑帳 安政六	(徒党禁止御高札写) 明和七	(会津松枝岐口番所用留) 慶応四	白峰銀山山手金斧竈割渡帳 弘化四・五	(御城入用小羽板一件書留) 天保五	諸願書控記 文政五―一三	御預所支配御料並申渡写 宝曆五	松枝岐村御用向万覚書 宝曆元―寛政六	越後上田・会津白峯両銀山立初書上帳及 両銀山鑑 (元禄三―明治六)
				小半			半	半		横長半	横長半	横長半	半	美	横長半	半	半	一通	一冊	二冊
			刊	一冊	刊	刊	一冊	一冊	一通	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一通	一冊	二冊

茨城県

蓄穀仮方法書

霞浦帆引網発明家折本良平頌徳碑文

群馬県

壳掛貸金出入御差紙拜見一札 大桑原村和三郎
下仁田村彦兵衛宛 安政五

埼玉県

太織島織数控帳 児玉郡藤田村戸塚輝吉 明治四一横長半

金銭出入控帳 大里郡大寄村中林吉五郎 明治四一横長半

歩人方調帳 (名主儀左衛門出訴ニ付太郎兵衛訴答書) 埼玉郡
今井村 横長半

入間郡大塚村宇佐美家文書

1 川除普請入用被下置下知書 弘化三

2 地頭人夫差出方申渡状 寅正月

3 飯米上納金納申付状

4 小山村名主入札ニ付申付状

5 (地頭役所年貢取納印鑑)

美

⑤一綴

一冊 一〇

一通 三

一冊 一三(一)

一冊 一三(一)

一冊 一三(一)

一通 一三(一)

一四

一通

一通

一通

一通

一通

6	本郷丹後守印鑑			二枚
7	御高札并御触書写 (天和二—文政九)天保八写	半		一冊
8	穢多非人取締御触書写	小半	天明三	一冊
9	(村方取締触書請書)	半	文化四	一冊
10	御鷹捉餌場取締御触廻状写	横長半	文化四	一冊
11	代官廻状写	小半	文化一	一冊
12	関東向取締筋被仰渡請書	半	文政一〇	一冊
13	御鷹餌差焼印札判鑑請取請書	半	文政一一	一冊
14	官軍賄代下ヶ渡ニ付神奈川宿御賄所廻状 辰九月	二通		
15	地券布告書	半	明治六	一冊
16	古屋鋪反畝分石高覚帳	横小半	明和七	一冊
17	高反別小前書上帳	横長半	文政一二	二冊
18	田方名寄帳	横小半	寛政一二	一冊
19	田畑名寄帳写	横長半	天保三	五冊
20	田畑名寄帳	横長半		一冊
21	名寄帳断簡	横長半		一綴
22	(上知地方入用割ニ付持高調帳)	横長半	明治二	一冊
23	田方反別書貫帳	横長半	明治二	一冊
24	本田反別畝歩附覚帳	横長半	明治三	一冊
25	田方本新反別書貫帳	横長半	明治四	一冊
26	(田畑質地高貫帳)	横長半	(明治元—四)	一冊
27	地券ニ付一名毎反別名寄帳	横長半	明治六	一冊

28	田畑再改増減書出調	横長半	明治六	一冊
29	田畑反畝歩附控帳	横長半	明治八	一冊
30	御新田反別帳写	横小半	安永二	一冊
31	御新田石高覚帳	横小半	安永五	一冊
32	見附畑反別小前書上帳	横長半	寛政五	一冊
33	新田反取米永書置帳	小半	文政五	一冊
34	大塚村新田本免小前帳	横長半	文政一二	一冊
35	御新田反畝歩帳	横長半	慶応元	一冊
36	享保拾六年ヨリ川欠改覚帳	横小半	寛政八(天保三写)	合一冊
37	(川欠畝歩調帳)	横長半	(明治)	一綴
38	古川欠現今川欠年季立返り取調帳	横長半	明治六	一冊
39	畑成田反別改帳	横小半	文化八・一一	二冊
40	畑成田内見控帳	横長半	明治二	一冊
41	田畑宗寄記	横長半	明治六	一冊
42	名主跡役申渡状		文政一三	一通
43	諸書物請取覚帳	横長半	文政一三・元治二—明治四	五冊
44	戸長留任願連印帳	半	明治五	一冊
45	石坂山御証文他預り証文		文政三	一通
46	廻状請取書			四通
47	産物堤防用水路其他書出扣	半	明治六	一冊
48	国民軍調書上帳写	半	明治七	一冊

49	(慈院院坂戸長次乱暴之儀出訴出金請合連印帳) 寛政九	小半	一冊
50	(上浅羽村と用水出入ニ付入費請合村中対談議定一札) 慶応元・三		二通
51	御用金御断ニ付村中対談議定一札 慶応三		一通
52	(久左衛門外々村役人えカ、ル出入一件書類) 慶応三・四		四通
53	宗門帳五人組帳印形之儀返答猶予願 壬四月		一通
54	諸入用請取書ニ付為取替一札 辰一〇月		一通
55	(大家村伝次郎跡借財出入ニ付伺書扣) (明治)	半	一冊
56	人別引取一札 明治二		一通
57	送籍状 明治五		一通
58	戸籍増減控帳 明治五	横長半	二冊
59	和宮様下向通行加助郷勤ニ付村高人数書上帳 文久元	半	一冊
60	官軍通行ニ付上尾宿ヨリ人足諸入用賞帳 慶応四	横長半	一冊
61	御年貢米永請取目録 宝曆一一		一通
62	田畑御年貢皆済目録 天明元・文政二三	半	二冊
63	年貢割付状 文化八		一通
64	秋成上納金請取手形 慶応元		一通
65	先納金請取手形 慶応四		一通
66	年貢残納分受納願 明治四	半	一冊
67	畑成田御年貢割付帳 文化九	横小半	一冊
68	御国役并御年始入用割合帳 慶応元	横長半	一冊

69	皆済諸勘定請取控帳 慶応元	横長半	一冊
70	田方御年貢米割附帳 慶応元・明治四	横長半	二冊
71	御年貢坐帳 慶応三	横長半	一冊
72	御年貢米永取立帳 慶応四・明治二	横長半	二冊
73	御年貢下り来午夫金皆済諸入用割合帳 明治二	横長半	一冊
74	田方石代并畑方御年貢書貫写 明治三	横長半	一冊
75	御国役割合帳 明治三	横長半	一冊
76	田方石代金受取帳 明治四	横長半	一冊
77	夏秋成畑方請取帳 明治四	横長半	一冊
78	夏秋成御年貢請取扣帳 明治四	横長半	一冊
79	入会秣野租税入用割合帳 明治五	横長半	一冊
80	田畑皆済割合取立帳 明治六	横長半	一冊
81	皆済素附簿 明治七	横長半	一冊
82	天朝御用金請取控帳 明治二	横長半	一冊
83	馬療治ニ付人足帳 明治一一	横長半	一冊
84	石坂山野火除入用村割廻状写 享和三	横小半	一冊
85	諸勘定割合扣覚帳 安政四	横小半	一冊
86	当丑年諸掛元附帳 慶応元	横長半	一冊
87	村諸入用其他割合帳 慶応元	横長半	一冊
88	夫食并杭木代村諸入用割合帳 慶応元	横長半	一冊
89	窮民融通并火之番礼金覚帳 慶応三	横長半	一冊
90	村諸入用并出府入用上尾人足賃割合帳 慶応四	横長半	一冊

91	(浮米割渡シ割付差引扣)	横長半	一冊
92	諸懸リ書出帳 卯一二月	横長半	一冊
93	(諸勘定書出并請取書)	一綴	
94	諸勘定控帳 明治元	横長半	一冊
95	御新田諸入用并立替割合帳 明治元	横長半	一冊
96	(諸入用割合并取調書類) 明治元一五	横長半	六冊
97	皆済諸勘定掛リ入用控帳 明治二	横長半	一冊
98	諸入用下リ書出帳 扣共 明治二	横長半	二冊
99	田方諸入用控帳 明治二	横長半	一冊
100	村諸入用割合帳 明治二	横長半	二冊
101	諸夫錢割合帳 明治二一三	横長半	二冊
102	田方御檢見入用割合帳 明治二・四	横長半	二冊
103	国役村入用割合并割返シ差引帳 明治三	横長半	一冊
104	水統米一件ニ付入用元附帳 明治三	横長半	一冊
105	水統米取立覚帳 明治三	横長半	一冊
106	畑高割渡并差引扣帳 明治四	横長半	一冊
107	(村費諸入用控帳) 明治五・六	横長半	三冊
108	地券入費元附帳 明治六	横長半	一冊
109	午過納割返シ申諸入費差引帳 明治六	横長半	一冊
110	村費取調帳 明治六一七	横長半	四冊
111	村費内割帳 明治七	横長半	一冊

112	杭木山伐木数人馬記 明治七	横長半	一冊
113	等級取扱入費取調帳 明治一〇	横長半	一冊
114	全徳寺預リ金并租稅諸入用下リ書出帳 明治一四	横長半	一冊
115	当座出入控帳 文久二	横長半	一冊
116	万控帳 慶応元	横長半	一冊
117	年中諸立替元附控帳 明治三	横長半	一冊
118	諸立替金出入取調帳 明治三	横長半	一冊
119	陣屋方勘定取調控帳 明治四	横長半	一冊
120	大塚村新田用水引取之儀願書 寛政四	半	一通
121	高麗川通り堤川除御普請出来形帳 文化六	半	一冊
122	仮水除杭打立之儀届書 慶応三	横長半	一通
123	番水人足覚 慶応三	横長半	一冊
124	増用水取入方取替議定証文	横長半	一通
125	櫻山・向川原・三願橋堀敷米渡方帳 慶応三・明治二・七	横長半	三冊
126	堀敷米割合取立帳 明治二・六	横長半	二冊
127	普請諸入用人足元附帳 明治三	横長半	一冊
128	堤防普請箇所附帳 明治六	横長半	一冊
129	用水堀浚人足仮控帳 明治六	横長半	一冊二綴
130	番水入費書抜帳 明治七	横長半	一冊
131	秣札請取帳 文化二二	横長半	一冊

132	秣場札持連印帳	文政元	横長半	一冊
133	赤沼村円正寺旧借金殘金処分書類控 <small>天保八</small>			一通
134	諸方借財金改配当帳	嘉永四	横長半	一冊
135	借用金調方覚帳	文久四	横長半	二冊
136	借用金割合取調帳		半	一冊
137	預り金覚帳	明治二	横長半	一冊
138	(源左衛門分借財金配当残り元利×出) <small>(明治二)</small>		横長半	一冊
139	当座之控帳	明治四	横長半	一冊
140	借用金証文	享和三		一通
141	質地証文	慶応四		二通
142	村方窮民融通差出金請取書	慶応三		一通
143	人別積金割合取立帳	明治四	横長半	一冊
144	社蒼一条ニ付割合帳	明治四	横長半	一冊
145	社蒼返戻確定帳	明治一〇	横長半	一冊
146	全徳寺境内伐木之儀ニ付訴願状 <small>元禄一四</small>			一通
147	鎮守御位金割合請取帳	安永八	横小半	一冊
148	全徳寺境内壳木代金且中預り一札 <small>文化一三</small>			一通
149	諸堂修覆惣且中出錢帳	文政元	横長半	一冊
150	御初穂神納帳		横長半	一冊
151	鳥居普請諸事記	明治五	横長半	一冊

152	全徳寺本堂畳替寄附連名并秀禪長老入院 諸誌	明治一九	横長半	一冊
153	里子預り証文	弘化三		一通
154	落合亦吉書状			一通
155	金錢出入控		横長半	一冊
156	土蔵仕用之覚		横長半	一冊
157	松平安芸守書状	本郷大和守宛		一通
158	(雜書類并断簡)			一綴
159	(大塚村明細書上帳)	慶応四	美	一冊

千葉 県

	千葉県庁処務順序及処務順序参考心得書 <small>明治一四</small>			刊一冊	一五
	御仕置五人組帳	葛飾郡山野村	天和三	一冊	一六〇
	上総国市原郡本郷村外二十六ヶ村落渡世取調書上 帳	小佐貫村	天保九	一冊	一六〇
	上総国佐是郡奉免之郷御繩打水帳		天正一九	二冊	一七
	上総国夷隅郡荻谷村三町市場定		享和元	一冊	一六
	安房国長狭郡上野村名主吉田家文書			一冊	元
1	地頭役所達状	子一〇月		一通	
2	地頭用人用状			一通	
3	上野村名主廻状			五通	
4	北小町村大惣代用状	三郎左衛門宛		四通	

- 5 南町村八郎右衛門書状 三郎左衛門宛 二通
- 大網宿六右衛門永田村新之丞兩人組合訴願ノ夕 一冊
- 又出府中御掛役人へ苞苴之儀御尋ニ付歎願書控 一冊
- 明治初 半
- 下総国匝瑳郡大塚原村村鑑明細帳 延享二(天 一冊
- 保三写) 半 三

東京都

- 商売向御書上其外諸控帳 青山久保町伊勢屋与兵 一冊
- 衛 天保一三一—一四 半 三
- 東京輸出茶櫃詰号名書留帳 大伝馬町壱丁目長井 一冊
- 利兵衛 明治一一 横美大 三

神奈川県

- 明治三十四・三十五年横浜生糸貿易概況 原合 刊二冊
- 名会社 明治三五—三六 一冊
- 前々荒地引高小前帳 津久井県名倉村 明和八 横長美 一冊
- (寺領役銭ニ付鎌倉十四ヶ村出入一件書留帳) 半 一冊
- 延享三 三
- 相模国平塚宿問屋文書 三
- 1 宿方相統御主法冥加トシテ金百兩参加出 一通
- 金願書 嘉永四 一冊
- 2 追御主段加入金御下ケ渡請取証文 六通
- 文久元—二 一通
- 3 御伝馬相統御主段金借用証文 慶応元—三 一二通
- 4 (大通行之節平塚宿々借用之駕籠蒲団等 返却怠慢之儀弁金ニ付差入一札) 慶応元 一通

相模国大住郡羽根村今井家文書

- 1 獵師鉄炮書上証文 明和七 一通
- 2 御役所之被召出ニ付差添村役人入用金請 一通
- 合証文 文政七 一冊
- 3 質地証文・畑壳渡証文・関所手形雛型 一通
- 文政七 半
- 4 地誌御調書上帳 (天保六) 一冊
- 半
- 5 御領分羽根村困窮人名前 天保五 一冊
- 半
- 6 武兵衛御吟味中預リ一札 弘化四 一冊
- 7 家数人数馬数書上一紙 嘉永五 一冊
- 8 御運上場丹沢山新開并諸木植付之儀御沙 一通
- 汰止被成様歎願書下書 (寅年) 八通
- 9 御用状并廻章 一通
- 10 御用状請取書 寅八月 一通
- 11 地券預リ証書 明治一三 一通
- 12 名主退役願書 天保五・弘化三 二通
- 13 組頭役死亡届書并跡役願書 嘉永五 二通
- 14 伝三郎遺跡ニ取立之玄昌身元引請証文 一通
- 延享元 一冊
- 15 伊兵衛親子引越証文 宝曆四 一通
- 16 定免願案紙 宝曆六 一通
- 17 年貢割付状 (天正一九—慶長二) 六通
- 18 年貢割付状并請取手形 (慶長八一—一九) 一二通
- 19 年貢割付状并請取手形 元和元—九 七通
- 20 年貢請取手形 戊五月 一通

- 21 年貢割付状 寛文二―元禄一 一〇通
- 22 年貢割付状写 慶長一八―天和二 二六通
- 23 年貢割付状 元禄二―明和三 三九通
- 24 年貢定免割付状 宝曆三―弘化二 八通
- 25 暮納収納米永皆済目録 辰一二月 一通
- 26 年貢小物成請取手形 亥九・一二月 二通
- 27 国役金受取切手 天明六 一通
- 28 川々国役銀請取手形 寅一二月 一通
- 29 御年貢勘定目録 寛保三 一通
- 30 御年貢米永中勘定目録 嘉永五・元治元 三冊
- 31 諸上納永通 文久四 一通
- 32 若殿様御乗出シ御用途冥加献納金請書 嘉永五 一通
- 33 調達金上納請書 安政五 一通
- 34 大昌寺境内上木御払下冥加永請取手形 午七月 一通
- 35 年貢米払覚 延宝九―貞享元 五通
- 36 納麦預リ証文 明和五 一通
- 37 小田原宿御伝馬役人馬請負証文 延享五 一通
- 38 (朝鮮人來朝ニ付馬入川舟橋御用普請諸色請負証文并同雇人馬勘定請取手形) 延享五 二通
- 39 (琉球人参向役人馬雇立請負証文并同賃錢請取手形) 寛延元 三通
- 40 (人馬役諸入用高掛リ及棟役割取極口上書) 寛延三 一通

- 41 (小田原宿助郷高免除申渡状写) 寛延三 二通
- 42 日光山就御社参寄人馬出候村々触次申渡簡条書 安永五 一冊
- 43 (小田原宿定助郷加助郷村々之被仰渡旨御請証文写) 安永九 一通
- 44 (大磯宿代助郷断リ歎願之諸雜用ニ付百姓議定連印帳) 嘉永四 一冊
- 45 (羽根村・菩提村両村藤沢・戸塚両宿代助郷差村御断リ歎願書) 嘉永六 二通
- 46 (堀山下村と渋沢村外と入会山論裁許絵図裏書写) 延宝七 一通
- 47 (東・西田原村と養毛村・寺山村と入会山論裁許絵図裏書写) (元禄二) 二通
- 48 羽根村と菩提村と林場入会出入内談濟口証文 延享元 一通
- 49 羽根村・菩提村入会山論五ヶ年延期之儀取扱証文 延享四 一通
- 50 羽根・西田原両村入会秣場と羽根村権右衛門自分持林境筋出入内濟取替規定書 嘉永七 一通
- 51 羽根村茂右衛門と菩提村惣兵衛と地論出入内濟為取替証文 安政三 一通
- 52 (祭礼出入并社木伐採一件内濟差上証文) 寛政一〇 一通
- 53 麦二俵貸滞出入濟口証文 嘉永五 一通
- 54 母たか隠居分ニ付取替議定一札 嘉永七 一通
- 55 八郎右衛門母たか隠居取扱方ニ付願出一件内濟取替証文 安政三 一通
- 56 畑地請戻差違一件内濟証文 安政四 一通
- 57 須賀神社遷宮祭礼之節不作法之儀ニ付詫一札 明治八 一通

- 58 堀山下村・羽根村・渋沢村三社神主職之由緒御尋ニ付言上書 寛政八 一通
 - 59 神主職相統願書 文政一一 一通
 - 60 雅楽助養子へ譲一札 元和五 一通
 - 61 一年季奉公人請状 延享四 一通
 - 62 今井八郎宛金子借用証書 明治一〇―一五 三四通
 - 63 今井山治郎宛金子借用証文 明治六一―一七 七通
 - 64 今井八郎右衛門宛書状 一通
- 相模国足柄上郡柳川村熊沢家文書
- 1 組合村々石高帳 寛政元 一冊
 - 2 未年年貢割付状写 比奈窪村外 天明七 九通
 - 3 (荒地起返免直御見分之趣畑方永取願書) 文化一三 一通
 - 4 借金返済滞ニ付約定一札 安永六 一通
 - 5 奉公人新八欠落ニ付請人詫一札 天明三 一通
 - 6 東田原村外三ヶ村郷借金滞出入一件書類 寛政七―文化三 一通
 - 7 古証文取寄依頼状 (文化二) 一通
 - 8 堀川村与右衛門之カ、ル作徳金滞出入济口差上証文写 文化二 一通
 - 9 柳川村外式口御切金覚 文化二―一 文政元 六冊
 - 10 (本銀町次兵衛店惣兵衛他附添役人評定所御差紙請取一札) 文化二―一 文政四 三九通
 - 11 (越前今立郡朽飯村忠七郎外ハ江戸通老町目地借太兵衛等ニカ、ル漆荷物取引出入内济証文写) 安政六 一冊
 - 12 曾比村名主出奔ニ付旧借金返済取立願下書 一通

元

- 13 立木漆年季壳証文 明和六一―文政元 二〇通
 - 14 漆元代借用金証文 明和八一―安永六 三通
 - 15 漆立木代金請取手形 安永六 一通
 - 16 漆元代金借用之所漆不足ニ付再改借用金証文 安永七 一通
 - 17 漆掻子賃前借一札 安永九 一通
 - 18 漆壳仕切 午九月外 二通
 - 19 質物付借用金証文 享保六・一七・安永七 三通
 - 20 米代金預リ手形 一通
 - 21 借用金証文 享保六・延享元・安永六 三通
 - 22 質物付借用金証文 寛延元 一通
 - 23 質物付借用金証文 宝曆六 一通
 - 24 無尽金引当借金証文 安永二 一通
 - 25 米借用証文 安永六 一通
 - 26 為替手形 文化七 二通
 - 27 金子請取手形 酉一二月 一通
 - 28 代金受取書 一綴
 - 29 奉公人請状 宝曆二―文化二二 四三通
 - 30 遺跡証文 明和九 一通
- 相模国足柄下郡小八幡村文書
- 1 当巳年田畑未進帳 安政四 一冊
 - 2 切手御年貢取調覚帳 文久三 一冊
 - 3 月行事取立覚帳 明治二 一冊

4 夏成・秋成畑方請取帳 明治三 横長半 一冊
 5 村方賄諸入用帳 明治八 横長半 一冊

新潟県

(越後蒲原郡太子堂村他二六ヶ村檢地及代官悪業ニ付出訴一件留書) 上・中 宝曆九 美 二冊 三
 野岩鉄道布設請願書及創立仮定款 後欠 北蒲原郡最崎村小池鐵道外 明治三〇 刊二冊 三
 野岩鐵道便覽 刊一枚 三
 新潟県北魚沼郡入広瀬村大白川浅井ひでの日記 昭和一四 ⑤一冊 三
 東蒲原郡小川庄上条組野中村文書 二通 三

1 (蠟漆木増植ニ付先邦証文写) (元和六) 二通
 2 蠟漆法度 写 寛文一〇 一通
 3 蠟漆ニ付被仰出候御堅書之写 宝永二 半 一通
 4 釜本御免願 午八月 三通
 5 高清水村釜本代替願 未一〇月 一通
 6 小川庄野中村木実蠟貢目之帳 寛文四一 半 二三冊
 7 小川庄野中村釜本帳 元禄三一 九 半 六冊
 8 小川庄野中村高清水村蠟釜本帳 元禄九 半 四冊
 9 寅卯二ヶ年蠟方清勘定帳 天保一五 横長半 一冊
 10 漆木実現石書上帳并御買上木実割 安政 横長半 合一冊
 11 野中村漆木実目揃野帳 慶応三 横長半 三冊

12 蠟紋釜屋材請取証文 享保二 一通
 13 年貢蠟皆濟手形 寛文六一七 二通
 14 年貢漆皆濟手形 寛文七 一通
 15 (御相場蠟代金覚) 酉極月 一通
 16 (調達金ヲ買納米代ニ継合之儀願書) 附 一通
 17 札写共 西一月 一通
 18 枯漆木有無御尋ニ付返答請書 丑一〇月 一通
 19 洪水ニ而川欠漆木披露書 文政三 一通
 20 野中村蠟漆年貢御用捨願 宝永五一 文政四 一四通
 21 (大小買蠟漆代御用捨願書) 享保二 一通
 22 蠟湯抓ニ付差上御請一札 天明元 一通
 23 (不作ニ付未進御役蠟代上納延期願) 文化一五 二通
 24 (洪水ニ付上条組一ヶ村御役木御用捨願) 文政三一四 四通
 25 (大門村大買蠟御用捨願) 文政四 一通
 26 御役蠟御用捨願 九嶋村肝煎外 文政四 一通
 27 未進役蠟代御取延願書 寅四月 一通
 28 (漆木実不作ニ付代金納御用捨願) 酉九月 一通
 29 (拾い木実蠟紋リ方御取延之儀上条組村々願書) 申四月 一通
 30 (御林并自分林仕分ヶ定書請連印書) 寛文五 半 一冊
 31 (立林伐木之儀高清水村支障ニ付追願書) 宝曆九 一通
 32 (御築場御取立故障筋之儀御尋ニ付差上請書) 弘化四 一通

- 32 (野中村高清水村畑直ノ開発場所漆木代木ニ付願書) 辰六月・未四月 三通
- 33 (堰筋御普請内見分帳添願書) 卯九月 一通
- 34 川除御普請願口上書 芹田村 亥二月 一通
- 35 (上条組産物品々天満村にて荷物口銭徴収一件内済ニ付先訴御下許可達書) 一通
- 36 野中村彦次郎借金証文 津川町赤岩屋吉郎兵衛宛 文化一四 一通

石川県

(邑知組郡内要用記録)

横長小半 一冊 三

長野県

- 小諸藩掟帳 室加正常 安政五 横小半 一冊 三
- 第三終審安沢水論裁決状 (諏訪郡有賀村・小坂村係争一件) 明治一三 刊一冊 三
- 諏訪郡小和田村名主宮坂家文書
- 1 已分御成帳 文化六 半 六冊 完
- 2 已分御勘定帳 文化六 半 一冊
- 3 亥分御成帳 文久四 半 一冊
- 4 表方諸役儀其外歩割元帳控 天保五 横長半 一冊
- 5 表御役義帳 文久三 横長半 一冊
- 6 川除御役儀其外歩割元帳 慶応元 横長美 一冊
- 野沢中牛馬合資会社貨物取扱規則 明治二六 刊一冊 四

山梨県

八代郡楠甫村御公用留帳 万延元・慶応三 横長半 二冊 四

静岡県

修驗道掟書 三宝院門跡鳳閣寺戒定院ノ遠江平口村左京院宛 元禄一四 一冊 三

差引勘定帳 佐野郡木曾原組遊家村岸田氏 明治 横長半 一冊 三

愛知県

北設楽郡三輪村青柳家古文書目録 三輪村誌編 纂資料九輯 昭和一一 半 孔一冊 四

滋賀県

御国産認糸直取引願書 御仕入認糸扱所ノ大津御用所宛 弘化三 一通 四

近世初頭に於ける近江の商業 (調査研究五六輯抜刷) 江頭恒次 昭和一二 刊一冊 四

三重県

(各地諸相場書) 勢州桑名米屋茂兵衛宛

一綴 罫

京都府

(丹波丹後両国古神社古城趾国宝所在調)

五冊

罫

京都御屋鋪諸所炭御渡切払横帳 渡辺直藏 明

横長半

一冊

罫

山城国相楽郡上狛村浅田家文書

罫

1 銭司村高覚 享保七

一通

2 (大野村当秋出来高反別書上) 享保一一

一通

3 (京都の相廻り候役高帳印形返書控写)

亥五月・子三月

二通

4 村々請印牒 文政九

半

一冊

5 内畑譲渡ニ付差入一札 文政九

一通

6 (官軍之金品献納願書控)

四通

7 小学校費用区費課出ニ付申上書 明治一〇

二通

8 (上狛村反別地種別一覽・地号図)

一通一枚

9 私有地之他御取調ニ付上狛村外四ヶ村持

半

一冊一通

10 (上狛郷立会山立木伐荒一件ニ付取替一

札)

一通

11 (木津川筋北河原村悪水樋伏替入用銀村

高割符掛ニ付御窺書控)

一通

12 (木津川堤御普請入用銀并村送り人足勘

定控) 卯九月

一通

13 灌溉用溝渠開鑿願

一通

14 (岡崎村堤敷持主人名届) 明治一四

二通

15 田地売渡証文 承応二―天和三

三通

16 田地年切売渡証文 天和二・元禄四

二通

17 田地売渡添状証文 元禄一一―享保三

三通

18 田地譲渡添証文并下作預り証文 寛政一一

一通

19 買得畑地戻シ請合証文 元禄一三

一通

20 (追放人文右衛門へ売置田畑預り手形)

天和二

一通

21 家屋敷質入証文 正徳五

一通

22 田畑質入証文 浅田氏宛 延宝八―寛政一一

二通

23 田畑質入証文 延宝六―明治二

七八通

24 質入田畑流シ証文 延宝八―元禄一三

二二通

25 年季売質田地流状 貞享三―享保元

三通

26 畑下作極書写 宝永五

一通

27 下作預り田畑帳 文化一〇

半

一冊

28 下作預り証文 寛文一一―享保二〇

四四通

29 下作預り証文 天保一四―明治四

八通

30 下作約定為取替証文 明治三

一通

31 田畑譲り状控 元禄一六

一通

32 養子田地返り証文 文化八

一通

33 弟別家ニ付田畑譲り証文 目錄共 文化一
四 二通

34 (小林三左衛門と親類之儀御尋ニ付浅田
金兵衛返答書控) 明治一
一綴

35 材木代其他請取書并書出シ及材木預り状
明治一・二・一四
二綴

36 材木送り状 二通

37 救益社事務引継受取目錄 明治一四 仮一冊

38 救益社年俸旅費給付計算書 明治一五 一通

39 浅田金兵衛宛書状 (明治) 九通

兵庫縣

(黒へるへとわん・毛せん手板) 長崎本紺屋町
播磨屋少播州多賀郡大屋村小左衛門宛 天保六

諸事控 赤穂町 天保九 横半半 一冊 五(三)

上京日記 庚戌(嘉永三カ) 横長半 一冊 三

鑄物師職藏人所牒写 二方郡古市村谷村榮六宛
文化元 一通 三

鑄物師職認可状 二方郡古市村谷村權右衛門宛
天保二 一通 五

大阪府

下女奉公人請状綴 大阪日野屋久兵衛宛 天明七 美 一冊 五

(撰州難波村野田村と堺南北浜漁事入合出入一
件書留) 天明八 半 一冊 五

(堂島米相場旧記留書)

搦米商組合規則 明治七 半 一冊 五

土州国産取扱問屋組合資料 刊一冊 五

1 (国産小問屋根居帳) (明和四) 美 一冊

2 国産小問屋三拾八軒問屋根居帳 天保六 美 一冊

3 御産物之内炭壳支配根居帳 弘化四 美 一冊

4 炭問屋組根居帳 安政三 美 一冊

5 三拾八軒組・外問屋組根居帳 安政三 美 一冊

6 (国産小問屋組合定帳) 美 一冊

7 組合申定帳 安政三 美 一冊

8 外問屋組・三拾八軒組・炭新組根居帳 美 一冊

9 (土州御国産生糸取扱所取建方ニ付武州
八王子宿宗兵衛願書) 明治二 一通

10 組合定則簿 高智組 明治九 美 一冊

11 組合定則簿 高智組 明治一五 美 一冊

大阪民俗談話会会報 六一八号 昭和一五 刊四冊 五(一)

岡山縣

頼母子講連名帳 講本小林仁兵衛(後月郡内カ)
文化元 美 一冊 五(三)

広島県

万覚記 山県郡大和原村大和屋 天保五
芸州大崎浜塩印鑑 安政七

横美半
一冊 六
一通 三

所属地不明分

御条目御触之写・十五ヶ条宗門寺旦那請合掟
慶長一八・貞享四
公儀御条目写 元禄元

半
一冊 三
一通 三

(宿役相勤之為御拜借米願書) 延享二
百姓自分林書上帳 名主八郎右衛門 延享三
石神村齊藤家文書

横長半
一冊 三
一通 三

1 金子借用証文 延享二・文化五
2 田畑壳渡証文 寛保元・天保四
3 屋敷壳渡証文 宝曆七・天保一〇
虚無僧御定書 写 宝曆元

一七通 三
八通 三
六通 三
一通 三

(源吉心得違詫方頼一札) 宝曆一〇
(萩原村刈草出入濟口証文) 寛政三
(藤音宅婚礼之節幸次郎酒狂不埒之儀詫一札)
寛政六

一通 三
一通 三
一通 三

(エトロフ・唐太島戦闘之儀山口喜内書状写)
久野志津馬宛 文化四
家伝吹方控 (文化一二)

半
一冊 七
一冊 七

金尾開発吹方記

半
一冊 三

(渡辺様御廻村入用ニ付割元伝左衛門借金証文)
文政五

一通 三

算盤台職人問屋為取替議定証文 文政一三

一通 三

富札買預り一札 近江屋政吉大仏御殿御富掛り
役人宛 文政一三

一通 三

秋田行塗物造合帳 加賀屋惣右衛門 天保二

横長美
二冊 三

(綿米商都喜屋元右衛門之掛ル板谷嘉右衛門取
替銀滞願) 天保四

三通 三

婚礼祝儀請取覚 天保五

横長半
一冊 三

(伊勢屋久四郎娘不埒之儀御詫一札) 梅村金三
郎宛 天保六

一通 三

去卯年御年貢米永皆濟日録書上帳 名主八郎右
衛門 天保一五

半
一冊 三

(勢州宿浦伊之助欠落御尋ニ付返答口上書)
弘化五

一通 三

諸出役宿代立方 嘉永二

一通 三

寅繩代請取帳 駒形組 嘉永七

横長半
二冊 三

普請日記帳 大塚氏 安政

横長半
一冊 三

非常議定連印帳 割元名主原周次以下惣百姓
延元

半
一冊 三

当申年夏成秋成畑方取立帳 万延元

横長半
一冊 三

当酉年田方勘定帳 文久元

横長半
一冊 三

長符下之関米状之写 小倉脚飛 (元治元)

半
一冊 三

国支御用御看通 慶応元

横長半
二冊 三

御看通 慶応三

横長半
一冊 三

(国産物大阪積出仕法願書) 米屋源之助種崎町
庄屋・年寄宛 辰五月

一通 三

(船名選定祈願文) 申七月

藩士御礼献上物披露覚 秋保政右衛門 戊四月

諸入用割帳

荒地御見分帳 (江川手代常川佐助出役)

經節引目錄 平野屋

穢多彈左衛門由緒 写

龜山修補料赤馬関之御貸附利金書出 明治元

(近衛家々旧赤穂藩借入金返弁始末書類)

1 (新開塩浜築立入費滞之儀御尋ニ付申上書) 赤穂役所請取書写共 明治二一三

2 旧赤穂藩之貸借入合金計算面下案

3 近衛家借入金返済計算面下案 明治八

協救社種豚買入代金請取証書 岡谷鈕吾宛 明治三・四

雀糞会社規則 附効驗弁 明治七

反別地価取調名寄帳 (明治)

小作入附米及畑銭取立簿 下今井村大塚氏 明治一二

小作宛米帳 明治二二一・二八

見舞の控 木村豊吉 明治四〇

家財買上勘定書

(婚礼祝出入勘定帳)

諸費帳 熊助 大正一二

一通 二

一冊 三

一冊 三

一冊 三

一冊 三

一冊 三

一綴 三

一冊 六

一冊 六

一冊 六

一通 六

刊一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 一〇〇

雜

農具概略図 稲橋部

闇夜楽 越谷山人

修身考義鑑御触書集覽 信州小県郡上塩尻山崎 嘉樂写 弘化三

和漢年代早引一寸目覚 浪速富士谷東遊子 嘉永四

袖玉武鑑・袖珍武鑑 安政四一 万延二

穀菜弁覽 初篇 竹中卓郎 明治二二

(船越山製鉄之図)

JAPONIAE INSULAE DESCRIPTIO

古印屏風帖 清水頑翁模刻 明治二六

クサイ島レ口遺跡概要 科学南洋五卷二号抜刷 昭和一八

日本文化叢書編纂草稿

(新聞記事切抜及諸書抜書)

一帖 一〇〇

一冊 一〇〇

一冊 二〇

刊一冊 二二

刊五冊 二二

刊一冊 二三

四枚 二四

刊二枚 二五

一帖 二六

刊一冊 二七

一括 二八

一括 二九

掛川家文書解題

伝
来

本史料は、祭魚洞文庫旧蔵水産史料（第八集所収）などと共に、故渋沢敬三氏がアチックミュージアムの事業として収集されたものを、当館が引継いだものの一つである。旧蔵者が本史料を入手した事情については、原蔵者たる掛川家の当主掛川善次氏が病臥中のためもあって明らかにできなかった。

永井太田村と掛川家

永井太田村は、高崎線熊谷駅の北西約一〇キロ、埼玉県の北端部に当り、利根川の南岸に位置する農村である。現在は大里郡妻沼町大字永井太田となっているが、もとは武蔵国幡羅（旛羅）郡忍領に属し、天正以来徳川氏の所領であったが、寛永一三年（一六三六）以降概ね旗本三人の知行所であった。すなわち、同年まず松崎善右衛門吉久に五百石を給され、翌一四年に三枝清右衛門吉勝、次いで一五年には伊奈五左衛門忠雪にそれぞれ分知された。三人中の伊奈忠雪は、本文中にも多くの関係史料を見る「備前堀」の開鑿者として知られた伊奈備前守忠次の五男であるが、その子忠直の嗣子忠有が早世したため、延宝四年（一六七六）忠直の死と共に家は断絶し、四年後の延宝八年（一六八〇）長山弥三郎直利が伊奈氏の跡をついで地頭となり、以後松崎・三枝・長山三家の相給のまま明治維新に及んだ。明治元年（一八六八）一月、山田一太夫の支配所となり、翌二年二月岩鼻県の所管に移り、同四年一〇月に群馬県に編入された後、熊谷県を経て、同一〇年一月に現在の埼玉県管下となった。これより先、大小区制の施行に当って永井太田村は南第八大区五小区に属した。その後、明治二九年に幡羅郡が榛沢・男衾両郡と合併して大里郡となるに及んで同郡に移行し、昭和三〇年（一九五五）の町村合併により、妻沼町に編入されて現在に至っている。

村名の永井太田は、また長井太田とも記し、或は単に太田村と称したこともあって一定しないが、文政末年以後は概ね太田村を用いていたようである。ところが、明治二年（一八六九）岩鼻県の管轄となった際、他の同名村と区別する必要を生じ、永井太田村を正式村名に採用するに至り、当館もこれに従って文書名を定めた。

永井太田村の初期の村高は不明である。「新編武蔵風土記稿」幡羅郡巻三によれば、慶安三年（一六五〇）に地頭検地が行なわれているが、本文中にその資料は見出せない。維新後の上知の際の書上には、村高一、四一二石八升七合、反別は田五三町三反一二歩に対し、畑一三〇町三畝二五歩となっている。右村高の中、松崎・三枝両氏が各五〇〇石、残りの四一二石余が長山氏の知行分であった。このうち長山氏のみは他に知行を有し、元禄一三年（一七〇〇）の加増以後武蔵・上野両国において総計一、三五〇石を領していた。

地頭松崎氏は三河以来の譜代の旗本で、善右衛門吉久の代に采地五百石を給され、以後明治維新まで変るところがなかった。代々御書院番、御小姓組などに配されることが多く、幕末の満太郎純儉（柳浪）は幕儒として名があった。松崎家所蔵文書及び「寛政重修諸家譜」と本文書の記事によって分明する略系譜を示せば次のようである。（カッコ内は地頭の現職であった期間を示す）

善右衛門吉久（寛永一三）——惣左衛門是純（寛文二）——善兵衛良時（宝永五）——善五郎良純（寛延二）——喜三郎純房（宝曆九）——惣左衛門明純（寛文二）
（明和三）——善右衛門純庸（文政五）——満太郎純儉（天保十一）——幸三郎純温（安政元）——礼次郎純佑（文久元）——純男——純一（当主）
（文政三）

なお、是純の弟に九兵衛正永があり、その子が小左衛門であるが、二代後の善四郎頼房（良純次男）の時、故あって断絶した。

掛川家は、永井太田村三給のうち、松崎氏知行所の組名主を世襲した。松崎氏の組名は、三枝分の北組、長山分の西組に対して、中組と称していた。掛川家の家系や由緒、資産等を明確に示す記録はないが、本文中に散見する史料によれば、近世初期には既にこの地において営農していたらしい。寛文末年に確認される七郎兵衛以前の名前などは不明であるが、七郎兵衛以後の名主名とその在任期間はほぼ次のようである。

七郎兵衛（—元禄一六）

喜兵衛（元禄一三—享保一〇）

又 市（享保一〇—宝曆二）

忠 蔵（宝曆三―明和四）

又 市（明和四―文化二）

茂 八（文化四―文政一）

徳二郎（嘉永元―文久二）

豊三郎（文久三―元治元）

茂八郎（慶応元―明治五）

右のうち、前後の在任期間の重複するものは、あるいは後者が名主仮役であり、あるいは前者が後見役として残っていたものと考えられる。また、忠蔵・茂八のところで新旧名主の間に断続期間があるのは、この交代時期の確認史料がないためで、実際には断続はなかったとみられる。但し、文政末から嘉永に至る十数年間の掛川家は名主役を勤めていない。すなわち、文政一年（一八二八）に茂八は名主上席割元役を仰付けられた。これは次期名主役の徳二郎が若年（文政二年生まれ）であったことに因るであろうが、何か他にも事情があったらしいことは、翌二一年に徳二郎が名主仮役に立てられながら、地頭との交渉文書がこの期間だけ欠損していることから知られるし、同時に割元役なるものの特異性がうかがえる。その徳二郎は天保六年（一八三五）まで名主仮役であったとする記録もあるが、嘉永元年（一八四八）以前のことは確認できないばかりでなく、平吉・平三郎など別の名主代の名前も発見される。徳二郎の次の豊三郎・茂八郎は、明治五年頃に豊沢と改名した徳二郎の鞏養子の前名と考えられる。掛川豊沢は明治六年から同一七年まで戸長を勤めている。豊沢には嫡子吉郎（明治二四年頃決と改名）と分家した甚太郎のほか五人の子女があるが詳細は明らかでない。決には五男があったが、当主善市氏の外は既に物故している。次に同家の苗字については、文政一年の史料に「掛川茂八家之儀は、前々苗字御免ニ而数代名主役相勤め来り」とあるが、苗字御免に関する史料は残っていない。現存文書では喜兵衛の代に懸川と署名したものが最も古く、安永頃から苗字の使用が目立ち始めている。掛川家の持高を示す史料も残っていないが、利根川を越えた上野国新田郡岩松村（現尾島町）などに多少の土地も持っていたらしく、明治時代になってからは質屋を営業している。なお、併載した下奈良村吉田家文書の吉田市右衛門に關係ある文書が本史料中にも数点見出される。

文書の概要と分類

本文書は総数約二、八〇〇点で、目錄作成に当っては、内容事項による分類法によって整理した。以下、分類の各項に従って、その主要な点

を説明する。

支配の項には、主として地頭松崎氏に直接関係ある文書を集めた。松崎氏が幕府側へ書上げた文書などは、本来掛川家とは直接関係のないものであるが、地頭の性格を知る上に役立つと思つてこの項に収めた。地頭へ納める年貢・先納金・御用金・才覚金などは、實際計理の上でも複雑であったように、文書の上からは類別しかねるものが少なくない。史料取扱上の便宜から項目を別にしたが、利用に当っては相互に参照していただきたい。貢租の項目における関連史料についても同様である。書状の中には公用状のほか私書状を含むが、名主と地頭用人との間で交換される書状などには、公私両様に互るものがあり、これら分類の困難なものは、差出人と宛名人による一括整理に従つた。松崎家の用人である古橋金助・大嶋伝右衛門・藤郷覚左衛門らの書状で、年代不明なものは他の史料によつてこれを年代順に配列した。なお、明治以後の布達と、幕府の御鷹場関係の史料は、便宜上この項に加えた。

土地以下の項目では、内容的に類似の性格を有するものは、江戸時代の史料と明治以後の名主・戸長時代の史料とを同一項目に収めたものが多い。同一項目の中でも内容を異にする史料は、○印を入れて両者を区別した。土地の項では、土地売買関係の文書を一括してここに収めた。文書形式の上では私文書であっても、内容は公的性格を有するものがあるが、両者の区別が困難なための便宜的措置である。

貢租の項では、田畑の各地位別の平均収納高を示した年貢割付状（取付状）が、一般の形式と異なっている点に注意されたい。年貢徴収額は、寛文―元禄期で米一五七石永七七貫文、享保―宝暦期は米一二〇石永七五貫文、天明から化政期へかけては米一〇五石永六八貫文、幕末には米一一〇石永六八貫文となっている。また地租改正関係史料の中には、本来土地の項へ分出すべきものもあるが、数量が少ないので一括して貢租の項へ収めた。

村況・村政・村入用に関する史料は「村」の中で分類したが、村入用の項は、江戸時代と明治時代の文書をはっきり区分できなかったため、分類上ある程度の不統一をまぬがれなかった。地頭の御用金・才覚金など納入のための村請借金証文は、それぞれの項目に分出したが、証文面に借

用目的を欠いているものは村借として村入用の項に収めた。

用水・普請は殆んどが備前堀用水に関する史料である。備前堀は、利根川南岸一帯の灌漑用水路として、慶長年間に伊奈備前守忠次によって開鑿された山王堂から八ッ口辺まで約二二キロに及ぶ用水堀である。備前堀が途中小山川という自然河川を利用していることや、また利根川の流路変更などによって、実際の取入口としての仁手堰や矢島堰が重視されるようになる。備前堀用水の水利に関しては、その恩恵を蒙むる地域が広大なために、利害関係が複雑に作用し、永井太田村に限っても数種の用水組合が成立していたほどである。その中には、一回の用水普請のために臨時に結成された組合もあり、同じ名称の組合でも構成の必ずしも一致しない例もある。普請入用の項を特に細分することなく年代順に配列したのは、右の理由による。項目の「捲畑」は、利根川堤を利用して種子蒔場にしようとするもので、実施後間もなく取払われている。交通・運輸の項では、地頭への所用に関するものは飛脚の項に入れ、荷物の輸送に関するものは荷物積送の項にまとめた。関連史料である地頭側からの荷物請取状も便宜上この項に入れた。

このほかの諸項目については、特に説明を加える必要を認めないので敢えて省略する。

吉田家文書解題

本文書は当館が三井高遂氏から購入したもので、「志んまぢみつ井け」という三井高堅氏（高遂氏敵父）の蔵書印がある。内容は武蔵国幡羅郡下奈良村吉田市右衛門家の文書の一部である。本文書の内容は、居住地である下奈良村の本家に宛てた江戸日本橋亀嶋町所在の吉田久兵衛名義

の吉田会所の報告と、それに関連したものが大部分をしめる。旧蔵者が本文書を手入れた事情は明らかでないが、後述する江戸における吉田家の持地・持家が三井家所持地と隣り合っている事実を指摘するにとどめる。

下奈良村は慶長一二年伊奈備前守の検地を請けたが、文政五年現在の村高一、二六六石四斗二升五合は七給に分かれ、吉田市右衛門は植村八郎右衛門知行所（領高八五石一斗七升九勺、反別二〇町三畝一步）の組名主であった。「新編武蔵風土記稿」幡羅郡卷四に「褒善者吉田市右衛門」として次の記事がある。

植村八郎右衛門知行所ノ名主ニテ、公ヨリ苗字ヲ名乗り帯刀ヲモ御免アリシ者ナリ、（略）祖父市右衛門ハ幼名市十郎ト称シ、郡中四方寺村名主六左衛門カ弟ナリ、享保十一年（略）当村ニテ段別四丁四段ヲ与ヘ分家セラレシヨリ、専ラ農業ニ力ヲ用ヒ、余力アレハ熊谷宿ニ出テ白木綿ヲ売買シ、（略）後ハ人ノ典物ヲ預リ、或ハ金ヲ貸テ息子ヲ収メ、竟ニ富ヲナシ、宝曆年中ヨリ名主役トナリシカ、年老テ明和年中隠居シ加藤ト称シ、男久弥ニ家業ヲ譲テ市右衛門ト改名セシム、是今ノ市右衛門カ父ナリ、然ニ安永五年家本（略）酒造株ノ内（略）ヲ譲ラレ、（略）享和三年久保嶋村ノ民三右衛門ト云者ノ酒造株ヲモ買得、（略）後寛政二年御試閔東上酒造方ヲ命セラレテ、酒造定行司役トナル、ヨリテ願上テ御買上酒ノ外御初穂酒ト号シ年々青樽ヲ奉リシニ、享和三年（略）初穂酒上納ヲ止メラレシカハ文化元年願上テ（略）冥加酒ヲ献セシニ、（略）白銀若干ヲサスケラレシトナリ、（略）天明三年信州浅間山焼ノ為ニ近郷ノ民推ナヘテ困窮ニ及ヒ、中山道熊谷宿定助郷夫役ノ（略）加助役（略）ニ当ラレテ村民窮スニ、（略）二代目市右衛門（略）金百五十両ヲ上納シ通貸シテ息子ヲモテ熊谷駅ニ賜リ当村永久役ニ与ルコトナカラント願ヒ（略）其願ニ任セラル、其後寛政元年利根川通御普請所組合四十七ヶ村ノ民庸役ニ苦ムヲ以テ、再ヒ金五百両ヲ上納シ、是モ其息子ヲ賜ハリテ年々ノ費用ニ充ント請フ、（略）願ノマ、ニ免サル、（略）其年苗字ヲ称スルコトヲ御免アリ、又同年荒川通り奈良堰助成ノ為トシテ金三百両ヲ上納シ、是モ御貸附ノ上其利金ヲ以テ普請ノ費用ニ充タキ由願ヒ（略）望ニ任セラレ（略）其身一代帯刀ノ免許、（略）加藤ニモ別ニ白銀五枚ヲ賜ヒテ褒賞セラル、（略）文化十年ニ及ヒ熊ヶ谷宿助郷ノ村々猶モ役ニ苦ミ困窮セルヲナケキ、親助左衛門（二代目市右衛門隠居後助左衛門ト云）カ代ヨリ積置シ金千五百両ヲ上納シ、前ノ例ヲ以テ願上（略）貧民ノ苦ヲ救ハント請フ、同年八月十九日柳生主膳正其願ヲ免シ（略）一代帯刀ヲ御免アリ、

(略) 文政元年郡中日向村四方寺村及当村ノ三村困弊ノ民多カリケレハ、金千兩ヲ上納シテ是モ其利金ヲ賜リテ扶助金ニ充ント請フ(略) 免サレズ、則件ノ千兩ヲ以私ニ江戸町内ニテ家質ヲトリ、年々五分ノ息利ヲ得テ窮民ヲ扶助スル事夥シ、又同九年忍領組合自普請所荒川分水玉堰大麻生堰諸入費助成ノ為ニ金六百兩ヲ上納シ、先例ヲ以テ利金ヲ年々組合ノ村々ニ配分シ、又同十一年郡中江波村ノ名主伊三郎(略) 埼玉郡羽生町場村ノ名主弥右衛門(略)ト戮力シテ、備前堀塚樋井川除普請助成ノ為ニ金五百兩ヲ上納シ(略) 其利金ヲ永久修理ノ費ニ充タリ、此余天明三年浅間山焼ノ時窮民ニ食ヲ施シ、及利根川通四十七村組合提川除自普請所助成ノ為(略) 元金二百兩ヲ出シテ、其利金ヲ費用ニ施シ、又己カ家本四方寺村六左衛門カ家衰微セシカハ再興セシメン為ニトテ金五百兩ヲ相続金ト号シテ是ヲ出シ(略) 又寛政以來冥加酒上納ノ度毎ニ賜ハル処ノ白銀ヲ積テ、近郷貧民ノ子ヲ拳スルニ堪サルモノニ与ヘ、及村内捨子或ハ老病等ニテヨルヘナキ輩ニ(略) 施シ、(略) 又己カ手限ヲ以テ熊谷石橋新堀大橋ナト(略) 数所ヲ營造シ、総テ村内ノ助ト成ヘキ事ハ小大トナク其資ヲ厭ハス速ニ是ヲ行フ、(略) 実ニ希世ノ美事ナリ、(下略) (句点引用者)

なお初代市右衛門以下の系図は次のようである。

宗以(市右衛門)―宗敏(伊左衛門
文化一〇歿)―宗敏(市左衛門
弘化元歿)―宗親―宗載

本文書のうちの文政八年「証文控」の事例から見ると、下奈良村で田畑質地、山・畑買、小作、村方并個人宛貸金、領主才覚金、米・大豆売買等を行っていたようであるが、詳細は明らかでない。この外、吉田家については「埼玉県史」第六巻にも記載がある。

本文書は総数一三三点で分量が少ないために、分類は便宜に江戸、下奈良村、其他と大別した。

江戸の項には安針町、通油町、馬喰町にあった持家関係の沽券留、地代・店賃の勘定帳、及びこれに関連する天保改革関係の法令と書上がある。次に湯株・髪結床株等の勘定、出入関係、その他火災による家屋の普請関係史料等も見られる。

下奈良村の項には同村と吉田家に関係あるもののみにとどめた。公的なものとしては先ず熊谷定助郷、玉井・大麻生堰、仁手・矢嶋堰、利根

川通囲堤の助成御貸附の關係史料がある。これと吉田家の關係は前記「武蔵風土記稿」に見た通りである。他の「武蔵国幡羅郡地誌調書上」は「武蔵風土記稿」のための調査關係史料である。吉田家の家系・資産・経営等に関しては何れも余りまとまったものは見当たらない。

其他の項は前二者の分類からはずれたものである。その大部分は「断範」として一冊に綴ってあるが、下奈良村の本家に送ったものか、江戸で参考として取扱ったかは不明である。

祭魚洞文庫旧蔵史料解題

本史料は、前掲の掛川家文書などと共に、日本常民文化研究所から引継いだ史料のうち、先に当館が所蔵史料目録第八集に収録した祭魚洞文庫旧蔵水産史料から除外した史料を集めたものである。旧蔵者の収集の方法も、当館における整理の方針も、第八集収録の水産史料と全く同じである。従って、利用者は第八集解説をもご参照願いたい。

本史料は総数約一、五〇〇点で、史料の原作成地は北海道から広島県まで、全国二四都道府県に亘っている。しかも、収集の意図が明らかでなく、旧蔵者の整理や引継による混乱も加わって、旧型の再現は不可能なため、第八集と同様に便宜上、作成地による地域別配列に従った。この際、原作成地の確認にはできるだけ努力したが、村名もない書付などで作成地推定の困難なものもあり、中には史料としての利用価値の低いものもあるが、それらを所屬地不明分として後尾に附し、年代順に配列した。また、著作物などで出版地に編入することに疑義のあるものは、雑として末尾にまとめた。

しかし、本目録を通覧すれば明白なように、次の八件のやや纏った史料が中心となって全体の九割近くを占めている。残りの多くは、商業・

民俗関係の史料であるが、ほとんど断片的なものである。比較的まとまっている八件について次に略記する。

米沢藩紙蠟御蔵史料・相模国足柄上郡柳川村熊沢家文書・越後国東蒲原郡野中村文書は、何れも漆蠟関係の史料である。

出羽国村山郡小関村文書は、寛保以後明治に至る宗門改帳を主体とするもので、所蔵史料目録第九集に関連史料として付載したことがある。南会津宮沢村河原田家文書は、明治時代の農政家河原田盛美の家に伝わった史料である。内容は盛美の父弥七（後に盛一）の名主役当時のものが多く、また弥七は朴木村・多々石村など近村の名主をも兼帯しており、群馬県境の松枝岐村に関する史料も数点混入している。第八集に収録した盛美の著作物なども参照されたい。

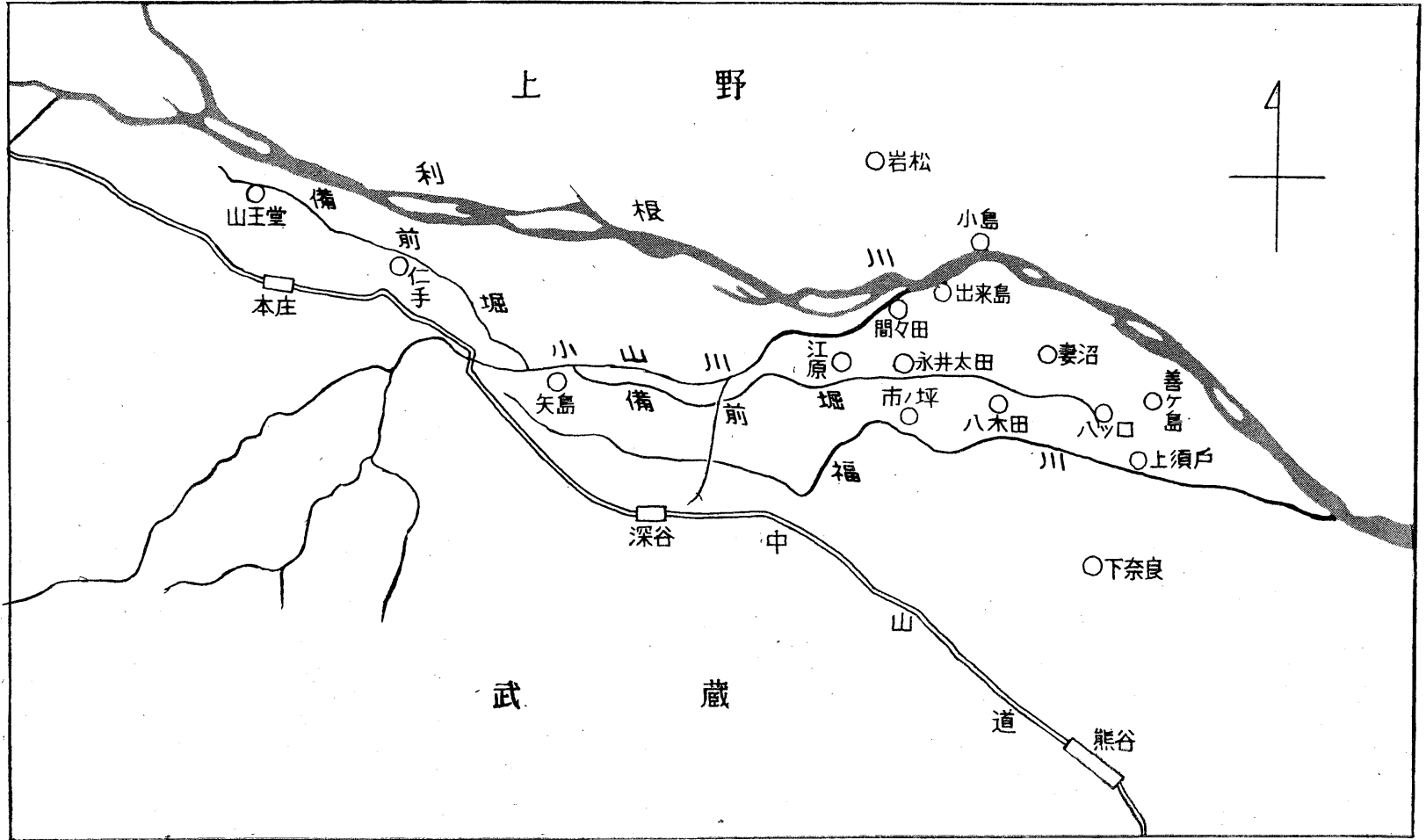
武蔵国入間郡大塚村宇佐美家文書は、同村の村役人を勤めた同家の幕末期の史料であって、本史料中で量的に最も多い文書である。同村（現坂戸町）の支配は代官と旗本との交替・交錯が激しく、南関東の天領の一典型を示すものである。文書の内容は農村文書として一般的なもので目立った特色はない。

相模国大住郡羽根村今井家文書は、天正一九年以後の年貢割付状及び請取手形八十通余を中心とする史料である。近世初頭以来の割付状が、断続的ながらも幕末期まで存するのは比較的珍しいといえよう。なお、同村は元禄二二年にそれまでの代官領を改めて、米倉氏の所領とされ、以後明治まで変らなかつた。

山城国相楽郡上粕村浅田家文書については、同家が藤堂藩の相楽郡内の領地（同藩の同郡内における一六村の内八村だけ確認できる）の差配人的な立場にあつたらしいことが窺えるが、役名や勤向の内容を明らかにする史料はない。なお、この文書の一部は東京大学経済学部研究室に所蔵されている。

「労働図解（民家検労働図）〔能美郡労働図解〕」は国書総目録では祭魚洞所収になつてゐるが祭魚洞水産史料（目録8集 p11）にあり

掛川家文書及吉田家文書關係略図



941

昭和三十九年三月二十一日 印刷
昭和三十九年三月二十六日 発行

編輯者 東京都品川区豊町一丁目一三八
行 者 史 料 館

印刷者 東京都港区赤坂葵町二
大蔵省印刷局